

- (一) 制御裝置 發電設備ノ三ノトニ準ズ
- (二) 保安裝置 種類及構造ノ大要
- (三) 機械器具ノ裝置及電線ノ接續ハ別ニ圖面ヲ以テ之ヲ表示スベシ
- 五 配電設備
  - (イ) 電氣方式 直流、交流、相及線式、及配電線路ノ最大電壓
  - (ロ) 特別高壓、高壓、低壓ニ區別記載シ高壓又ハ低壓ニ在リテハ變壓器ノ一次電壓及二次電壓ヲモ記載スベシ
  - (ハ) 使用場所ノ端子電壓 第四條ノ規定ニ依リ施設セル產業組合ノ電氣工作物ニ限ル
  - (ニ) 架空電線路ノ構造
    - 特別高壓ノモノニ在リテハ送電設備ノ(ロ)ニ準ジ高壓又ハ低壓ノモノニ在リテハ左ノ事項ヲ記載スベシ
    - 電線種類 太サ、電線及被覆絶緣物ノ種類(高壓、低壓ノ別)
    - 支持物種類及構造ノ大要
    - 其ノ他構造ノ大要 送電設備ノ(ロ)ノ其ノ他構造ノ大要ノ項ニ準ズ
    - 特別高壓ノモノニ在リテハ電線路ノ互長ヲ附記スベシ
  - (三) 地中電線路及水底電線路ノ構造

- 電線 條數(特別高壓ノモノニ限ル)種類、被覆絶緣物、種類、心線ノ種類、數及太サ(特別高壓、高壓ノ別)
- 布設方法 送電設備ノ(ハ)ノ布設方法ノ項ニ準ズ
- 其ノ他構造ノ大要 送電設備ノ(ハ)ノ其ノ他構造ノ大要ノ項ニ準ズ
- 特別高壓ノモノニ在リテハ電線路ノ互長ヲ附記スベシ
- (ホ) 中性點接地方法 送電設備ノ(ホ)ニ準ズ
- (ヘ) 使用場所ニ於ケル電氣設備(特別高壓ノモノニ限ル) 變電設備ノ(ヘ)ニ準ズ
- (ト) 保安通信用電話設備 送電設備ノ(ト)ニ準ズ
- (イ) 配電線路ノ構造及機械器具ノ裝置並ニ電線ノ接續ハ別ニ圖面ヲ以テ之ヲ表示スベシ
- 六 饋電線路
  - (イ) 架空饋電線路ノ構造 第五號(イ)ニ準ズ
  - (ロ) 地中饋電線路ノ構造 第五號(ロ)ニ準ズ
  - (ハ) 絶緣歸線種類、太サ、線條、抵抗器、オーム數及陰極加減壓機設置場所(道府縣郡市町村名及地番ヲ記載スベシ其ノ場所が發電所又ハ變電所)

- 所内ナルトキハ其ノ名稱ヲ附記スベシ(種類、電壓、電流及箇數)
- 饋電線路ノ構造ハ別ニ圖面ヲ以テ之ヲ表示スベシ
- 七 電車線路及軌道
  - (イ) 電氣鐵道方式 電氣鐵道線路毎ニ區別シ直流、交流、相、架空單線式、架空複線式
  - (ロ) 電車線路及軌道ノ構造
    - 電車線(架空式)ノモノニ限ル 種類、太サ、線間距離及吊架法
    - 支持物(架空式)ノモノニ限ル 標準徑間、木柱、鐵柱、鐵塔等ノ別
    - 軌道(軌條ヲ歸線トスル方式)ノモノニ限ル 軌床ノ構造、軌條ノ重量、接續法、「ポンド」及補助線ノ種類、太サ
- 八 電車線路及軌道ノ構造ハ別ニ圖面ヲ以テ表示シ電氣工作物規程本則第六十五條又ハ第六十六條ノ規定ニ依ル施設ニ關スル説明書及計算書ヲ添付スベシ
- 前項ノ工事設計明細書ニハ送電關係一覽圖 電氣事業

- 法施行規則第十號條ヲ添付スベシ
- 電氣工作物規程ニ依ル特殊ノ設計又ハ制限外施設ニ關シテハ第一項各號ノ事項中ニ其ノ工事方法ヲ詳記スベシ
- 第八條 實測圖ハ左ノ各種トス
  - 一 水路、貯水池及調整池實測平面圖 縮尺五千分
  - 二 水路、貯水池及調整池實測縱斷面圖 縮尺ノ長ト同一ニシテ高ハ二分ノ一以上トシ水路、貯水池及調整池ノ位置、距離、地盤高、計畫高(水面勾配)ヲ記載スベシ、取水口及放水口ノ最高水位、平水位、最低水位ヲ記載スベシ
  - 三 水路、貯水池及調整池實測橫斷面圖 縮尺二百以上トシ適當ノ斷面ニ依リ記載スベシ
  - 四 送電線路實測平面圖 市街地及其ノ附近ノ部分ハ縮分ハ縮尺五千分ノ一以上トシ發電所、受電地點、變電所、閉閉所ノ位置及電線路中心線(架空線、地中線、水底線)ノ別、並ニ其ノ經過スル道府縣郡市町村ノ境界及名稱、地勢、電柱地上ノ高ニ相當スル距離以內ニ在ル他ノ電線路、鐵道、軌道及道路等ヲ記載スベシ
  - 五 配電線路實測平面圖 前號ニ準ズ
  - 六 饋電線路、電車線路及軌道實測平面圖 縮尺二千分



五千分ノ一以上(市街地及其ノ附近ノ部分ハ別ニ縮尺二千五百分ノ一以上ノモノヲ添附スベシ)トシ續電線、電車線、電氣鐵道(單線、複線等ニ區別記載スベシ)ノ位置、軌道ノ近傍及其ノ經過地ノ道府縣郡市町村ノ境界及名稱、地勢、停車場ノ位置及名稱、他ノ鐵道又ハ軌道ト交又スル箇所ヲ示シ、凡ハ其ノ位置、他ノ電線路ノ位置、電氣鐵道ノ位置ヨリ凡ハ二百メートル以内ニ在ル他ノ鐵道又ハ軌道、電氣鐵道ノ位置ヨリ凡ハ二百メートル以内ニ在ル架空電線、電線路ノ位置、軌道ヲ歸線トスル方式ノ電氣鐵道ニ在リテハ電氣鐵道ノ位置ヨリ凡ハ一キロメートル以内ニ在ル水道管、瓦斯管、地中電線其ノ他金屬製地中管路ノ位置、發電機其ノ他電源ノ一極ヲ軌道ニ接続シタル點ノ位置ヲ記載スベシ

前項第四號及第五號ノ圖面ニハ別ニ電線路ノ位置ノ概要ヲ記載シタル平面圖縮尺凡ハ五萬分ノ一以上トシ使用區域ノ位置ヲモ明示ヲ添附スベシ

前條第一項第八號ノ附帶設備中電線路ニ關シテハ其ノ位置ヲ第一項第一號、第四號乃至第六號ノ圖面中ニ記載スベシ

**第九條** 電氣事業法施行令第七條ノ規定ニ依リ電氣事業法ヲ準用スル事業以下單ニ準用ノ認定ヲ受ケントスル者ハ左ノ書類及圖面ヲ具シテ申請スベシ

一 電氣ノ供給又ハ使用ガ重要ナル産業又ハ公共ノ利益トナルベキ事業ノ爲ナルコトノ事由ヲ記載シタル書面

二 事業企畫書電氣事業法施行規則第一條乃至第七條ニ準ズル事項ヲ具備スベシ

第三條又ハ第四條ノ規定ニ依リ既ニ電氣工作物施設ノ認可ヲ受ケタルモノニ在リテハ其ノ旨附記スベシ

**第十條** 準用事業ノ認定ヲ受ケタル後事業企畫書中電氣事業法施行規則第八條第一項ノ事項ニ準ズル事項ヲ變更セントスルトキハ關係ノ書類圖面ヲ具シ遞信大臣ニ認可ヲ申請スベシ

**第十一條** 準用事業ノ認定ヲ受ケントスル者又ハ其ノ認定ヲ受ケタル者ノ電氣工作物ノ施設ニ關シテハ第三條第二項但書ニ該當スルモノト雖モ電氣廳長官ニ其ノ認可ヲ申請スベシ但シ認定前既ニ遞信局長ノ認可ヲ受ケタルモノハ電氣廳長官ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

**第十二條** 第三條、第四條又ハ第十一條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケ又ハ届出ヲ爲シタル後計畫書又ハ工事設計明細書中左ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ關係ノ書類圖面ヲ具シ第三條、第四條又ハ第十一條ノ規定ニ準ジ電氣廳長官又ハ所轄遞信局長ニ認可ヲ申請シ又ハ届出ヲ爲スベシ但シ工事設計明細書中ノ事項ノ變更ニシテ電

氣廳長官ニ認可ヲ申請スベキモノト雖モ發電設備又ハ三萬五千ワットヲ超過スル設備ヲ變更セズ且計畫書記載事項ノ變更ヲ伴ハザルモノナルトキハ所轄遞信局長ニ認可ヲ申請スベシ

一 目的

二 使用區域

三 發電設備

(一) 發電所ノ位置、出力

(二) 原動力設備

(甲) 水力設備

(イ) 水路工作物

堰堤構造、材料、可動堰、捲上裝置、土砂吐

取水口ノ構造

導水路勾配、構造、中心線位置、定規

沈砂池ノ構造

水槽ノ構造

水壓管路水壓管ノ構造、條數、太サ、長、厚、保安裝置、水壓管支持施設

吸出管型式、吸出高

放水路勾配、中心線位置

(乙) 汽力設備

(ハ)(ロ) 貯水池、調整池有效容量、利用水車種類、キロワット數(二割以上ノ變更ニ限ル)、筒數

(イ) 汽機種類、キロワット數(二割以上ノ變更ニ限ル)、筒數

(ロ) 汽罐種類、汽壓又ハ汽温(一割以上ノ變更ニ限ル)、加熱面積(一割以上ノ變更ニ限ル)、筒數

(ハ) 燃料燃燒裝置給炭機、微粉炭燃給用機器等ノ別

(丙) 内燃力設備

(ハ)(ロ)(イ) 内燃機種類、キロワット數(二割以上ノ變更ニ限ル)、筒數

瓦斯發生裝置種類、發生容量(一割以上ノ變更ニ限ル)、筒數

消音裝置筒數

(イ) 電氣設備

(ハ)(ロ)(イ) 發電機直流、交流ノ別、同期、非同期ノ別、直變更ニ限ル、交流ニ在リテハキロワット數(二割以上ノ變更ニ限ル)、交流ニ在リテハキロワット數(二割以上ノ變更ニ限ル)、周波數、筒數

(ロ) 變壓器キロワット數(二割以上ノ變更ニ限ル)、電壓(一割以上ノ變更ニ限ル)、相、周波數、結線法、筒數

(ハ) 電動發電機、廻轉變流機、周波數變換



機、整流器 種類、直流、交流ノ別、キロワツト數、電壓、相、周波數、箇數

(ニ) 調相機 同期、非同期ノ別、周波數、箇數、送電容量ヲ増加スル目的ヲ以テ設置スルモノ

ニ在リテハキロワツトアルトアムベア數

(ホ) 中性點接地方法 接地裝置ノ種類

(ト) 保安裝置ノ種類 避雷器ヲ除ク

四 受電設備

受電地點ノ位置及供給者

受電地點ノ出力 二割以上ノ變更ニ限ル

電氣方式 別、相、線式、周波數、受電電壓

送電上ノ責任分界トナルベキ開閉器又ハ受電電力ヲ遮斷シ得ベキ開閉器

保安裝置ノ種類 避雷器ヲ除ク

五 送電設備

送電線路ノ區間及經過地

電氣方式 別、相、線式、最大電壓

架空電線路ノ構造

電線種類、線條數、太サ(一)電線種類以上ノ變更ニ限ル

七 配電設備

配電線路ノ經過地

電氣方式 別、相、線式、配電線路ノ最大電壓

使用場所ノ端子電壓 電燈ノ端子電壓

架空電線路ノ構造 (特別高壓ノモノニ限ル)

送電設備ノ種類

(ホ) 地中電線路又ハ水底電線路ノ構造 (特別高壓ノモノニ限ル)

送電設備ノ種類

(ト) 中性點接地方法 (ハニ準ズ)

使用場所ニ於ケル電氣設備 (特別高壓ノモノニ限ル)

變電設備ノ種類

饋電線路

架空饋電線路ノ構造 電線又ハ支柱ノ種類

地中饋電線路ノ構造 布設方法ノ別

絕緣歸線、抵抗器、陰極加減壓機

電車線路及軌道

支持物 標準徑間、木柱、鐵柱、鐵塔、鐵筋「コンクリート」柱ノ別、鐵柱、鐵塔又ハ鐵筋「コンクリート」型

電纜條數、心線ノ數又ハ太サ

(ニ) 地中電線路又ハ水底電線路ノ構造

布設方法 埋設式等ノ別

閉閉所ノ位置

(ホ) 中性點接地方法 接地箇所、種類

變電設備

(イ) 變電所ノ位置

(ロ) 變壓器 發電設備ノ(三)ノロニ準ズ

(ハ) 電動發電機、廻轉變流機、波數變換機周、整流器 發電設備ノ(三)ノハニ準ズ

(ニ) 調相機 發電設備ノ(三)ノニ準ズ

(ホ) 中性點接地方法 發電設備ノ(三)ノホニ準ズ

(イ) 制御裝置 發電設備ノ(三)ノイニ準ズ

(イ) 電氣鐵道方式

電車線ノ電壓

第十條 附帶設備 發電機、其ノ原動機、特

第五條第一項計畫書中名稱、第二項第二號乃至

第四號、第三項第一號又ハ第四號ノ事項ニ變更

ヲ生ジタルトキハ第三條、第四條又ハ第十一條

ノ規定ニ準ジ電氣廳長官又ハ所轄遞信局長ニ届

出ズベシ

第十三條 準用事業ノ認可ヲ受ケタル者電氣工作

物施設ノ認可ヲ受ケタル後第十條ニ依リ事業企

畫書中ノ事項變更ノ認可ヲ申請スル場合ニ於テ

其ノ申請事項ガ第六條ノ計畫書中ノ事項ニ相當

スルモノナルトキハ該申請書ニ其ノ旨ヲ明記シ

別ニ第十二條ニ依リ認可ヲ申請スルコトヲ要セ

第十四條 電氣工作物施設ノ認可ヲ受ケタル後邸

宅又ハ工場ノ構外ニ施設スル特別高壓電線路

架空、地中、水又ハ軌道線等ノ別、延長、短縮又ハ位

置變更ザル軌道ノ位置變更ヲ除クヲ爲サントスルト

キハ所轄遞信局長ニ認可ヲ申請スベシ

邸宅又ハ工場ノ構外ニ施設スル高壓又ハ低壓ノ

電線路 架空、地中、水ノ延長、短縮若ハ位置變更

又ハ左右各二十メートルヲ超エザル軌道ノ位置



變更ヲ爲シタルトキハ六月毎ニ取纏メ實測圖  
第八條ニ準ジテ添ヘ所轄遞信局長ニ届出ヅベシ

**第十五條** 第二種電氣工作物ノ施設者第十九條ノ  
規定ニ依リ使用ノ認可ヲ受ケ又ハ届出ヲ爲シタ  
ル電氣工作物中左ニ掲グルモノノ取換ヲ爲サン  
トスル場合ニ於テ第十二條第一項ノ事項ニ變更  
ヲ及ボサザルトキハ關係ノ書類圖面ヲ具シ其ノ  
旨第三條、第四條又ハ第十一條ノ規定ニ準ジ電  
氣廳長官又ハ所轄遞信局長ニ届出ヅベシ

- 一 水車
- 二 汽機、汽罐、蒸汽貯藏器
- 三 内燃機、瓦斯發生裝置、消音裝置
- 四 發電機
- 五 變壓器發電所又ハ變電所ニ設置スル三百キログオルト  
ノ變壓器  
アムペア以上ノ特別高壓變壓器、第七條第一項  
ノ變壓器
- 六 電動發電機、廻轉變流機、周波數變換機、  
整流器
- 七 調相機
- 八 地中電纜又ハ水底電纜使用電壓一万五千ヴオル  
トヲ超ユルモノニ限ル

**第十六條** 認可ヲ受ケテ施設シタル電氣工作物ノ  
滅失又ハ損壞ニ因ル復舊工事ハ直ニ之ニ着手ス

電セントスル者ニ供給セントスルトキ

**第十八條** 本令ニ依リ施設スル電氣工作物ノ工事  
ニ關シテハ電氣工作物規程ヲ準用ス

**第三章 電氣工作物使用**

**第十九條** 第三條第二項、第四條、第十一條ノ規  
定ニ依リ施設シタル電氣工作物ヲ使用セントス  
ルトキハ當該官廳ニ認可ヲ申請スベシ

**第十二條** 第一項認可ヲ受ケタ、第十四條第一項、第  
十五條、第十六條第二項、第三項又ハ第十七條

ノ規定ニ依リ施設シ又ハ變更シタル電氣工作物  
ヲ使用セントスルトキハ認可ヲ受ケ又ハ届出ヲ  
爲シタル官廳ニ其ノ認可ヲ申請スベシ但シ當該  
官廳ニ於テ別段ノ指示ヲ爲シタル場合ハ此ノ限  
ニ在ラズ此ノ場合ニ於テハ使用開始前其ノ旨ヲ  
當該官廳ニ届出ヅベシ

**第二十條** 前條ノ規定ニ依ル申請アリタル場合ニ  
於テ當該電氣工作物検査ノ爲派遣セラレタル檢  
査吏員ニ於テ危険ナシト認めタルトキハ直ニ其  
ノ假使用ヲ認可スルコトアルベシ  
前項ノ假使用認可ノ有効期間ハ六十日トス  
**第十二條** 第一項、第十四條第一項、第十五條、

ルコトヲ得  
前項ノ場合ニ於テ發電設備又ハ變電設備ノ復舊  
工事ニ關シテハ第十二條第一項ノ事項ヲ變更ス  
ルトキト雖モ緊急ノ必要アル場合ニ限り直ニ工  
事ニ着手スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ事  
由及關係ノ書類圖面ヲ具シ遲滞ナク當該官廳ニ  
届出ヅベシ  
前條ニ掲グル電氣工作物ノ復舊工事ニ着手シタ  
ルトキハ關係ノ書類圖面ヲ具シ前條ノ規定ニ準  
ジ遲滞ナク當該官廳ニ届出ヅベシ

**第十七條** 第三條第二項、第四條又ハ第十一條ノ  
規定ニ依リ電氣廳長官ノ認可ヲ受ケタル電氣工  
作物ノ施設者ハ左ノ場合ニ於テハ工事方法ヲ具  
シ所轄遞信局長ニ認可ヲ申請スベシ其ノ工作物  
ガ第十二條第一項ニ掲ル事項ニ變更ヲ及ボシ電  
氣廳長官ニ認可ヲ申請スベキ場合ト雖モ亦同ジ  
一 電氣工作物ノ滅失若ハ損壞又ハ漏水其ノ他  
事故ノ場合ニ於テ電力ノ不足ヲ補給スル爲三  
月内ヲ限リ他ヨリ受電セントスルトキ  
二 電氣事業法施行規則第二十二條第一號、本  
令第五十三條又ハ前號ノ場合ニ於テ他ヨリ受

第十六條第二項、第三項又ハ第十七條ノ規定ニ  
依リ施設スル電氣工作物ニ付テハ當該官廳ハ已  
ムヲ得ザル事由アリト認めタル場合ニ限り電氣  
工作物施設者ノ申請ニ依リ其ノ假使用ヲ認可ス  
ルコトアルベシ

**第二十一條** 第十九條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケベ  
キ電氣工作物ハ試験ノ爲必要アル場合ニ限り其  
ノ認可前之ヲ使用スル事ヲ得但特別高壓電線路  
ニ關シテハ豫メ所轄遞信局長ノ認可ヲ受ケベシ

**第二十二條** 第十九條第一項ノ規定ニ依リ電氣工  
作物ノ使用認可ヲ受ケベキ場合ニ於テハ電氣工  
作物竣工明細書電氣事業法施行規則第四  
號様式ニ準ジ調製スベシヲ當該電氣  
工作物検査ノ爲派遣セラレタル検査吏員ヲ經テ  
當該官廳ニ之ヲ提出スベシ但シ検査ヲ受ケズシ  
テ使用ヲ認可セラレタルトキハ直ニ當該官廳ニ  
之ヲ提出スベシ  
電氣工作物ノ施設又ハ變更ニ依リ電氣工作物竣  
工明細書中ノ事項ニ變更ヲ生ジタルトキ亦前項  
ニ同ジ但シ當該電氣工作物ヲ認可ヲ受ケズシテ  
使用シ得ルモノナルトキハ直ニ當該官廳ニ提出  
スベシ



第四章 主任技術者

第二十三條 電氣工作物施設者ハ工事着手前ニ主任技術者ヲ選任シ技術ニ關スル事項ヲ擔任セシムベシ

第二十四條 第二種電氣工作物ノ主任技術者ハ電氣事業主任技術者資格檢定規則ニ依ル資格ヲ有スル者又ハ電氣技術ニ關シ知識經驗ヲ有スル者ニ就キ左ノ區別ニ依リ選任スルコトヲ要ス  
電氣工作物ノ種類  
各種ノ電氣工作物  
主任技術者  
第一種  
第二種  
(イ) 使用電壓三萬五千ヅオルト以下ノ電氣工作物及構内ニ施設スル各種ノ電氣工作物  
第三種  
(ハ) 低壓又ハ高壓ノ電氣工作物  
(構外ニ施設スル電氣鐵道ヲ除ク) 構内ニ施設スル使用電壓二萬五千ヅオルト以下ノ電氣工作物  
電氣技術ニ關シ相當知識經驗ヲ有スト認定セラレタル者

第三種

(ニ) 低壓電氣工作物 (構外ニ施設スル電氣鐵道ヲ除ク) 及構内ニ施設スル百キロワット以下ノ高壓電氣工作物

二 一ノ自家用電氣工作物ノ主任技術者ニ其ノ施設者ヲ同ウスル他ノ自家用電氣工作物ノ主任技術者ヲ兼務セシムル場合

三 第二十四條第一項(ハ)ノ電氣工作物ノ主任技術者ニ第一種又ハ第二種ノ資格ヲ有スル主任技術者ヲ兼務セシムル場合

前項ノ規定ニ依ル主任技術者ノ選任届又ハ認可ノ申請書ニハ當該主任技術者ノ兼任ヲ必要トスル事由及執務ニ關スル説明書並ニ電氣事業又ハ他ノ電氣工作物ノ主任技術者ヲ兼務セシムル場合ニ在リテハ關係ノ電氣事業者又ハ電氣工作物施設者ノ承諾書ヲ添附スベシ

第二十六條 電氣工作物施設者主任技術者ヲ選任シタルトキハ履歷書ヲ添へ遲滞ナク其ノ旨第三條、第四條又ハ第十一條ノ規定ニ準ジ電氣廳長官又ハ所轄遞信局長ニ届出ヅベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ

第二十七條 電氣廳長官又ハ遞信局長ハ主任技術者ガ其ノ職務ヲ怠リ又ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ不當ナル行爲ヲ爲シタルトキハ其ノ解任ヲ命ズルコトアルベシ

左ニ掲グル第二種電氣工作物ニ關シテハ前項ノ規定ニ拘ラズ當該使用場所ノ技術者ニシテ其ノ電氣施設ニ付相當知識經驗ヲ有スト認メラルル者ヲ其ノ主任技術者ニ選任スルコトヲ得

(イ) 特定場所ニ施設スル試驗用變壓器其ノ他ノ高壓若ハ特別高壓電氣裝置ヲ使用スルモノ  
(ロ) 高壓ノ電氣ヲ受電シテ同一構内ノ工場ニ於テ之ヲ使用スルモノ

(ハ) 電氣化學工場ニ於テ特別高壓電氣ヲ受電シ受電地點ニ近ク設置スル變電設備ニ依リ直ニ之ヲ低壓ニ變成シテ同一構内ニ於テ使用スルモノ

第二十五條 電氣工作物施設者ハ左ノ場合又ハ第三條、第四條又ハ第十一條ノ規定ニ準ジ電氣廳長官又ハ所轄遞信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ニ限り電氣事業者ハ他ノ自家用電氣工作物ノ主任技術者ヲシテ其ノ主任技術者ヲ兼シムルコトヲ得

一 電氣事業者ノ施設セル自家用電氣工作物ノ主任技術者ニ當該電氣事業ノ主任技術者ヲ兼務セシムル場合

第二十八條 電氣工作物施設者ハ主任技術者疾病、旅行其ノ他ノ事由ニ因リ一月以上ニ互リ其ノ職務ヲ執ルコト能ハザルトキハ其ノ代務者ヲ選任スベシ此ノ場合ニ於テハ第二十六條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テ主任技術者其ノ職務ヲ執ルニ至リタルトキハ遲滞ナク當初届出ヲ爲シタル官廳ニ其ノ旨届出ヅベシ

第二十九條 本令又ハ電氣工作物規程ニ依リ行政官廳ニ提出スル書類圖面中技術ニ關スルモノハ主任技術者之ニ署名捺印スベシ但シ第二十三條ノ規定ニ依ル主任技術者選任前ニ在リテハ其ノ設計ヲ擔當シタル技術者之ニ署名捺印スベシ

第五章 業務及保安上ノ義務  
第三十條 第四條ニ依リ施設シタル電氣工作物施設者ハ料金其ノ他電氣利用ノ條件ニ關スル規定又ハ契約ヲ電氣廳長官ニ届出ヅベシ之ガ變更ヲナシタルトキ亦同ジ

第三十一條 第四條第一項ノ規定ニ依リ電氣工作物ヲ施設セル產業組合ニ關シテハ電氣事業法施行規則第五十八條乃至第六十一條ノ規定ヲ準用



第三十二條 發電所、受電地點及變電所ニハ相當ノ技術者ヲ置キ送電中ノ監視セシムベシ但シ第三條、第四條又ハ第十一條ノ規定ニ準ジ電氣廳長官又ハ所轄遞信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十三條 電氣工作物ノ故障及其ノ運轉使用ニ關スル事故ヲ生ジタル場合ニ於テ左ニ掲グルモノニ付テハ直ニ電信、電話其ノ他ノ方法ニ依リ電氣廳長官、所轄遞信局長及所轄警察官署ニ届出ツベシ

一 電氣工作物ノ損壞又ハ漏電其ノ他ノ電氣事故ニ因ル人畜ノ死傷又ハ火災其ノ他ノ災害

二 前號ノ外重大ナル事故  
前項各號ニ掲グルモノ其ノ他電氣工作物ノ故障及其ノ運轉使用ニ關スル事故ニ關シテハ電氣事業法施行規則第六號様式ニ準ジ一月分ヲ取纏メ翌月十日限リ第三條、第四條又ハ第十一條ノ規定ニ準ジ電氣廳長官又ハ所轄遞信局長ニ届出ツベシ

第三十四條 電氣工作物ノ保安ニ關シテハ前二條

用ノ停止ヲ豫防セシムル爲公益上電氣ノ流用ヲ已ムヲ得ズト認メタルトキ

第三十七條 前條ノ命令ニ因リ必要ヲ生ジタル工事費用ノ負擔其ノ他ノ事項ハ當事者間ノ協議ニ依ル協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ遞信大臣之ヲ裁定ス

前項ノ規定ニ依ル裁定ニ關シテハ電氣事業法施行規則第四十條及第四十一條ノ規定ヲ準用ス

第三十八條 遞信大臣ハ第四條ニ依リ施設シタル電氣工作物ガ電氣事業ノ施設ニ對シ障害アリト認ムルトキ其ノ他公益上必要アリト認ムルトキハ其ノ認可ヲ取消スコトアルベシ

第三十九條 電氣工作物ニ對スル検査及命令ニ關シテハ前各條ノ規定ニ依ルノ外電氣事業法施行規則第九十四條、第九十五條及第九十七條ノ規定ヲ準用ス

第七章 雜則

第四十條 電氣工作物ノ施設者若ハ其ノ代表者ニ異動アリタルトキ又ハ電氣工作物ノ使用ヲ開始、休止、廢止シタル時ハ電氣工作物ノ施設者ハ遲滞ナク第三條、第四條又ハ第十一條ノ規定ニ

ノ規定ニ依ルノ外電氣事業法施行規則第六十六條、第六十八條、第七十條及第七十一條ノ規定ヲ準用ス

第六章 検査及監督命令

第三十五條 電氣廳長官又ハ遞信局長ハ吏員ヲ派遣シ電氣工作物又ハ其ノ工事ノ狀況ヲ検査セシメ必要ト認ムルトキハ其ノ改修ヲ命ズルコトアルベシ

電氣廳長官又ハ遞信局長ハ必要アリト認ムルトキハ電氣工作物施設者ヲシテ現ニ使用シ又ハ使用セントスル器具、機械其ノ他物品ノ見本ヲ差出サシメ其ノ試験ヲ爲スコトアルベシ見本ノ運搬ニ要スル費用及試験ニ因テ生ズル損害ハ電氣工作物施設者ノ負擔トス

第三十六條 遞信大臣ハ左ノ場合ニ於テ電氣事業ノ施設ノ爲ニ電氣工作物ノ施設者ニ對シ必要ナル命令ヲ爲スコトアルベシ

一 工地上電線路ノ共用ヲ已ムヲ得ズト認メタルトキ  
二 天災其ノ他臨時事故ニ因ル電氣事業用電氣工作物ノ障害ヨリ生ズベキ電氣ノ供給又ハ使

準ジ電氣廳長官又ハ所轄遞信局長ニ届出ツベシ

第四十一條 第二種電氣工作物ノ施設者ハ毎年十二月末日現在ニ於テ別ニ告示スル所ニ依リ電氣工作物施設狀況報告書ヲ調製シ翌年二月末日迄ニ遞信大臣ニ届出ツベシ

第四條ニ依リ施設シタル電氣工作物施設者ニ在リテハ前項ノ届出ニ最近一年ノ貸借對照表、損益計算書及利益金處分ニ關スル書面ヲ添附スベシ

第四十二條 全出力一千キロワットヲ超過スル電氣工作物ノ施設者ハ毎年十二月末日現在ニ於テ左ノ報告書各四通ヲ調製シ翌年二月末日迄ニ所轄遞信局長ヲ經由シ遞信大臣ニ提出スベシ

一 火力發電所ニ於ケル燃料種類別年使用額  
別記様式ニ依リ調製スベシ  
二 從業者ノ職務別及兵役關係別數  
電氣事業法施行規則第八號様式ニ準ジ調製スベシ

第四十三條 發電ノ原動力トシテ水力ヲ使用スル電氣工作物ノ施設者ニシテ特ニ遞信大臣ノ指定シタルモノハ河川流量其ノ他ノ事項ニ關スル調表ヲ作製シ之ヲ遞信大臣ニ提出スベシ



第四十四條 特別高壓電線路ノ電線若ハ支持物ヲ損壞シ、之ニ物品ヲ懸ケ若ハ擲チ又ハ其ノ電線路ニ接近シテ濫ニ建造物ヲ建設スル等電氣的危険ヲ生ズベキ行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第四十五條 準用事業ノ認定ヲ受ケタル事業ニ關シテハ電氣事業法施行規則第三十二條乃至第四十九條、第六十條、第六十一條、第九十二條第三號、第四號、第九十三條、第九十九條乃至第一百五條、第二百二十五條、第二百二十六條及明治四十四年<sup>九</sup>月<sup>九</sup>日<sup>九</sup>遞信省令第二十九號ノ規定ヲ準用ス

第四十六條 第三條、第四條、第九條、第十條乃至第十二條、第十五條、第十六條、第十九條、第二十二條、第二十三條、第二十五條、第二十六條、第二十八條、第三十條、第三十二條、第三十三條、第三十七條、第四十條及第四十一條ノ規定ニ依リ遞信大臣又ハ電氣廳長官ニ認可、認定若ハ裁定ヲ申請シ又ハ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ同時ニ其ノ副本ヲ所轄遞信局長ニ提出スベシ

第四十七條 産業組合又ハ準用事業ガ第四條第一項、第九條、第十條、第十二條(産業組合ガ目的又ハ使用區域ノ變更ヲ爲ス場合ニ限ル)、第三

十條、第四十條及第四十一條第一項ノ規定ニ依リ遞信大臣又ハ電氣廳長官ニ認可若ハ認定ヲ申請シ又ハ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ同時ニ其ノ副本ヲ所轄地方長官ニ提出スベシ

第八章 罰則

第四十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金及ハ科料ニ處ス

一 認可ヲ受ケズシテ認可ヲ受クベキ工事ニ着手シタル者

二 第十九條ノ規定ニ依リ認可ヲ受クベキ電氣工作物ヲ使用認可又ハ假使用認可ヲ受ケズシテ使用シタル者

三 本令ニ基キテ爲シタル處分ニ違反シ又ハ故ナク檢査ヲ拒ミ若ハ之ヲ妨ゲタル者

四 第四十四條ノ規定ニ違反シタル者

第四十九條 本令ノ規定ニ依リ届出又ハ調表ノ提出ヲ怠リタル者ハ科料ニ處ス

第五十條 電氣工作物施設者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ施設ニ關シ本令若ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ

免ルルコトヲ得ズ

本令ニ依リ電氣工作物施設者ニ適用スベキ罰則ハ電氣工作物施設者法人ナルトキハ取締役其ノ他法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第九章 國ニ於テ施設スル電氣工作物

第五十一條 國ニ於テ第一條ニ規定セル電氣工作物ヲ施設セントスルトキハ當該官廳ハ工事施行前第五條第一項及第二項ニ掲グル書類、圖面ヲ具シ其ノ旨ヲ遞信大臣ニ報告スルコトヲ要ス但シ其ノ電氣工作物ガ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノナル時ハ遞信大臣ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

一 特別高壓電氣ヲ使用スルモノ

二 構外ニ互リ施設スルモノ

第五十二條 前條ノ規定ニ依リ報告ヲ爲シ又ハ承認ヲ受ケタル後ニ於ケル電氣工作物施設ノ變更ニ關シテハ左ノ區別ニ從ヒ遞信大臣ニ報告ヲ爲シ又ハ承認ヲ受クルコトヲ要ス

一 承認ヲ受ケタル電氣工作物ニ關シ第六條ニ

掲グル事項名稱、全出力又ハ受電地點出ヲ變更セントスルトキハ承認ヲ受クルコト

二 承認ヲ受ケタル電氣工作物ニ關シ第十二條ニ掲グル事項中前號以外ノ事項若ハ第十四號

第一項ニ規定セル事項ヲ變更シ又ハ第十五條若ハ第十六條ノ規定ニ該當スル場合ハ報告スルコト

三 報告シタル電氣工作物ニ關シ第十二條ニ掲グル事項ヲ變更シタルトキハ報告スルコト

第五十三條 第十七條ニ掲グル場合ニ於ケル國ノ施設スル電氣工作物ニ關シテハ當該官廳ハ工事施行前工事方法ヲ具シ遞信大臣ニ報告スルコトヲ要ス

第五十四條 第五十一條又ハ第五十二條ノ規定ニ依リ承認ヲ受ケテ電氣工作物ノ施設又ハ變更ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ工事落成シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ遞信大臣ニ報告スルコトヲ要ス

第五十五條 國ニ於テ施設スル電氣工作物ノ使用ヲ廢止シタルトキハ當該官廳ハ直ニ其ノ旨ヲ遞信大臣ニ報告スルコトヲ要ス

第五十六條 國ニ於テ施設スル電氣工作物ニ關シ



テハ第五條第一項、第二項、第六條乃至第十條、第十三條、第十八條、第三十六條、第三十七條、第四十一條第一項、第四十四條及第四十八條第四號ノ規定ヲ準用ス

第五十七條 國ニ於テ施設スル電氣工作物ニシテ準用事業ノ認定ヲ受ケタルモノニ關シテハ電氣事業法施行規則第三十二條乃至第四十八條、第九十九條乃至第四百四條及明治四十四年勅令第二十九號ノ規定ヲ準用ス

附則

本令ハ昭和七年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス  
大正四年勅令第二十三號電氣事業法準用ニ關スル規則ハ之ヲ廢止ス  
本令ニ依リ認可若ハ承認ヲ受ケ又ハ届出若ハ報告ヲ爲スベキ事項ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノハ之ヲ本令ニ依リ認可若ハ承認ヲ受ケ又ハ届出若ハ報告ヲ爲シタルモノト看做ス  
本令施行前ニ於テ認可又ハ承認ヲ受ケタル爲提出シタル關係ノ書類圖面ニシテ本令施行ノ際迄ニ處分ヲ受ケザルモノハ之ヲ本令ニ依リ提出シタルモノト看做ス但シ本令ノ規定ニ依リ提出ヲ要スル書類

圖面ハ更ニ之ヲ補充セシムルコトアルベシ  
附則 (昭和十四年四月逓信省令第二十號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別記様式) 火力發電所ニ於ケル燃料種類別年使用額報告書

		昭和 年中	
事業者名	燃料ノ種類	一ケ年間使用額	備考
	炭	疋	
	ク ス	疋	
	油	疋	
	木炭	疋	
	々々		
	々々		

自家用電氣工作物施設規則 第四十一條ノ規定ニ依ル電氣工作物施設狀況報告書様式ニ關スル件

昭和七年十一月 逓信省告示第二千二百二十六號

自家用電氣工作物施設規則第四十一條ノ規定ニ依ル電氣工作物施設狀況報告書様式及其ノ調製方法左ノ通定ム  
一 本報告書ノ記載ハ横書トシアラビテ數字ヲ使用スルコト  
二 本報告書ニ記載スベキ計數中キロワット、キロワット時、圓、厘ヲ單位トスルモノハ其ノ單位迄、斤、疋、咫ヲ單位トスルモノハ其ノ小數一位迄ヲ記載シ各其ノ未滿ハ四捨五入スルコト但シ其ノ單位ニ滿タザルモノアル場合ニハ實數ヲ記載スルコト  
三 本報告書ノ記載事項ニシテ前年度ニ此シ著シ

キ増減アリタル場合ニハ當該表中ニ其ノ事由ヲ附記スルコト  
四 本報告書ハ別記様式ニ依リ之ヲ調製スルコト但シ各表中該當事項ナキ欄ハ之ヲ省略シ各欄中記載事項ナキ場合ニハ「」印ヲ記載スルコト











#### 第四篇 電力調整關係

電力調整令

(昭和十四年十月十八日勅令第七百八號)

電力調整令施行規則

(昭和十四年十月十八日遞信省令第四十六號)

電力調整令施行規則第一條但書ノ規定ニ依リ認可ヲ

受クルコトヲ要セザル場合ニ關スル件

(昭和十四年十月十八日遞信省告示第三千三十五號)

電力調整令施行規則第三條ノ規定ニ依リ認可ヲ受クベキ場合ニ關スル件

(昭和十六年遞信省告示第二百九十三號)

電力調整令第三條第一項ノ規定ニ依ル電力消費禁止ニ關スル件

(昭和十四年十二月十八日遞信省告示第三千六百八十五號)

電力調整令第四條第一項ノ規定ニ依ル電力供給禁止ニ關スル件

(昭和十四年十二月十八日遞信省告示第三千六百八十六號)

電力調整令ニ定ムル遞信大臣ノ職權委任ニ關スル件

(昭和十四年十二月十八日遞信省告示第三千六百八十七號)

電力消費規正需用區分ニ關スル件

(昭和十四年十二月二十七日遞信省告示第三千八百十號)

電力消費規正地域區分ニ關スル件

(昭和十五年二月三日遞信省告示第二百三十一號)



電力調整令第三條ノ規定ニ依ル電力消費制限ニ關スル件

(昭和十七年三月十四日遞信省告示第四百十號)

電力調整令第八條ノ規定ニ依ル電氣料金其ノ他供給條件ニ關スル件

(昭和十五年二月十日遞信省告示第三百二十號)

電力調整委員會官制

(昭和十四年十月二十七日勅令第七百三十號)

### 電力調整令

昭和十四年十月十八日  
勅令第七百八號

第一條 國家總動員法第八條ノ規定ニ基ク電力ノ生産、配給又ハ消費ニ關シ必要ナル命令ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ニ於テ電氣事業者トハ電氣事業法第一條若ハ朝鮮電氣事業令第一條ニ掲グル事業者ヲ營ム者又ハ樺太ニ於テ一般ノ需要ニ應ジ電氣ヲ供給スル事業者ヲ營ム者、電氣供給事業者トハ電氣事業法第一條第一號第一號第三號若ハ朝鮮電氣事業令第一條第一號第三號ニ掲グル事業者ヲ營ム者又ハ樺太ニ於テ一般ノ需要ニ應ジ電氣ヲ供給スル事業者ヲ營ム者、電氣鐵道事業者トハ電氣事業法第一條第二號又ハ朝鮮電氣事業令第一條第二號ニ掲グル事業者ヲ營ム者、自家用電氣工作物施設者トハ電氣事業法第三十條第一項若ハ朝鮮電氣事業令第三十三條第一項ノ規定ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シ若ハ認可ヲ受ケテ強電流電氣工作物ヲ施設シタル者又ハ樺太ニ於

テ電壓十ボルト以上ノ自家用電氣工作物ヲ施設シタル者ヲ謂フ

第三條 遞信大臣ハ電力ノ消費者ニ對シ一般的地域、期間、用途又ハ其ノ他ノ事項ヲ指定シテ電力ノ消費ヲ制限若ハ禁止シ又ハ其ノ制限若ハ禁止ノ爲必要ナル措置ヲ命ズルコトヲ得  
電氣供給事業者ハ前項ノ規定ニ依ル制限若ハ禁止又ハ命令アリタル場合ニ於テハ電力ノ供給ニ關シ適當ナル措置ヲ講ジ當該事項ノ實施ヲ圓滑ナラシムルコトヲ旨トスベシ

第四條 遞信大臣ハ電氣供給事業者ニ對シ當該供給事業ニ關シ電力ノ供給若ハ受入ヲ命ジ又ハ電力ノ供給ヲ制限若ハ禁止スルコトヲ得  
遞信大臣ハ電氣供給事業者ニ對シ前項ノ規定ニ依ル命令、制限又ハ禁止ノ爲當該供給事業ニ關シ必要ナル措置ヲ命ズルコトヲ得

第五條 遞信大臣ハ發電設備ヲ有スル電氣鐵道事業者若ハ自家用電氣工作物施設者ニ對シ當該設備ニ依ル電力ノ生産若ハ遞信大臣ノ指定スル者ニ對スル供給ヲ命ジ又ハ送電設備ヲ有スル電氣鐵道事業者若ハ自家用電氣工作物施設者ニ對シ



當該設備ニ依ル電力ノ輸送若ハ遞信大臣ノ指定スル者ニ對スル供給ヲ命ズルコトヲ得  
遞信大臣前項ノ規定ニ依ル命令事項ノ實施ノ爲必要アリト認ムルトキハ前項ニ規定スル電氣鐵道事業者又ハ家用電氣工作物施設者ニ對シ其ノ有スル電氣工作物ニ付修理其ノ他ノ事項ヲ命ズルコトヲ得

第六條 第四條第二項又ハ前條第二項ノ規定ニ依ル命令ヲ爲ス場合ニ於テ遞信大臣必要アリト認ムルトキハ命令事項ノ實施ノ爲必要ナル工事費用ノ負擔其ノ他ノ事項ニ關シ關係ノ電氣事業者、家用電氣工作物施設者又ハ電力ノ供給ヲ受クル者ニ對シ協議ヲ命ズルコトヲ得此ノ場合ニ於テ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ遞信大臣ノ裁定スル所ニ依ルベシ

第七條 遞信大臣必要アリト認ムルトキハ電氣事業者又ハ家用電氣工作物施設者ニ對シ電氣機械器具其ノ他電氣ニ關スル用品又ハ裝置ノ貸借又ハ讓渡ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得前項ノ命令アリタル場合ニ於テハ賃貸料、讓渡價格其ノ他ノ事項ニ關シ當事者間ニ於テ協議ス

ベシ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ遞信大臣ノ裁定スル所ニ依ルベシ

第八條 遞信大臣ハ第三條第一項若ハ第四條第一項ノ規定ニ依ル制限若ハ禁止又ハ第三條第一項、第四條第一項若ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ爲シタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ電氣供給事業者又ハ第五條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者ニ對シ電氣料金其ノ他供給條件ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第九條 遞信大臣ハ電氣事業者又ハ家用電氣工作物施設者ニ對シ本令ニ依リテ爲ス制限、禁止又ハ命令ノ通達ニ付事業主ニ代ルベキ管理人ノ選任ヲ命ズルコトヲ得

第十條 國家總動員法第二十七條ノ規定ニ基キ補償スベキ損失ハ第四條、第五條又ハ第七條第一項ノ規定ニ依ル處分ニ因ル通常生ズベキ損失トス  
損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ處分ガ期間ヲ指定シテ爲サレタルモノナルトキハ當該期間終了後、其ノ他ノモノナルトキハ處分事項ノ實施終了後之ヲ請求スベシ但シ遞信大臣ノ定ムル所

ニ依リ別段ノ時期ニ於テ之ヲ請求スルコトヲ得  
第十一條 遞信大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ電力ノ生産、配給若ハ消費ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ電氣工作物ヲ施設シタル場所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

第十二條 遞信大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ遞信局長又ハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ニ委任スルコトヲ得  
第十三條 本令ノ施行ニ關スル重要事項ニ付行政官廳ノ諮問ニ應ズル爲電力調整委員會ヲ置ク  
第十四條 遞信大臣ハ本令ノ施行ニ關スル重要事項ニ付内閣總理大臣ニ協議スベシ

第十五條 本令中遞信大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官トシ遞信局長又ハ地方長官

トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督府遞信局長又ハ道知事、臺灣ニ在リテハ臺灣總督府交通局長又ハ州知事若ハ廳長トス  
第十六條 第十三條及第十四條ノ規定ハ朝鮮、臺灣及樺太ニ在リテハ之ヲ適用セズ

附則  
本令ハ昭和十四年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣及樺太ニ在リテハ昭和十四年十月二十七日ヨリ之ヲ施行ス



### 電力調整令施行規則

昭和十四年十月十八日  
逓信省令第四十六號  
昭和十六年五月三十一日  
逓信省令第五十六號改正  
昭和十七年一月十日  
逓信省令第三號改正

第一條 新ニ電力ヲ受電シ又ハ受電電力ヲ増加シテ電力ノ消費ヲ爲サントスル者ハ左ノ區別ニ依リ逓信大臣又ハ逓信局長ノ認可ヲ受クベシ但シ告示ヲ以テ指定スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 新規受電電力又ハ増加受電電力一千キロワット以上ノモノニ在リテハ逓信大臣

二 其ノ他ノモノニ在リテハ逓信局長

第一條ノ二 前條ノ規定ニ依ル認可ハ左ノ期日迄ニ之ヲ申請スベシ

一 前條第一號ニ該當スルモノ

(一) 四月一日ヨリ九月三十日迄ノ間ニ於テ受電ヲ開始セントスルモノニ在リテハ前年ノ十月三十一日

(二) 十月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ノ間ニ於テ受電ヲ開始セントスルモノニ在リテハ

四月三十日

二 前條第二號ニ該當スルモノ

(一) 一月一日ヨリ三月三十一日迄ノ間ニ於テ受電ヲ開始セントスルモノニ在リテハ前年ノ六月三十日

(二) 四月一日ヨリ六月三十日迄ノ間ニ於テ受電ヲ開始セントスルモノニ在リテハ前年ノ九月三十日

(三) 七月一日ヨリ九月三十日迄ノ間ニ於テ受電ヲ開始セントスルモノニ在リテハ前年ノ十二月三十一日

(四) 十月一日ヨリ十二月三十一日迄ノ間ニ於テ受電ヲ開始セントスルモノニ在リテハ三月三十一日

逓信大臣又ハ逓信局長ニ於テ特別ノ事情ニ因リ必要アリト認ムルトキハ前項各號ニ規定スル期日後ト雖モ申請書ヲ受理スルコトアルベシ

第二條 第一條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスルトキハ申請書ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シ之ヲ當該官廳ニ提出スベシ

一 電力ヲ必要トスル事由

### 二 豫定電氣供給事業者

受電電力常時出力、期間常時出力(受電期間ヲ附記スベシ)、特殊出力(受電期間又ハ受電電力最ニ關スル條件ヲ附記スベシ)、補給出力、豫備出力、融通出力ノ別及其ノ合計ヲ記載シ受電電力ヲ増加セントスルモノニ在リテハ現在ノ受電電力ヲ附記スベシ

### 四 受電時間

受電開始豫定期日受電電力が新規受電電力又ハ増加受電電力ニ達スル迄ノ毎月ノ受電豫定ヲ附記スベシ

### 六 電力消費装置ノ施設場所及概要

第二條ノ二 新ニ三千キロワット以上ノ電力ヲ受電シ又ハ受電電力ヲ三千キロワット以上増加シテ電力ノ消費ヲ爲サントスル者ハ受電開始豫定期日ノ二年以前ニ前條各號ニ掲グル事項ノ概要ヲ具シ逓信大臣ニ届出ヅルコトヲ旨トスベシ

前項ノ規定ニ依リ届出デタル事項ヲ變更シタルトキハ遲滞ナク逓信大臣ニ届出ヅルコトヲ旨トスベシ

第三條 電氣供給事業者別ニ告示ヲ以テ指定スル限度ヲ超ユル電力消費装置ヲ新設又ハ増設シテ電力ノ消費ヲ爲サントスル者ニ對シ電力ヲ供給セントスルトキハ第一條ノ規定ニ依ル認可ヲ受

### 三

ケタル者ニ對シ電力ヲ供給セントスル場合ヲ除クノ外逓信局長ノ認可ヲ受クベシ

第四條 電力調整令第六條又ハ第七條第二項ニ規定スル協議調ヒタルトキハ當事者連署ノ上契約書ノ謄本ヲ添ヘ其ノ旨ヲ當該命令官廳ニ届出ヅベシ

### 第五條 電力調整令第六條又ハ第七條第二項ノ規定ニ依リ裁定ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ノ正本ニ相手方ノ員數ニ相當スル數ノ副本ヲ添ヘ之ヲ當該命令官廳ニ提出スベシ

一 申請人及相手方ノ氏名又ハ名稱及住所

二 申請ノ目的及事由

前項ノ申請書ヲ受理シタル當該官廳ハ副本ヲ相手方ニ送付シ其ノ指定スル期間内ニ答辯書ヲ差出サシムベシ

前項ノ期間内ニ答辯書ヲ差出サザルトキハ當該官廳ハ申請書ノミニ依リテ裁定ヲ爲スコトヲ得當該官廳裁定ヲ爲シタルトキハ裁定書ニ理由ヲ附シ當事者ニ送付スベシ

第六條 電力調整令第三條第一項ノ規定ニ基キテ



爲ス制限、禁止又ハ命令ハ告示シテ之ヲ爲ス  
電力調整令第四條ノ規定ニ基キテ爲ス制限、禁  
止若ハ命令又ハ電力調整令第八條ノ規定ニ基キ  
テ爲ス命令ハ告示シ又ハ令書ヲ發シテ之ヲ爲ス  
電力調整令第五條、第六條、第七條第一項又ハ  
第九條ノ規定ニ基キテ爲ス命令ハ令書ヲ發シテ  
之ヲ爲ス  
緊急ノ必要アルトキハ前二項ノ規定ニ拘ラズ電  
信ニ依ルコトヲ得

第七條 電力調整令第九條ノ規定ニ依ル命令アリ  
タル場合ニ於テ事業主管理人ヲ選任シタルトキ  
ハ電力調整令第十一條第一項ノ規定ニ基キ其ノ  
旨ヲ當該命令官廳ニ届出ヅベシ之ヲ變更シタル  
トキ亦同ジ

第八條 電力調整令第十一條第二項ノ規定ニ依ル  
證票ハ別記様式ニ依ル

第九條 電力調整令第四條乃至第六條、第七條第  
一項、第九條又ハ第十一條第一項ニ定ムル遞信  
大臣ノ職權ハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外遞  
信局長之ヲ行フコトヲ得  
電力調整令ニ定ムル遞信大臣ノ職權ハ別ニ告示

スル所ニ從ヒ地方長官（東京府ニ在リテハ警視  
總監）之ヲ行フコトヲ得

第十條 第二條、第四條、第五條第一項又ハ第七  
條ノ規定ニ依リ申請書又ハ届書ヲ遞信大臣ニ提  
出スル場合ニ於テハ同時ニ其ノ副本ヲ事業地ヲ  
管轄スル遞信局長ニ提出スベシ

第三條ノ規定ニ依リ申請書ヲ遞信局長ニ提出ス  
ル場合ニ於テハ同時ニ其ノ副本ヲ事業地ヲ管轄  
スル地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ニ  
提出スベシ

附則

本令ハ電力調整令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

（昭和十六年五月省令第五十六號）  
本令ハ昭和十六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則

（昭和十七年一月省令第三號昭）  
（昭和十七年一月十日ヨリ施行）  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス第一條ノ規定ニ依  
ル認可ハ昭和十七年九月三十日迄ニ受電ヲ開始セ  
ントスルモノニ在リテハ第一條ノ二ノ規定ニ拘ラ  
ズ同年三月三十一日迄ニ之ヲ申請スベシ  
（別記様式）

本票ノ用紙ノ大サハ國定規格 A7 (74mm x 105  
mm) トシ中央點線ノ所ヨリ二ツ折トス



(表 面)

電力調整ニ關スル臨檢票

(裏 面)

第 號 昭和 年 月 日交付

官 職 氏 名

逓信省、逓信局  
又ハ廳府縣印

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

電力調整令第十一條 逓信大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ電力ノ生産、配給又ハ消費ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ電氣工作物ヲ施設シタル場所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

電力調整令施行規則第八條 電力調整令第十一條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記様式ニ依ル



電力調整令施行規則第一條但書ノ規定ニ依リ認可ヲ受クルコトヲ要セザル場合ニ關スル件

昭和十四年十月十六日  
逓信省告示第三千三百五十五號  
昭和十六年五月五日  
逓信省告示第二千九百九十二號改正

電力調整令施行規則第一條但書ノ規定ニ依リ認可ヲ受クルコトヲ要セザル場合左ノ通指定シ電力調整令施行規則施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
新規受電電力又ハ増加受電電力百キロワット未満ノ場合

電力調整令施行規則第三條ノ規定ニ依リ認可ヲ受クベキ場合ニ關スル件

昭和十六年五月三十一日  
逓信省告示第二千九百九十三號  
電力調整令施行規則第三條ノ規定ニ依リ認可ヲ受

クベキ場合左ノ通指定シ昭和十六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス  
一 電氣供給規程ニ依リ電力ヲ供給セラルル電動機ニ在リテハ定格出力又ハ其ノ合計十キロワット又ハ十五馬力以上  
二 電氣供給規程ニ依リ電力ヲ供給セラルル電動機以外ノ電力消費装置（電燈ヲ除ク）ニ在リテハ定格容量又ハ其ノ合計十キロワット以上  
三 電氣供給規程ニ依ラズシテ電力ヲ供給セラルル電力消費装置ニ在リテハ契約電力十キロワット以上

電力調整令第三條第一項ノ規定ニ依ル電力消費禁止ニ關スル件

昭和十四年十二月十八日  
逓信省告示第三千六百八十五號  
昭和十六年十二月十一日  
逓信省告示第二千四百八十八號改正  
電力調整令第三條第一項ノ規定ニ依ル電力ノ消費ノ禁止ニ關シ左ノ通定メ昭和十五年一月一日ヨリ

之ヲ施行ス

電力ハ左ニ掲グルモノノ用ニ之ヲ消費スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ノ除外シタル場合又ハ其ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 ネオンサイン 公共標識用ノモノヲ除ク
- 二 電飾 屋内照明用ノモノヲ除ク
- 三 廣告燈 看板燈ヲ除ク
- 四 屋外用投光器 交通用及作業用ノモノヲ除ク
- 五 庭園燈 公園ニ施設スルモノヲ除ク
- 六 多燈式街路燈
- 七 暖房用電熱器 電氣ストーブ、電氣火鉢及之ニ類スルモノニシテ容量五百ワット以上ノモノニ限ル

電力調整令第四條第一項ノ規定ニ依ル電力供給禁止ニ關スル件

昭和十四年十二月十八日  
逓信省告示第三千六百八十六號

昭和十六年十二月十一日  
逓信省告示第二千四百九十九號改正  
電力調整令第四條第一項ノ規定ニ依ル電力ノ供給ノ禁止ニ關シ左ノ通定メ昭和十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス  
電氣供給事業者ハ左ニ掲グルモノノ用ニ消費セラレベキ電力ヲ供給スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ノ除外シタル場合又ハ其ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 電氣風呂
- 二 調理用電熱器 新設又ハ増設モルモノニ限ル
- 三 家庭用電氣冷蔵庫 新設又ハ増設スルモノニ限ル
- 四 庭園用電動揚水ポンプ 公園ニ施設スルモノヲ除ク
- 五 エレベーター 傷病者運搬用及貨物運搬用ノモノニシテ行程十米以上ノモノヲ除ク
- 六 エスカレーター 貨物運搬用ノモノヲ除ク

電力調整令ニ定ムル逓信大臣ノ職權委任ニ關スル



件

昭和十四年十二月十八日  
逓信省告示第三千六百八十七號

電力調整令ニ定ムル逓信大臣ノ職權ニシテ電力調整令施行規則第九條第二項ノ規定ニ依リ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ノ行フコトヲ得ルモノハ左ニ掲グルモノトス

- 一 電力調整令第三條又ハ第四條ノ規定ニ基キテ爲ス制限、禁止又ハ命令ニ關シ其ノ實施狀況ヲ監視スル爲同令第十一條第一項ノ規定ニ基キ所屬官吏ヲシテ臨檢検査セシムルコト
- 二 電力調整令第三條又ハ第四條ノ規定ニ基キテ爲ス制限、禁止又ハ命令ヲ保安上其ノ他緊急已ムヲ得ザル必要アル場合ニ於テ臨時變更又ハ解除スルコト
- 三 電力調整令第三條第一項ノ規定ニ基キテ爲ス禁止ノ實施ニ關シ一般的ニ必要ナル措置ヲ

命ズルコト  
四 其ノ他電力調整令ニ基キテ爲ス處分ニ依リ地方長官ノ權限ニ屬セシメタルモノ

電力消費規正需用區分ニ關スル件

昭和十四年十二月二十七日  
逓信省告示第三千八百十號  
昭和十五年十月  
逓信省告示第二千九百五號改正

電力調整令第三條第一項又ハ第四條第一項ノ規定ニ依リ制限、禁止又ハ命令ヲ爲ス場合ニ於テ用途ヲ指定スルトキハ別表ノ區分ニ依ル（別表）  
電力消費規正需用區分表

第一種需用

- 一 軍用
  - 二 其ノ他逓信大臣ノ指定シタルモノ
- 第二種需用  
甲類（左ニ掲グルモノノ外逓信大臣ニ於テ特ニ本類ニ屬セシムルモノアルベシ）

部門	業種	種目	細目	備考
一、鑛業	(一)採鑛業	1 金	屬鑛業	逓信大臣ノ指定シタルモノニ限ル
		2 石	炭鑛業	同右
二、工業	(一)金屬工業	1 製	鐵鑛業	同右
		3 石	油鑛業	同右
		イ、鋼材	逓信大臣ノ指定シタルモノニ限ル	同右
		a、普通鋼	同右	同右
		b、特殊鋼	同右	同右
		c、鍛鑄鋼	同右	同右
		ロ、鋼塊	同右	同右
		ハ、銑鐵	同右	同右
		ニ、フエロアロイ	同右	同右
		イ、鋼船(千噸以上ニ限ル)	同右	同右
	(二)軍需品製造業	1 兵器及兵器部分品製造業	同右	同右
		2 非鐵金屬製鍊業	同右	同右
	(三)機械器具工業	1 造船(含部分品及附屬品)業	同右	同右
		2 衣糧製造業	同右	同右

四篇 電力消費規正需用區分ニ關スル件







乙類 (左ニ掲グルモノノ外遞信大臣ニ於テ特ニ本類ニ屬セシムルモノアルベシ)

部門	業種	種目	細目	備考
一、輸出品製造業	(一)土砂採取業	1 土石採取業	イ、石灰石	遞信大臣ノ指定シタルモノニ限ル
二、鑛業	(一)金屬工業	1 非鐵金屬材料品製造業	イ、銅 ロ、黃銅 ハ、鉛 ニ、亞鉛 ホ、ニッケル ヘ、減摩合金 ト、アルミニウム チ、輕合金 イ、銑鐵鑄物 a、鑄鐵管 b、機械用鑄物 ロ、可鍛鐵鑄物 ハ、非鐵金屬鑄物 a、機械用ノモノ	
三、工業	(一)金屬工業	2 鑄物業		

(二)機械器具工業		種目	細目	備考
1	蒸気罐製造業	イ、蒸気タービン		日本機械製造工業組合 聯合會所屬ノモノニ限ル
2	原動機製造業	ロ、水車 イ、發電機、電動機、變壓器		
3	電氣機械器具製造業	ロ、蓄電池		日本機械製造工業組合 聯合會所屬ノモノニ限ル
4	自動車専用ガス發生装置製造業			
5	採鑛、選鑛、製鍊機械器具製造業			日本機械製造工業組合 聯合會所屬ノモノニ限ル
6	製鐵用又ハ非金屬材料製造用機械器具製造業			
7	石油精製用機械器具製造業			同右
8	水壓鐵管水門又ハ鐵塔製造業			
9	化學工業用機械器具製造業			同右
10	起重機製造業			
			イ、人造石油其ノ他液體燃料製造用機械 ロ、アルミニウム製造用機械 ハ、マグネシウム製造用機械 ニ、硫安製造用機械 ホ、パルプ製造用機械	



11 卷上機、聯送機及運搬機製造業	イ、有線電信電話機械器具	日本機械製造工業組合 聯合會所屬ノモノニ限
12 氣體壓縮機製造業	ロ、無線電信電話機械器具 (除家庭ラヂオ)	同
13 ポンプ製造業	イ、索道又ハ鋼索	同
14 送風機製造業	ロ、釘類	同
15 水壓機製造業	ハ、交通信號保安裝置及分岐器	同
16 計器又ハ測定器製造業		同
17 軸受製造業		同
18 瓣及コック製造業		同
19 試驗檢定及學術研究用機械製造業		同
20 農林漁業機械器具製造業		同
21 電氣通信用機械器具製造業		同
22 電線及電纜製造業		同
23 其ノ他ノ金屬製品製造業		同

(三) 窯業

(四) 化學工業

1 耐火煉瓦製造業	イ、光學ガラス	
2 ガラス及ガラス製品製造業	イ、壓縮ガス	
3 セメント製造業	ア、酸素	
1 工業藥品製造業	ロ、石炭酸	
2 農業藥劑製造業	ハ、グリセリン	
3 發火物製造業	イ、火藥	
4 染料及中間物製造業	ロ、爆藥	
5 塗料及顔料製造業	ハ、導火藥	
	イ、染料中間物其ノ他コ ルタール分溜物誘導體	
	ロ、合成染料	
	イ、塗料	
	ア、ペイント(船底塗料 ニ限ル)	
	バ、自動車及航空機用其 ノ他特殊塗料	



6 ゴム製品製造業	イ、軟質ゴム製品 a、タイヤ及其ノ附屬品 (自動車及航空機用ノモノニ限ル)
7 再生ゴム製造業	b、コンベヤ用ベルト
8 炭素製品製造業	c、防毒資材
9 ピッチコークス製造業	イ、電氣カーボン
10 ヴアルカナイズトファイバー製造業	ロ、活性炭素
11 合成樹脂製造業	
12 寫眞用フィルム乾板及感光紙製造業	
1 研磨材料及研磨用品製造業	
2 機械用ベルト製造業	
3 マツチ製造業	

(六)製材業

(五)其ノ他ノ工業

四、農林漁業

(一)農林業

1 脱穀業  
2 養蠶業  
3 家畜飼料加工業  
1 水産漁網製造業

五、官公署事業  
六、其ノ他

(一)倉庫業  
(二)食料品業

1 乾燥野菜製造業  
2 精米及精麥業  
3 冷凍業  
4 製氷業

イ、冷蔵倉庫

第二種需用甲類部門一及二に記載シアル種目及細目ニ屬スルモノニシテ遞信大臣ヨリ指定セラレザルモノ

第三種需用

第一種需用、第二種需用、第四種需用及電燈用ヲ除ク其ノ他ノ需用

第四種需用

一、照明

四篇 電力消費規正需用區分ニ關スル件



- イ、ネ オ ン サ イ ン (公共標識用ノモノヲ除ク)
  - ロ、電 飾 (屋内照明用ノモノヲ除ク)
  - ハ、廣 告 燈 (看板燈ヲ除ク)
  - ニ、屋 外 用 投 光 器 (交通用及作業用ノモノヲ除ク)
  - ホ、庭 園 燈 (公園ニ施設スルモノヲ除ク)
  - ヘ、多 燈 式 街 路 燈
- 二、電熱及動力
- イ、電 氣 風 呂
  - ロ、煖 房 用 電 熱 器 (醫療用以外ノモノニシテ新設又ハ増設スルモノニ限ル)
  - ハ、調 理 用 電 熱 器 (新設又ハ増設スルモノニ限ル)
  - ニ、家 庭 用 電 氣 冷 藏 庫 (新設又ハ増設スルモノニ限ル)
  - ホ、庭園用電動揚水ポンプ (公園ニ施設スルモノヲ除ク)
  - ヘ、エ レ ム ー タ (傷病者運搬用及貨物運搬用ノモノ並ニ行程十米以上ノモノヲ除ク)
  - ト、エ ス カ レ ー タ (貨物運搬用ノモノヲ除ク)

電 燈 用

電力消費規正地域區分ニ關スル件

昭和十五年二月三日  
逓信省告示第二百三十一號  
昭和十五年二月一日  
逓信省告示第四百三號改正

電力調整令第三條第一項又ハ第四條第一項ノ規定ニ依リ制限、禁止又ハ命令ヲ爲ス場合ニ於テ地域ヲ指定スルトキハ別表ノ區分ニ依ル(別表)

電力消費規正地域區分表

北海道地方東北部  
根室國。北見國。釧路國。十勝國。天鹽國。石狩國上川郡、空知郡、夕張郡、雨龍郡、樺戸郡、濱益郡、札幌郡(江別町)、石狩郡(新篠津村、當別村)

北海道地方西南部  
日高國。膽振國。後志國。渡島國。石狩國(北海道地方東北部ニ屬スルモノヲ除ク)

東北地方北部  
青森縣。岩手縣。秋田縣。山形縣酒田市、鶴岡

四篇 電力消費規正地域區分ニ關スル件

市、北村山郡、飽海郡、東田川郡、西田川郡、最上郡

東北地方南部  
宮城縣。福島縣。山形縣(東北地方北部ニ屬スルモノヲ除ク)

關東地方  
新潟縣。茨城縣。栃木縣。群馬縣。埼玉縣。千葉縣。東京府。神奈川縣。山梨縣。静岡縣

中部地方  
長野縣。岐阜縣。愛知縣。三重縣。富山縣。石川縣。福井縣

近畿地方  
滋賀縣。京都府。大阪府。奈良縣。和歌山縣。兵庫縣

中國地方東部  
岡山縣(中國地方中部ニ屬スルモノヲ除ク)。廣島縣深安郡(山野村)、比婆郡(東城町、帝釋村、八幡村、田森村、久代村)、神石郡(油木町、豊松村、古川村、高光村、永渡村、新坂村、小野村、阿下村、上村、小島村、常光村、龜石村、仙養村)。鳥取縣(中國地方中部ニ屬スルモノヲ除ク)



ノヲ除ク。香川縣小豆郡

中國地方中部

岡山縣小田郡(笠岡町、金浦町、陶山村、城見村、大井村、吉田村、神島内村、神島外村、北木島村、眞鍋島村)。廣島縣(中國地方東部及西部ニ屬スルモノヲ除ク)。鳥取縣米子市、日野郡、東伯郡、西伯郡、氣高郡(鹿野町、青谷町、瑞穂村、寶木村、酒津村、正篠村、勝谷村、逢坂村、小鷲河村、日置村、日置谷村、勝部村、中郷村)。島根縣。山口縣阿武郡(須佐町、徳佐村、嘉年村、田万崎村、地福村)。愛媛縣越智郡(弓削村、生名村、岩城村、東伯方村、西伯方村、大山村、宮窪村、津倉村、龜山村、渦浦村、瀬戸崎村、盛口村、宮浦村、鏡村、岡山村、關前村)。

中國地方西部

廣島縣佐伯郡(玖波町、大竹町、小方村、木野村)。山口縣(中國地方中部ニ屬スルモノヲ除ク)。

四國地方

香川郡(小豆郡ヲ除ク)。愛媛縣(中國地方中

部ニ屬スルモノヲ除ク)。徳島縣。高知縣

九州地方東部

福岡縣(九州地方西部ニ屬スルモノヲ除ク)。熊本縣阿蘇郡(産山村、野尻村)。大分縣(九州地方西部ニ屬スルモノヲ除ク)。宮崎縣(九州地方西部ニ屬スルモノヲ除ク)。

九州地方西部

福岡縣福岡市、久留米市、大牟田市、遠賀郡(岡垣村)、宗像郡、糟屋郡(宇美町、須惠村ヲ除ク)、筑紫郡(日佐村、那珂村、岩戸村、安德村ヲ除ク)、早良郡、糸島郡、三井郡、朝倉郡、浮羽郡、八女郡、山門郡、三潞郡、三池郡。佐賀縣。長崎縣。熊本縣(九州地方東部ニ屬スルモノヲ除ク)。大分縣日田郡(大鶴村、夜明村、五和村、直入郡(久住町、岡本村、下竹田村、長湯村、阿蘇野村、都野村、白丹村ヲ除ク)、大野郡(小富士村、上緒方村、長谷川村)。宮崎縣都城市、兒湯郡(西米良村)、西諸縣郡(飯野村、加久藤村、眞幸村)、北諸縣郡。鹿兒島縣。

電力調整令第三條ノ規定ニ依ル電力消費制限ニ關スル件

昭和十七年三月十四日 逓信省告示第四百十號

第一條 電力(電燈用電力ヲ除ク)ハ月二日之ヲ消費スルコトヲ得ズ

但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限リニ在ラズ

- 一 逓信大臣又ハ逓信局長ニ於テ一般的又ハ個別的ニ當該制限ヲ緩和シ又ハ解除シタルトキ
- 二 地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ニ於テ保安上其ノ他緊急已ムヲ得ザル必要ニ因リ當該制限ヲ臨時緩和又ハ解除シタルトキノナルトキ
- 三 他ヨリノ受電ニ依ラザル電力ヲ消費スルモ前項ノ電力ヲ消費スルコトヲ得ザル日ハ逓信局長之ヲ指定ス
- 第二項ノ指定ハ電氣供給事業者ヲシテ電力ノ消費者ニ對シ之ヲ通達セシム

第二條 逓信局長ハ前條ノ規定ニ基ク制限ニ違反シタル者ニ對シ電力ノ消費ノ停止其ノ他必要ト認ムル措置ヲ命ズルコトアルベシ

附則

本告示ハ昭和十七年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス 昭和十六年十一月逓信省告示第二千三百四號ハ之ヲ廢止ス



### 電力調整令第八條ノ規定 ニ依ル電氣料金其ノ他供給 條件ニ關スル件

昭和十五年二月二十日  
逓信省告示第三百二十號  
昭和十五年十一月十日  
逓信省告示第九百七十一號改正  
昭和十六年十一月十一日  
逓信省告示第九百七十一號改正  
昭和十六年十一月十一日  
逓信省告示第九百七十一號改正

電力調整令第八條ノ規定ニ依リ昭和十四年十二月十二日逓信省告示第三千六百八十五號ニ依リ消費ヲ禁止セラレ若ハ同第三千六百八十六號ニ依リ供給ヲ禁止セラレ又ハ昭和十六年十一月十一日逓信省告示第二千三百四號ニ依リ消費ヲ制限セラレタル電力ニ對スル電氣料金其ノ他供給條件ニ關シ左ノ通定メ本日ヨリ之ヲ施行ス

消費ヲ制限セラレタル電力ニ對スル電氣料金ノ算定ハ左ノ各號ニ依ル

- 一 最大電力ニ付制限アリタルモノハ電氣供給規程ニ依リ供給セラルモノニ付テハ電氣供給規程中當該制限後ノ最大電力ニ相當スル電力ニ適用スベキ電氣料金ニ依リ料金ヲ算定シ電氣供給規程ニ依ラズシテ供給セラルモノニ付テハ當該制限後ノ最大電力ノ契約最大電力ニ對スル割合ニ應ジ定額料金制ニ依リ供給セラルモノニ在リテハ其ノ定額料金ヲ低減シ從量料金制ニ依リ供給セラルモノニ在リテハ其ノ最低料金、準備料金及料率ノ段階ヲ低減スルモノトス
- 二 實際使用最大電力ガ當該制限後ノ最大電力ヲ超エタルトキハ最大電力ノ超過ニ付電氣供給規程又ハ契約ニ規定スル所ニ從ヒ料金ヲ算定スルモノトス

二 使用電力量ニ付制限アリタルモノハ當該制限後ノ使用シ得ベキ電力量ガ電氣供給規程又ハ契約ニ規定スル最低責任使用量ニ達セザルモノニ付テハ當該制限ノ割合ニ應ジ當該最低

責任使用量ヲ低減シ料金ヲ算定スルモノトス

- 三 一定ノ日又ハ時間ニ於ケル電力使用ノ休止ノ方法ニ依リ電力ノ消費ノ制限アリタルモノハ定額料金制ニ依リ供給セラルモノニ付テハ其ノ休止日數又ハ休止時間數ニ應ジ其ノ定額料金ヲ低減スルモノトス

- 四 第一號ニ規定スル制限方法及第二號又ハ前號ニ規定スル制限方法ガ同時ニ適用セラルモノニ付テハ先ツ第一號ノ規定ニ依リ料金ヲ算定シタル後第二號又ハ前號ノ規定ニ依リ料金ヲ算定スルモノトス此ノ場合ニ於テ第一號ノ規定ニ依リ算定セラレタル料金ハ第二號又ハ前號ノ規定ニ依ル場合ヲ除ク外之ヲ電氣供給規程又ハ契約ノ料金ト看做ス

- 五 第一號及第二號ニ規定スル制限方法ガ同時ニ適用セラルモノニシテ當該制限後ノ使用シ得ベキ電力量ガ第一號ニ依リ低減セラレタル最低料金ニ相當スル電力量ニ達セザルモノニ付テハ第一號ノ規定ニ依リ低減セラレタル最低料金ニ相當スル電力量ト第二號ノ規定ニ

依リ電氣供給規程又ハ契約ニ規定スル最低責任使用量ヲ低減シタル電力量トヲ比較シ兩者ノ中低キモノヲ以テ其ノ最低責任使用量トシテ料金ヲ算定スルモノトス

### 電力調整委員會官制

昭和十四年十月二十七日  
勅令第七百三十號

- 第一條 電力調整委員會ハ中央電力調整委員會及地方電力調整委員會トス
- 中央電力調整委員會ハ逓信大臣、地方電力調整委員會ハ電氣ニ關スル管轄權ヲ有スル逓信局長（以下單ニ逓信局長ト稱ス）ノ監督ニ屬ス
- 中央電力調整委員會ハ逓信局長ノ諮問ニ應ジテ電力調整委員會ハ逓信局長ノ諮問ニ應ジテ電力調整令ノ施行ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス
- 委員會ハ前項ニ規定スル事項ニ付關係行政官廳ニ建議スルコトヲ得
- 第二條 中央電力調整委員會ハ逓信省ニ之ヲ置ク地方電力調整委員會ヲ置クベキ區域及其ノ名稱ハ別表ニ依ル



第三條 委員會ハ會長及委員ヲ以テ之ヲ組織ス  
 第四條 中央電力調整委員會ノ會長ハ遞信大臣、  
 地方電力調整委員會ノ會長ハ遞信局長ヲ以テ之  
 ニ充ツ

第五條 中央電力調整委員會及地方電力調整委員  
 會ノ委員ハ各三十人以内トス  
 前項定員ノ外必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコ  
 トヲ得

第六條 委員及臨時委員ハ關係各廳高等官及學識  
 經驗アル者ノ中ヨリ中央電力調整委員會ニ在リ  
 テハ遞信大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ジ  
 地方電力調整委員會ニ在リテハ遞信大臣之ヲ命  
 ジ

第七條 會長ハ會務ヲ總理ス  
 會長事故アルトキハ中央電力調整委員會ニ在リ

テハ遞信大臣ノ指名スル委員、地方電力調整委  
 員會ニ在リテハ遞信局長ノ指名スル委員其ノ職  
 務ヲ代理ス

第八條 委員會ニ幹事ヲ置ク

幹事ハ中央電力調整委員會ニ在リテハ遞信大臣  
 ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ジ地方電力調整  
 委員會ニ在リテハ遞信大臣之ヲ命ズ  
 幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第九條 委員會ニ書記ヲ置ク

書記ハ中央電力調整委員會ニ在リテハ遞信大  
 臣、地方電力調整委員會ニ在リテハ遞信局長之  
 ヲ命ズ  
 書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別表)

地方電力調整委員會名稱及區域

名	稱	區	域
關東地方電力調整委員會		東京府、神奈川縣、新潟縣、埼玉縣、群馬縣、千葉縣、茨城縣、栃木縣、靜岡縣、山梨縣	
中部地方電力調整委員會		愛知縣、三重縣、岐阜縣、長野縣、福井縣、石川縣、富山縣	
近畿地方電力調整委員會		大阪府、京都府、兵庫縣、奈良縣、滋賀縣、和歌山縣	
中國地方電力調整委員會		廣島縣、鳥取縣、島根縣、岡山縣、山口縣	
四國地方電力調整委員會		德島縣、香川縣、愛媛縣、高知縣	
九州地方電力調整委員會		熊本縣、長崎縣、福岡縣、大分縣、佐賀縣、宮崎縣、鹿兒島縣、沖繩縣	
東北地方電力調整委員會		宮城縣、福島縣、岩手縣、青森縣、山形縣、秋田縣	
北海道地方電力調整委員會		北海道	



第五篇 發電水力調查關係

發電水力調查圖表類交付規則

(大正三年五月遞信省令第十一號)

流速計係數試驗規則

(大正十年十二月遞信省令第五十二號)

發電水力調查吏員證票

(大正七年六月遞信省告示第八百五十一號)



# 發電水力調査圖表類交付規則

大正三年五月  
遞信省令第十一號  
大正十年四月  
遞信省令第二十號改正  
大正十四年四月  
遞信省令第九號改正

第一條 遞信省ニ於テ調査シタル發電水力調査圖表類ハ其ノ副本ノ交付ヲ申請スルコトヲ得  
第二條 調査圖表類ノ交付ヲ申請セムトスル者ハ第一號書式ノ申請書ヲ差出スベシ  
前項ノ申請書ニハ第二號書式ノ企業概要書ヲ添付スベシ

第三條 調査圖表類ノ交付ヲ申請セムトスル者ハ左ノ區別ニ依リ手数料ヲ納付スベシ

- 一 流量ニ關スル調査圖表類  
一 流量測定地點(又ハ一測水所)  
一 曆年分ニ付 金五十圓  
一 曆年ニ於ケル調査期間一年未滿ノモノニ付 金二十五圓

- 二 地形ニ關スル調査圖表類  
一 水力地點又ハ一水力地點トシテ利用セムト

五篇 發電水力調査圖表類交付規則

金 百圓

スル區間ニ付  
前項第一號ノ場合ニ於テ毎日ノ流量ニ關スル圖表ノ交付ヲ受ケザルモノノ手数料ハ各其ノ半額トス

手数料ハ其ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ申請書ニ貼付シテ納付スベシ  
前項ノ收入印紙ハ遞信省ニ於テ之ヲ消印ス

第四條 遞信省ニ於テ調査シタル流量測定地點(又ハ測水所)及發電水力地點ハ地方廳又ハ遞信局ニ就キ承合スベシ

第五條 (削除)



第一號書式

收入印紙ヲ貼シベシ  
但シ滄印スベシ  
ベカラズ

發電水力地點調査圖表類副本交付申請書

貴省ニ於テ調査相成候左記圖表類ノ副本交付相成度企業概要書添附此段申請候也

記

一 流量圖表(自何年何月 至何年何月)

但シ何々水系何々川筋何縣何郡何町何字流量測定地點(又ハ測水所)ニ關スルモノ

二 地形圖

但シ何々水系何々川筋何號水力地點又ハ自何縣何郡何村何字至何縣何郡何村何字間(河川合流點下 流何間等)ノモノ

年 月 日

住 所

申請者 氏

名 印

遞信大臣宛

第二號書式

企業概要書

一 企業者名

二 利用河川及地點

河川名 何水系 何 川

地 點 取入口 何縣何郡何村何字

放水口 何縣何郡何村何字

三 水力利用ノ目的

四 動力利用區域



### 流速計係數試驗規則

大正十年十二月  
逓信省令第五十二號

附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

#### 第一條

發電水力調査用流速計係數試驗ノ依頼ハ本令ノ定ムル所ニ依ル但シ事務ノ都合ニ依リ之ガ依頼ニ應ゼザルコトアルベシ

#### 第二條

流速計ノ係數試驗ヲ申請スル者ハ第一號書式ノ申請書ニ現品ヲ添ヘ之ヲ逓信省電氣局ニ差出スベシ

前項ノ場合ニ於テ申請者ガ東京市又ハ其ノ隣接町村内ニ住所ヲ有セザルトキハ右地域内ニ於テ流速計ノ引取人ヲ定メ其ノ住所氏名ヲ申請書ノ差出ト同時ニ届出ヅベシ

#### 第三條

流速計ノ係數試驗ヲ申請スル者ハ一箇ニ付十五圓ノ手数料ヲ收入印紙ヲ以テ納付スベシ前項ノ收入印紙ハ逓信省ニ於テ之ヲ消印ス

#### 第四條

流速計ノ係數試驗ヲ爲シタルトキハ第二號書式ノ試驗成績書ヲ申請者ニ交付ス必要アリト認ムルトキハ試驗ヲ爲シタル流速計又ハ其ノ容器ニ番號ヲ附スルコトアルベシ

### 第一號書式

收入印紙ヲ貼付スベシ但シ消印スベカラズ

#### 流速計係數試驗申請書

一 種類 何々式何々型等ノ區別

二 製造者名

三 番 號

右發電水力調査用流速計ノ係數試驗申請候也

年 月 日

住 所

申 請 者

氏

名 印

住 所

流 速 計 引 取 人

氏

名 印

逓 信 大 臣 宛



第二號書式

水試第 號  
 流速計係數試驗成績書  
 流速計ノ種類.....試驗番號.....  
 流速計ノ番號.....試驗年月日 昭和 年 月 日  
 申請者名.....

上記發電水力調査用流速計係數試驗成績下ノ如シ

米單位ノトキ 尺單位ノトキ  
 $V = N +$   $V = N +$

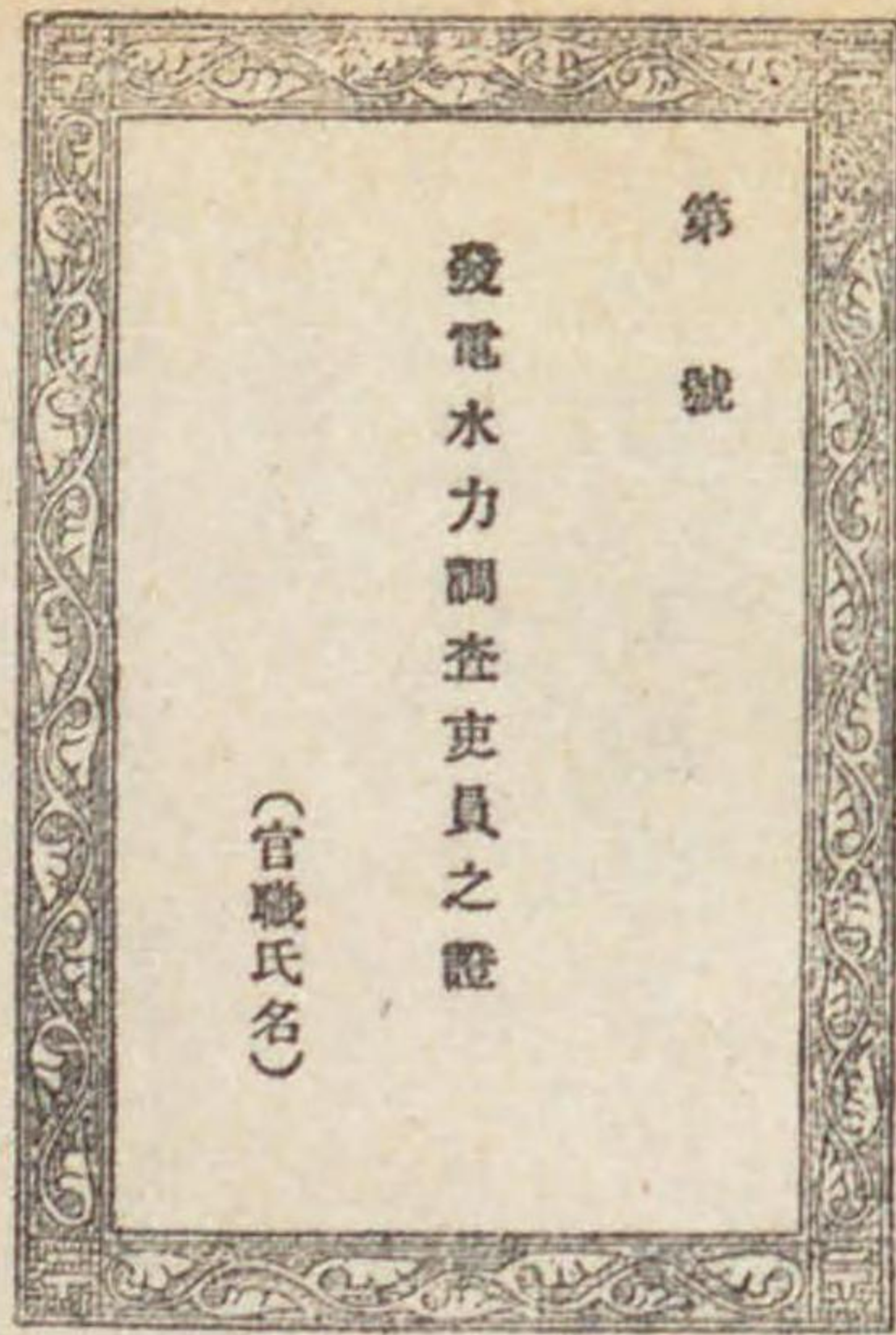
但シVハ每秒時ニ於ケル流速  
 Nハ每秒時ニ於ケル流速計廻轉翼ノ廻轉數

昭和 年 月 日 遞 信 省 團

發電水力調査吏員證票

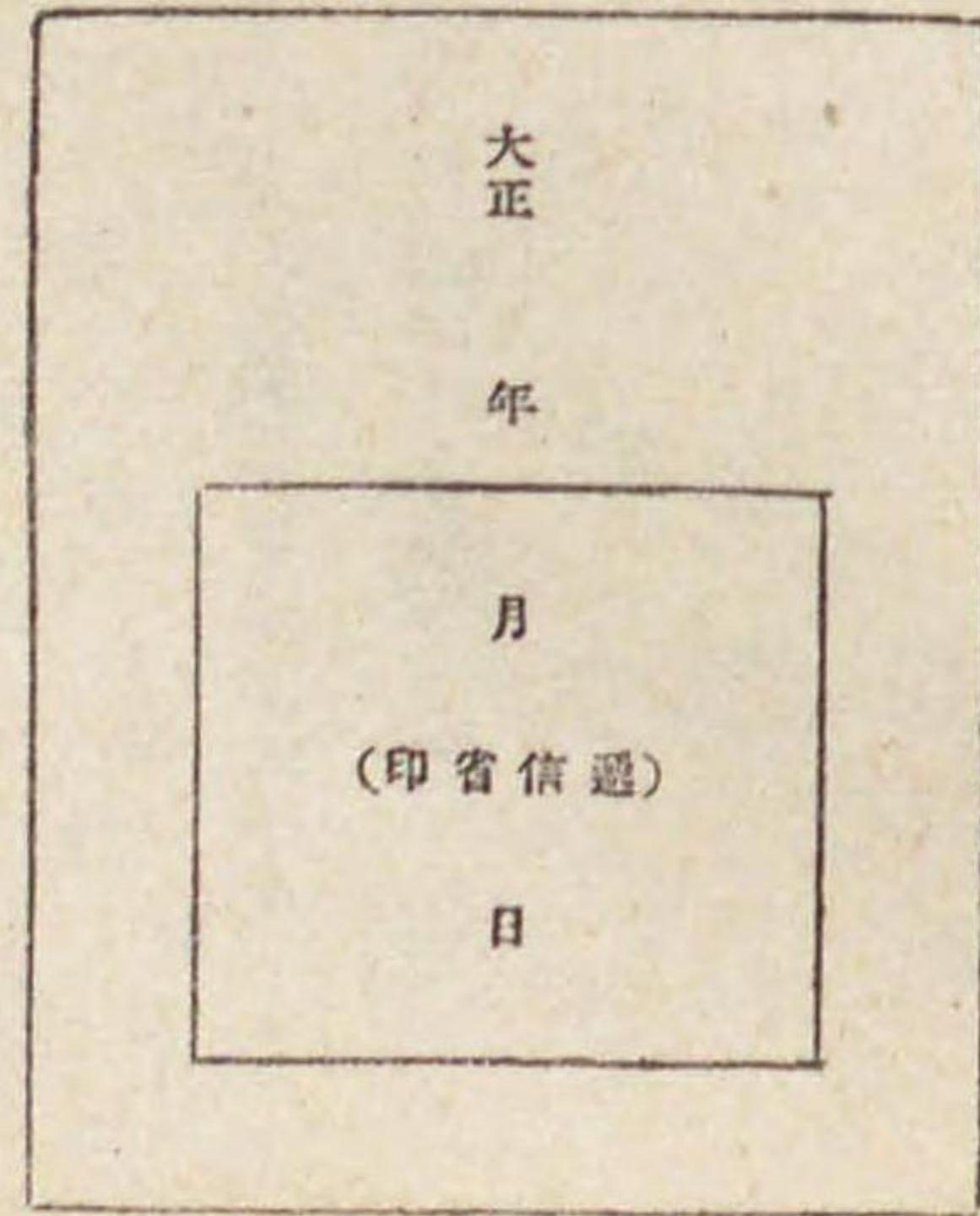
大正七年六月十一號  
遞信省告示第八百五十一號

(面 表)



縱三寸 横二寸

(面 裏)





第六篇 電氣用品及電氣工事人關係

第一類 電氣用品

電氣用品取締規則

(昭和十年九月遞信省令第三十號)

電氣用品取締規則第三條ノ特例ニ關スル件(昭和十三年十二月遞信省令第八十號)

電氣用品取締規則ニ依ル型式ノ範圍に關スル件

(昭和十一年七月遞信省告示第千二百六十二號)



# 電氣用品取締規則

昭和十年九月  
逓信省令第三十號

## 第一章 總則

第一條 本令ハ左ニ掲グル電氣用品ニ之ヲ適用ス

- 一 絶緣電線
  - 二 可撓紐線
  - 三 金屬管及金屬線繩
  - 四 可熔器
  - 五 開閉器
  - 六 點滅器
  - 七 接續器
  - 八 電熱器
  - 九 小型電動機
  - 十 小型變壓器
  - 十一 電流制限器
- 前項各號ノ電氣用品ノ範圍及細目ハ別表ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 電氣用品ヲ製造セントスル者ハ前條第一項各號毎ニ第二章ノ規定ニ依リ逓信大臣ノ免許ヲ受クベシ

## 第三章

第三條 電氣用品ノ製造者ハ免許ヲ受ケタル電氣用品ニ付別表ニ定ムル型式ノ別毎ニ第三章ノ規定ニ依リ逓信大臣ノ型式承認ヲ受クベシ但シ逓信大臣ニ於テ特ニ其ノ必要ナシト認メタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

## 第四章

第四條 電氣用品ノ輸入者又ハ移入者ハ前條ノ規定ニ準ジ逓信大臣ノ型式承認ヲ受クベシ

## 第五章

第五條 電氣用品ノ製造者又ハ輸入者若ハ移入者ハ逓信大臣ノ型式承認ヲ經サル電氣用品ヲ販賣シ又ハ使用スルコトヲ得ズ

## 第二章 製造免許

第六條 製造ノ免許ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ニ通ヲ具シ申請書(第一號書式)ヲ逓信大臣ニ提出スベシ

- 一 製造所設備ノ概要圖面ヲ添
- 二 製品ノ試験方法及試験設備ノ概要圖面ヲ添
- 三 製品ノ細目別表ニ掲グル品名及一年間ノ製造豫定數量別ニ記載スベシ
- 四 事業資金額履歴書ヲ添
- 五 技術主任者附スベシ



第七條 遞信大臣製造ノ免許ヲ爲シタルトキハ電氣用品製造免許證書(第二號書式)ヲ申請者ニ交付ス

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル事項ヲ變更シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ遞信大臣ニ届出ヅベシ但シ第二號又ハ第三號ノ事項ニ關シテハ關係ノ書類圖面二通ヲ、第五號ノ事項ニ關シテハ履歷書ヲ添付スベシ

- 一 製造所ノ名稱又ハ所在地
- 二 製造所設備
- 三 製品ノ試験方法又ハ試験設備
- 四 事業資金額
- 五 技術主任者

第九條 電氣用品製造免許證書ヲ亡失シ又ハ毀損シタルトキハ遲滞ナク其ノ再交付ヲ遞信大臣ニ申請スベシ

毀損ニ因リ電氣用品製造免許證書ノ再交付ヲ受クルトキハ之ト引換ニ舊證書ヲ遞信大臣ニ返還スベシ

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ電氣用品製造免許證書ノ書換ヲ遞信大臣ニ申請スベシ

損害ハ申請者ノ負擔トス

第十四條 遞信大臣型式承認ヲ爲シタルトキハ電氣用品型式承認書(第五號書式)ヲ申請者ニ交付ス

遞信大臣型式承認ヲ爲シタルトキ又ハ其ノ取消ヲ爲シタルトキハ之ヲ告示ス

第十五條 型式承認ヲ經タル電氣用品ニハ型式承認番號及製造者ノ氏名又ハ名稱輸入品又ハ移入品ニ付テハ輸入者又ハ移入者ノ氏名其ノ他遞信大臣ニ於テ必要ト認ムル事項ヲ標示スベシ

前項ノ氏名又ハ名稱ハ商標商標法ニ依リ登録シタルモノニ限ルヲ以テ之ニ代フルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ豫メ當該商標ヲ遞信大臣ニ届出ヅベシ

第十六條 電氣用品ノ輸入者又ハ移入者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ遞信大臣ニ届出ヅベシ

- 一 氏名又ハ名稱ヲ變更シタルトキ
  - 二 主タル營業所ノ名稱又ハ所在地ヲ變更シタルトキ
  - 三 電氣用品ノ輸入又ハ移入ヲ廢止シタルトキ
- 相續、營業ノ讓渡又ハ會社ノ合併ニ因リ電氣用品

- 一 氏名又ハ名稱ヲ變更シタルトキ
- 二 主タル營業所ノ名稱又ハ所在地ヲ變更シタルトキ

相續、營業ノ讓渡又ハ會社ノ合併ニ因リ電氣用品ノ製造者ノ業務ヲ承繼シタル者ハ相續、讓渡又ハ合併ヲ證明スル書類ヲ添へ遲滞ナク電氣用品製造免許證書ノ書換ヲ遞信大臣ニ申請スベシ

第十一條 電氣用品ノ製造者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ旨ヲ具シ遲滞ナク電氣用品製造免許證書ヲ遞信大臣ニ返還スベシ

- 一 電氣用品ノ製造ヲ廢止シタルトキ
- 二 免許ヲ取消サレタルトキ

第十二條 遞信大臣電氣用品製造ノ免許ヲ爲シ又ハ其ノ取消ヲ爲シタルトキハ之ヲ告示ス

第三章 型式承認

第十三條 型式承認ヲ受ケントスル者ハ申請書(第三號書式)又ハ第四號書式ニ試験品並ニ説明書及圖面各二通ヲ添へ電氣試驗所ニ提出スベシ電氣試驗所ニ於テ必要アリト認ムルトキハ試験品ヲ追加提出セシムルコトアルベシ

品ノ輸入者又ハ移入者ノ業務ヲ承繼シタル者ハ相續、讓渡又ハ合併ヲ證明スル書類ヲ添へ遲滞ナク其ノ旨ヲ遞信大臣ニ届出ヅベシ

第四章 検査

第十七條 遞信大臣ハ電氣用品ノ製造者又ハ輸入者若ハ移入者ニ對シ製造設備、試験設備及電氣用品ニ關シ報告ヲ爲サシメ、試験ノ爲電氣用品ヲ提出セシメ又ハ検査吏員ヲ派遣シテ検査ヲ爲サシムルコトアルベシ

遞信大臣ハ電氣用品ノ製造者又ハ輸入者若ハ移入者ニ對シ製造設備又ハ試験設備ノ改善其ノ他監督上必用ナル事項ヲ命ズルコトアルベシ

第十三條第三項ノ規定ハ第一項ノ規定ニ依リ電氣用品ノ試験ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第十八條 電氣用品ノ製造者又ハ輸入者若ハ移入者ハ毎年一月末日迄ニ其ノ前年中ニ於ケル電氣用品ノ製造高又ハ輸入高若ハ移入高統計表別記ニ依リ調製スベシヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第十九條 遞信大臣ハ左ノ場合ニ於テハ電氣用品ノ製造者又ハ輸入者若ハ移入者ニ對シ電氣用品ノ製造、販賣若ハ使用ノ停止ヲ命ジ又ハ免許若



ハ型式承認ヲ取消スコトアルベシ  
 一 本令又ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ  
 二 電氣用品ニ關シ不正ノ所爲アリタルトキ  
**第二十條** 遞信大臣ハ電氣用品ノ實績ニ因リ必要アリト認メタルトキハ型式承認ヲ取消スコトアルベシ

第五章 手数料

**第二十一條** 製造ノ免許ヲ申請セントスル者ハ手数料七十五圓ヲ納付スベシ  
 電氣用品製造免許證書ノ再交付又ハ書換ヲ申請セントスル者ハ證書一通ニ付手数料二十錢ヲ納付スベシ  
**第二十二條** 型式承認ヲ申請セントスル者ハ別表ニ定ムル手数料ヲ納付スベシ  
**第二十三條** 手数料ハ其ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納付スベシ

第六章 罰則

**第二十四條** 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス  
 一 第二條又ハ第五條ノ規定ニ違反シタル者

法人ナルトキハ其ノ者ニ適用スベキ罰則ハ取締役其ノ他法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附則

**第二十八條** 本令ハ昭和十年十月一日ヨリ之ヲ施行ス  
**第二十九條** 本令施行ノ際現ニ電氣用品ノ製造又ハ輸入若ハ移入ヲ爲ス者ハ本令施行ノ日ヨリ一年内ヲ限リ本令ノ規定ニ拘ラズ仍其ノ業務ヲ繼續スルコトヲ得  
 前項ノ期間經過後ニ於テ引續キ業務ヲ繼續セントスル者ハ本令施行ノ日ヨリ六月内ニ本令ノ規定ニ依ル免許又ハ型式承認ヲ申請スベシ  
 遞信大臣ハ前項ノ申請ニ對スル免許又ハ型式承認ニ有効期間ヲ附スルコトヲ得  
**第三十條** 第二十一條第一項又ハ第二十二條ノ規定ニ依ル手数料ハ前條第三項ノ規定ニ依リ附セラレタル有効期間ノ滿了ニ因リ免許又ハ型式承認ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ之ヲ徴收セズ

二 第十五條ノ規定ニ違反シ又ハ同條ノ標示ニ關シ不正ノ所爲アリタル者  
 三 正當ノ事由ナクシテ第十七條ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ報告ヲ爲サズ若ハ虚偽ノ報告ヲ爲シ、其ノ他遞信大臣ノ命ジタル事項ヲ爲サザル者  
 四 第十九條ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタル者  
**第二十五條** 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ科料ニ處ス  
 一 本令ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リタル者  
 二 電氣用品製造免許證書換ノ申請ヲ怠リタル者  
 三 正當ノ事由ナクシテ電氣用品製造免許證書ノ返還ヲ怠リタル者  
 四 第十八條ノ規定ニ違反シタル者  
**第二十六條** 電氣用品ノ製造者又ハ輸入者若ハ移入者ハ其ノ代理人、戸主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本令又ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ  
**第二十七條** 本章ノ規定ニ依リ處罰セラレベキ者



第一號書式

電氣用品製造免許申請書

収入印紙

貼附シタル収入印紙ノ額

金何圓

一 電氣用品ノ種別第一條第一項各號ノ別ニ依ル

二 製造所ノ名稱及所在地

右電氣用品取締規則第二條ニ依リ電氣用品製造免許申請候也

年 月 日

主タル營業所

申請者 氏 名又ハ名稱 ㊟

（法人ニ在リテハ其ノ代表者ノ氏名ヲ附記スベシ）

逓信大臣宛

第二號書式

第 號

電氣用品製造免許證書

主タル營業所

氏名又ハ名稱

電氣用品ノ種別

右電氣用品取締規則ニ依リ製造ヲ免許ス

年 月 日

逓信大臣 氏

名印



第三號書式

電氣用品型式承認申請書

收入  
印紙

貼附シタル收入印紙ノ額

金何圓

一 電氣用品名

二 型

三 製造免許番號

四 製造所ノ名稱及所在地

右電氣用品取締規則第三條ニ依リ電氣用品型式承認申請候也

年 月 日

主タル營業所

申請者 氏 名又ハ名稱 印

逓信大臣宛

第四號書式

輸入（又ハ移入）電氣用品型式承認申請書

收入  
印紙

貼附シタル收入印紙ノ額

金何圓

一 電氣用品名

二 型

三 產地及製造者

右電氣用品取締規則第四條ニ依リ電氣用品型式承認申請候也

年 月 日

主タル營業所

申請者 氏 名又ハ名稱 印

（法人ニ在リテハ其ノ代表者ノ氏名ヲ附記スベシ）

逓信大臣宛











絶縁電線		
管燈用電線	キヤブダイヤ線 (六)以下ニ使用 (ストルモノ)	ゴム絶縁ニシ テ六〇以下 ルストモノ 用スルニ使
(五)導體ノ單線撚線ノ別	(一)電壓 (二)被覆ノ材料及構 成 (三)導體ノ材料 (四)導體ノ太サ (五)導體ノ單線撚線ノ別	(三)導體ノ材料 (四)導體ノ太サ (五)導體ノ單線撚線ノ別 (六)線心數
同	同	同
二五〇〇	二五〇〇	同
ゴム絶縁電線ノ 試験事項ニ左記 ヲ追加ス 劣化試験	ゴム絶縁電線ノ 試験事項ニ左記 ヲ追加ス 機械的性能試験	導體ノ場合ハ 撚線ノ場合ハ 撚合セテ前ノ素 線一五米ヲ添 付スルコト

備考

一、同一品名ニ付導體ノ太サノミヲ異ニスル二型式以上ヲ同時ニ申請スル場合ハ一型式ハ本表ノ手數料トシ其ノ他ハ一型式ニ付本表手數料ノ二割トス

第二號表 可撓紐線

導體ノ切斷面積五十平方糎以下ノモノニ限ル

細目	細別品名	可撓紐線	
		第一種可撓紐線	第二種可撓紐線
型式ノ別	第一種可撓紐線 第二種可撓紐線	(一)導體ノ材料 (二)導體ノ切斷面積 (三)線心數	(一)被覆ノ材料及構 成 (二)導體ノ材料 (三)導體ノ切斷面積 (四)線心數
試驗數量	一卷(五〇米以 上)撚合セテ前ノ素 線一五米ヲ添 付スルコト	二〇〇〇	同
手數料	同	同	同
主要試驗事項	構造試驗 導體抵抗試驗 絶縁力試驗 絶縁耐熱試驗 機械的性能試験	同	同



屋外用 可撓紐線	(一)被覆ノ材料及構 成 (二)導體ノ材料 (三)導體ノ切斷面積	同	同	一般可撓紐線ニ 同ジ
-------------	---	---	---	---------------

備考

一、同一品名ニ付導體ノ切斷面積ノミヲ異ニスルニ型式以上ヲ同時ニ申請スル場合ハ一型式ハ本表ノ手數料トシ其ノ他ハ一型式ニ付本表手數料ノ二割トス

第三號表 金屬管及金屬線樋

鋼又ハ鐵製ノモノニ限ル

金屬管及附屬品	細別		型式ノ別	提出數量	手數料	主要試驗事項
	品名	目				
金屬管	金屬管	(一)材質 (二)形狀及寸法 (三)繼目ノ接合方法 (四)防銹方法 (五)接續方法	三本	但シ七〇〇 ノハ行フモ トハ一〇圓	屈防 曲銹 試驗	

第四號表 可熔器

定格電壓百ボルト以上ノ低壓ニシテ  
定格電流百アンペア以下ノモノニ限ル

金屬線樋及附屬品	細別		型式ノ別	提出數量	手數料	主要試驗事項
	品名	目				
金屬管接 ボツク ス用手	金屬管接 ボツク ス用手	(一)材質 (二)形狀及主要寸法 (三)防銹方法 (四)接續方法	三箇	五〇〇	防銹 試驗	
金屬線樋 ボツク ス用手	金屬線樋 ボツク ス用手	(一)材質 (二)形狀及主要寸法 (三)防銹方法	三組	七〇〇	同	
同	同	同	三箇	五〇〇	同	

細別	細別		型式ノ別	提出數量	手數料	主要試驗事項
	品名	目				











特減器殊 用バイメタルヲ使 電熱器用 恒温器	(四)極數 (五)速切裝置ノ有無 (六)切換段數 (七)主要部分ノ構造、寸法及材料	同	同	同
---------------------------------	--	---	---	---

備考

一、二重定格ノモノニ在リテハ本表手數料ノ五割ヲ加フ  
二、多段式及切換點減器ニ在リテハ中間段數一段ヲ増ス毎ニ手數料五圓ヲ加フ  
第七號表 接續器

定格電壓百ヴォルト以上ノ低壓ニシテ  
定格電流三十アマペア以下ノモノニ限ル

挿込接續器	細別		型式ノ別	提出數量	手數料	主要試験事項
	品名	目				
挿込接續器	挿込接續器	挿込接續器	(一) 定格電壓 (二) 定格電流 (三) 露出、埋込ノ別 (四) 分岐數 (五) 主要部分ノ構造、寸法及材料	一〇箇	<p>一五〇〇 ペ一〇〇 定格電流 以下</p> <p>二〇〇〇 ペ一〇〇 定格電流 以下</p>	<p>開閉 溫度 絕緣 絕緣 耐熱 把持力 試驗</p>

挿込接續器		分岐挿込接續器	同	同	同	同
分岐挿込接續器	挿込接續器					
分岐挿込接續器	挿込接續器	分岐挿込接續器	同	同	同	同
(一) 定格電壓 (二) 定格電流 (三) 分岐數 (四) 主要部分ノ構造、寸法及材料	(一) 定格電壓 (二) 定格電流 (三) 主要部分ノ構造、寸法及材料	(一) 定格電壓 (二) 定格電流 (三) 露出、埋込ノ別 (四) 分岐數 (五) 主要部分ノ構造、寸法及材料	同	同	同	同
<p>二〇〇〇 ペ一〇〇 定格電流 以下</p> <p>二〇〇〇 ペ一〇〇 定格電流 以下</p>	<p>一五〇〇 ペ一〇〇 定格電流 以下</p> <p>二〇〇〇 ペ一〇〇 定格電流 以下</p>	<p>二〇〇〇 ペ一〇〇 定格電流 以下</p> <p>二〇〇〇 ペ一〇〇 定格電流 以下</p>	同	同	同	<p>開閉 溫度 絕緣 絕緣 耐熱 把持力 試驗</p>







電調熱器用	電氣溫水器	電氣鍍類	其ノ他電熱器
電氣湯沸器 電氣牛乳沸器 電氣トースター	投湯沸器 間湯沸器 電氣温水槽	電氣アイロン 電氣裁縫鍍 電氣半田鍍 電氣髮鍍	毛髮乾燥器 煙草點火器
同	同	同	同
消費電力一キロワット以上	同	同	同
絶縁力試験 自動装置試験 モーター動作試験	絶縁力試験 温度試験 通電試験	絶縁力試験 耐熱試験 減速試験 モーター試験	絶縁力試験 耐熱試験 煙草點火器試験

備考  
一、二段以上ニ切替使用スルモノニ在リテハ手数料五圓ヲ加フ  
二、自動装置ヲ有スルモノニ在リテハ手数料五圓ヲ加フ  
三、型式承認ヲ受ケザル電氣用品ヲ附屬シタル電熱器ニ在リテハ當該附屬品ニ對スル手数料ヲ加算ス

第九號表 小型電動機

- 一、定格電壓百ヴォルト以下ノ低壓ニシテ定格出力一キロワット以下ノモノニ限ル
- 二、器具ノ部分品トシテ組立ラレタルモノハ之ヲ含マズ

細目	細別品名	型式ノ別	提出數量	手数料	主要試験事項
分相起動誘導電動機 機起動誘導電動機 反撥誘導電動機 機起動誘導電動機 整流子電動機	(一) 定格電壓 (二) 定格出力 (又ハ入力) (三) 定格周波數 (四) 極數 (五) 主要部分ノ構造、寸法及材料	同	三箇	二五・〇〇	特起性試験 溫度試驗 絶縁力試験 絶縁力試験
小型单相電動機 (電氣扇 通風用ヲ含ム)	(一) 定格電壓 (二) 消費電力 (三) 定格周波數 (四) 極數 (五) 起動方式	同	同	三〇・〇〇	同



	(六) 主要部分ノ構造、寸法及材料
--	-------------------

備考  
 一、定格電壓二種類以上ノモノニ在リテハ一種類ヲ増ス毎ニ本表手數料ノ五割ヲ加フ  
 二、定格周波數二種類以上ノモノニ在リテハ一種類ヲ増ス毎ニ本表手數料ノ五割ヲ加フ  
 三、型式承認ヲ受ケザル電氣用品ヲ附屬シタル電動機ニ在リテハ當該附屬品ニ對スル手數料ヲ加算ス

第十號表 小型變壓器

定格一次電壓百ヴオルト以上ノ低壓用ノモノニ限ル

細別品名	型式ノ別	試驗品提出數量	手數料	主要試驗事項
呼鈴用變壓器 玩具用變壓器 表示器用變壓器 小型變壓器	(一) 定格電壓 (二) 定格容量 (三) 定格周波數 (四) 主要部分ノ構造、寸法及材料	三箇	一五・〇〇	溫度試驗 絕緣性試驗 絕緣力試驗 絕緣耐久試驗
ネオン管燈用變壓器	同	同	二〇・〇〇	同

備考

一、中間口出ヲ有スルモノニ在リテハ手數料五圓ヲ加フ  
 二、定格周波數二種類以上ノモノニ在リテハ一種類ヲ増ス毎ニ本表手數料ノ五割ヲ加フ  
 三、型式承認ヲ受ケザル電氣用品ヲ附屬シタル變壓器ニ在リテハ當該附屬品ニ對スル手數料ヲ加算ス

第十一號表 電流制限器

定格電壓百ヴオルト以上ノ低壓ニシテ最大動作電流百アマペア以下ノモノニ限ル

細別品名	型式ノ別	試驗品提出數量	手數料	主要試驗事項
電流制限器 電流制限器	(一) 定格電壓 (二) 最大動作電流 (三) 定格周波數 (四) 相及線式 (五) 極數及素子數 (六) 動作方式 (七) 主要部分ノ構造、寸法及材料	五箇	三〇・〇〇	動作試驗 溫度試驗 絕緣力試驗 絕緣耐久試驗 耐電流試驗 特種試驗 電壓降下試驗

備考 一、最大動作電流ノミヲ異ニスル二型式以上ヲ同時ニ申請スル場合ハ一型式ハ本表ノ手數料トシ其ノ他ハ一型式ニ付手數料十圓トス



### 電氣用品取締規則第三條ノ特例ニ關スル件

昭和十三年十二月  
逓信省令第八十號

**第一條** 電氣用品取締規則第三條ノ規定ニ依リ型式承認ヲ受ケタル電氣用品ニシテ支那事變ニ因リ已ムヲ得ズ代用材料ヲ使用シ其ノ他原型式ノ一部ヲ變更シタルモノハ當該型式承認ヲ受ケタル者ノ申請ニ依リ同規則同條ノ規定ニ拘ラズ逓信大臣ニ於テ原型式ト同一型式ノモノト看做スコトヲ得

**第二條** 前條ノ規定ニ依ル申請ヲ爲サントスル者ハ申請書(別記書式)ニ試験品(箇、本又ハ組ヲ以テ數フルモノニ在リテハ各其ノ一單位、線條ノモノニ在リテハ一米)竝ニ説明書及圖面各二通ヲ添ヘ之ヲ電氣試驗所ニ提出スベシ  
電氣用品取締規則第十三條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

**第三條** 第一條ノ規定ニ依リ原型式ト同一型式ト看做サレタル電氣用品ニハ原型式ノ電氣用品ト

區別スル爲「暫」、「暫定品」其ノ他ノ適當ナル標示ヲ爲スベシ

#### 附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
本令ハ支那事變終了後一年內ニ之ヲ廢止スルモノトス

#### 別記書式

- 一 同一型式認定申請書
  - 二 電氣用品名
  - 三 原型式承認番號
  - 四 製造免許番號
  - 五 製造所ノ名稱及所在地
- 右昭和 年 月 日逓信省令第 號ニ依リ申請候也
- 年 月 日  
主タル營業所  
申請者 氏名又ハ名稱 印  
逓信大臣宛

(注意)

- 一、手数料ハ之ヲ徵セザルモノナルニ付收入印紙ノ貼附ヲ要セズ
- 二、同一品名ニ屬スルモノヲ多數同時ニ申請スル場合ニハ適宜一申請書ニ取纏メ型及原型式承認番號ノ明細書ヲ添附スベシ



電氣用品取締規則ニ依ル型式ノ範圍ニ關スル件

昭和十一年六月  
逓信省告示第千二百六十二號

型式ノ別	同一型式ニ含まルル範圍	別型式ト認メラルルモノ
導體ノ材料 導體ノ太サ	<p>一、絶緣電線</p> <p>(一) 單線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一・六耗未満ノモノ</li> <li>一・六耗以上二・六耗以下ノモノ</li> <li>二・六耗ヲ超過シ四・五耗以下ノモノ</li> <li>四・五耗ヲ超過シ七耗以下ノモノ</li> <li>七耗ヲ超過シ一二耗以下ノモノ</li> </ul> <p>(二) 撚線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三・五平方耗以下ノモノ</li> <li>三・五平方耗ヲ超過シ一六平方耗以下ノモノ</li> <li>一六平方耗ヲ超過シ三八平方耗以下ノモノ</li> <li>三八平方耗ヲ超過シ一〇〇平方耗以下ノモノ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一、硬銅、軟銅、鐵等ノ別</li> <li>二、錫鍍ノ有無</li> </ul>

線心數	電壓 被覆ノ材料
<p>五心以上ノモノニ對シテハ規則第三條ノ但書ヲ適用ス</p>	<p>ネオン管燈用電線ニ在リテハ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>七、五〇〇ヴォルト以下ノモノ</li> <li>七、五〇〇ヴォルトヲ超過シ一五、〇〇〇ヴォルト以下ノモノ</li> </ul> <p>絶緣電線ノ電氣的性質其ノ他ニ著シキ影響ヲ與ヘザル程度ニ於テ被覆ノ材料及構成ノ相違アルモノハ同一型式トス</p> <p>(例一) 導體上ノ綿糸横捲ノ有無及種類</p> <p>(例二) 絶緣性ニ關係ナキ範圍内ニ於ケル塗料ノ有無及種類</p> <p>(例三) 絶緣ノ層數又ハ色別</p> <p>(例四) キヤブタイヤ線ニ於ケル介在物及クレードルコアノ有無</p> <p>(例五) 鉛被電線ニ於ケル鉛被上ノ被覆物ノ有無及種類</p> <p>(例六) 平型及丸型ノ別</p>



二、可撓紐線

型式ノ別	同一型式ニ含マルル範圍	別型式ト認メラルモノ
導體ノ材料 導體ノ切斷面積	○九平方耗以下ノモノ ○九平方耗ヲ超過シ五・五平方耗以下ノモノ 五・五平方耗ヲ超過シ一六平方耗以下ノモノ 一六平方耗ヲ超過シ五〇平方耗以下ノモノ 可撓紐線ノ電氣的性質其ノ他ニ著シキ影響ヲ與ヘザル程度ニ於テ被覆材料及構成ノ相違アルモノハ同一型式トス	錫鍍ノ有無
被覆ノ材料及構成	(例一) 編組ノ糸ノ種類 (例二) ゴム絶縁上ノ紙卷又ハ綿テープ卷ノ別若クハ下打編組ノ有無及種類 (例三) 丸打、袋打及二ヶ撚等	
線心線	五心以上ノモノニ對シテハ規則第三條ノ但書ヲ適用ス	

三、金屬管及金屬線繩

型式ノ別	同一型式ニ含マルル範圍	別型式ト認メラルモノ
材 狀 形 狀	(一) 金屬管 (例一) 金屬管及之ニ依リテ製作セラレタルベンド (二) 金屬管接手―エルボー、Tピース、クロス、カップリング、シャープバンド、レヂューサー、ユニオンカップリング等ハ形狀特ニ異ルモノヲ除キ各ヲ同一型式トス (例一) 接續管ノ形狀ノ相違 (例二) レヂューサーニ於ケル接手口ノ形狀ノ相違 (例三) 直ナルモノト曲ナルモノ (例四) 蓋ノ有無 (三) 金屬線繩ニ在リテハ外形特ニ異ナレルモノヲ除キ同一型式トス (例) 線繩及之ニ依リテ製作セラレタルエルボ	鋼、鑄鐵等ノ別 (例) 圓形ト然ラザルモノ (例) 分割シ得ルモノト然ラザルモノ



寸法

厚	サ	太	サ (稱呼)	(四) 金屬線樋接手—カップリング、クロス、T、エルボー等ハ形狀特ニ異ナルモノヲ除キ各ヲ同一型式トス
				(例) 接続スル線樋ノ形狀ノ相違
厚	サ	太	サ (稱呼)	(五) ボックス—配線用ボックス、スキッチボックス等ハ形狀特ニ異ナルモノヲ除キ各ヲ同一型式トス
				(例) 分割シ得ルモノト然ラザルモノ
厚	サ	太	サ (稱呼)	(例一) 圓形ナルモノ、八角形ナルモノ又ハ四角形ナルモノ
				(例二) 打抜管孔ノ大サ及數ニ拘ラズ
厚	サ	太	サ (稱呼)	(例三) 口數(一方出、二方出等)ニ拘ラズ
				(例) 配線用ボックス等ニ於テ底ノ取レルモノト然ラザルモノ
一耗以上二耗未滿ノモノ	一耗未滿ノモノ	一吋以下ノモノ	一吋以下ノモノ	
〇・五耗以上一耗未滿ノモノ	八分ノ五吋以下ノモノ	一吋以上二吋以下ノモノ	一吋以上二吋以下ノモノ	
一耗以上二耗未滿ノモノ	八分ノ五吋超過ノモノ	二吋超過ノモノ	二吋超過ノモノ	

(例) 分割シ得ルモノト然ラザルモノ

(例) 配線用ボックス等ニ於テ底ノ取レルモノト然ラザルモノ

二耗以上ノモノ	一吋未滿ノモノ
	一吋以上二吋以下ノモノ
	二吋超過ノモノ

(二) 金屬線樋及金屬線樋用接手  
イ、厚 サ  
〇・五耗以上二耗未滿ノモノ  
一耗以上二耗未滿ノモノ  
二耗以上ノモノ  
ロ、太 サ(長徑ノ稱呼)  
二吋以下ノモノ  
二吋超過ノモノ

(三) 金屬管用及金屬線樋用ボックス  
イ、厚 サ  
二耗未滿ノモノ  
二耗以上ノモノ  
ロ、太 サ(長徑ノ稱呼)  
五吋未滿ノモノ  
五吋以上一〇吋未滿ノモノ  
一〇吋以上ノモノ  
管ノ稱呼四吋ヲ超過スルモノニ對シテハ規則第三



接續方法	條ノ但書ヲ適用ス 接續方法ノ特ニ異ルモノヲ除キ同一型式トス	(例) 金屬管及附屬品ニ在リテハネヂノ有無
繼目ノ接合方法	接合方法ノ特ニ異ルモノヲ除キ同一型式トス (例) 熔接繼目ナルモノト鍛接繼目ナルモノ 防銹效果ニ著シキ相違ナキモノハ同一型式トス	(例) 繼目ノ有無
防銹方法	(例) 亜鉛鍍ハセラダイジング、ホツトヂツピ ング等ノ鍍金方法ニ拘ラズ	(例) エナメル塗ナルモノト亜鉛鍍ナルモノ

四、可熔器

型式ノ別	同一型式ニ含マルル範圍	別型式ト認メラルモノ
定格電壓	定格電壓以下ノ記銘ノモノ (註) 例ハバ定格電壓二〇〇ヴオルトノモノニ 一〇〇ヴオルトノ記銘ヲナサントスル場合ハ 其ノ旨ヲ説明書中ニ附記スルコト 同一構造ノモノニ在リテハ左記ノ通トス ○・五アムペア未滿ノモノ ○・五アムペア以上一アムペア未滿ノモノ 一アムペア以上五アムペア以下ノモノ 五アムペアヲ超過シ一〇アムペア以下ノモノ	
定格電流		

主要部分ノ構造、寸法及材料

主要部分ノ構造、寸法及材料	<p>一〇アムペアヲ超過シ三〇アムペア以下ノモノ 三〇アムペアヲ超過シ六〇アムペア以下ノモノ 六〇アムペアヲ超過シ一〇〇アムペア以下ノモノ 熔斷特性ニ著シキ影響ナシト認メラルモノハ同一型式トス</p> <p>(例一) 端子金物ノ形狀ノ相違</p> <p>(例二) 可熔筒ニ於ケル排氣孔ノ有無及大小</p> <p>(例三) 寸法ノ相違ノ僅少ナルモノ</p> <p>(例四) カットアウトノ蓋ノ磁器ナルモノト硝子ナルモノ</p> <p>(例五) 可熔筒ニ於ケル熔斷標示ノ有無</p>	<p>(例一) 可熔片ノ材料ノ相違</p> <p>(例二) 可熔筒外殼ノ材料—ベークライト、フアイバー、硝子等ノ相違</p> <p>(例三) 可熔筒充填物ノ有無</p> <p>(例四) カットアウトノ極數</p>
---------------	---	--



五、開 閉 器

型式ノ別	同一型式ニ含マルル範圍	別型式ト認メラルモノ
定格電壓	定格電壓以下ノ記銘ノモノ (註) 例ヘバ定格電壓二〇〇ヴォルトノモノニ 一〇〇ヴォルトノ記銘ヲナサントスル場合ハ 其ノ旨ヲ説明書中ニ附記スルコト	
定格電流	(一) 定格電流以下ノ記銘ノモノ (註) 例ヘバ定格電流一〇〇アマペアノモノニ 七五アマペアノ記銘ヲナサントスル場合ハ其 ノ旨ヲ説明書中ニ附記スルコト (二) 同一構造ノモノニ在リテハ左記ノ通トス 一〇アマペア以下ノモノ 一〇アマペアヲ超過シ三〇アマペア以下ノモノ 三〇アマペアヲ超過シ六〇アマペア以下ノモノ 六〇アマペアヲ超過シ一〇〇アマペア以下ノモノ	
極 數	各極及極間ノ主要部分ノ構造同一ナル二極及三極 四極以上ノモノニ對シテハ規則第三條ノ但書ヲ適 用ス	

主要部分ノ構造、寸法及材料

主要部分ノ構造、寸法及材料	電氣的及機械的性能ニ著シキ影響ヲ及ボサズト認メラルモノハ同一型式トス	(例) 臺、外殼、把手等ノ材料ガ絶緣物ナルモノト金屬ナルモノ
	(例一) 二〇パーセント以内ノ寸法ノ相違 (例二) 開放双形閉閉器ニ於テ イ) 表面接續ナルモノト裏面接續ナルモノ ロ) フューズノ取付方式ノ相違(可熔筒用ナルモノト爪付フューズ用ナルモノ) (例三) 開放双形閉閉器ニ於テクリツブノ植込式ナルモノト折曲式ナルモノ (例四) 臺、外殼、把手等ノ材料ガ磁器、型造絶緣物等ノ絶緣物ナルモノ (例五) 電磁閉閉器ニ於ケル線輪ノ動作電壓ノ相違 (例六) 電磁閉閉器ニ於ケル電流計、パイロツトランプ等ノ有無	

六、點 滅 器

型式ノ別	同一型式ニ含マルル範圍	別型式ト認メラルモノ
定格電壓	定格電壓以下ノ記銘ノモノ (註) 例ヘバ定格電壓二〇〇ヴォルトノモノニ	



定格電流	<p>一〇〇ヴォルトノ記銘ヲナサントスル場合ハ其ノ旨ヲ説明書中ニ附記スルコト</p> <p>(一) 定格電流以下ノ記銘ノモノ</p> <p>(註) 例ヘバ定格電流六アマムペアノモノニ三アマムペアノ記銘ヲナサントスル場合ハ其ノ旨ヲ説明書中ニ附記スルコト</p> <p>(二) 同一構造ノモノニ在リテハ左記ノ通トス</p> <p>五アマムペア以下ノモノ</p> <p>五アマムペアヲ超過シ一〇アマムペア以下ノモノ</p> <p>一〇アマムペアヲ超過シ三〇アマムペア以下ノモノ</p> <p>電氣的及機械的性能ニ著シキ影響ナシト認メラルモノハ同一型式トス</p> <p>(例) 外殻、把手等ノ材料ガ磁器、型造絶縁物等ノ絶縁物ナルモノ</p>	主要部分ノ構造、寸法及材料
恒温器ノ動作温度ノ範圍	動作特性ニ著シキ影響ヲ及ボサズト認メラルモノ	恒温器ノ動作温度ノ範圍
型式ノ別	同一型式ニ含マルル範圍	七、接續器
定格電壓	<p>定格電壓以下ノ記銘ノモノ</p> <p>(註) 例ヘバ定格電壓二〇〇ヴォルトノモノニ一〇〇ヴォルトノ記銘ヲナサントスル場合ハ其ノ旨ヲ説明書中ニ附記スルコト</p> <p>(一) 定格電流以下ノ記銘ノモノ</p> <p>(註) 例ヘバ定格電流六アマムペアノモノニ三アマムペアノ記銘ヲナサントスル場合ハ其ノ旨ヲ説明書中ニ附記スルコト</p> <p>(二) 同一構造ノモノニ在リテハ左記ノ通トス</p> <p>五アマムペア以下ノモノ</p> <p>五アマムペアヲ超過シ一〇アマムペア以下ノモノ</p> <p>一〇アマムペアヲ超過シ三〇アマムペア以下ノモノ</p> <p>電氣的、熱的及機械的性能ニ著シキ影響ナシト認メラルモノハ同一型式トス</p> <p>(例一) 分岐ソケットノ「ト」型ナルモノト「ハ」型ナルモノ</p>	型式ノ別
定格電流		主要部分ノ構造、寸法及材料
型式ノ別	別型式ト認メラルモノ	用等
(例一) 外殻ノ材料ガ陶器ナルモノ、型造絶縁		



八、電 熱 器

型式ノ別	同一型式ニ含まルル範圍	別型式ト認メラルルモノ
定 格 電 壓	(一) 一〇〇ヴォルトノモノト一〇〇ヴォルトノモノ (二) 二〇〇ヴォルトノモノト二二〇ヴォルトノモノ (三) 構造が大サ同一ニシテ單ニ直列及並列ニ接続 替ヲナスモノ但シ此ノ場合ニ於テハ直列接続ニ 對スル電壓ヲ定格電壓トシテ申請スルコト	(例二) ソケットノ如キ 熱ノ影響ヲ考慮スベキ モノニ在リテハベーク ライト質ナルモノトア スフアルト質ナルモノ
消 費 電 力	(一) 同一構造ノモノニ在リテハ消費電力ハ左記ノ 通トス 六〇〇ワット以下ノモノ (二) 一〇〇ワット以下ノモノ (三) 構造が大サ同一ニシテ消費電力ノ相違一〇パ ーセント以内ノモノ (四) 構造及大サ同一ニシテ同種材料及構造ノ發熱 體ノミヲ取換フルモノ但シ此ノ場合ニ於テハ消 費電力ノ最大ナルモノニ就キ申請スルコト (五) 電氣的、熱的及機械的性能ニ著シキ影響ナキモノ ト認メラルルモノハ同一型式トス (例) 同一單位ノモノ若クハ同一型式ノモノヲ 組合セタルモノ但シ前者ニ在リテハ消費電力 ガ最大ナルモノニ就キ申請スルコト	

(例二) ローゼットニ在リテハ  
(イ) 並臺ナルモノト高臺ナルモノ  
(ロ) 導線孔ガ裏面ニアルモノト側面ニアルモノ

主要部分ノ構造、寸法及材料

六〇〇ワットヲ超過シ一、〇〇〇ワット以下ノモノ  
一、〇〇〇ワットヲ超過シ五、〇〇〇ワット以下ノモノ  
五、〇〇〇ワットヲ超過シ一〇、〇〇〇ワット以下ノモノ  
但シ電氣ストープ及調理用電熱器以外ノモノニ在リテハ六〇〇ワット以下ヲ左記ノ通トス  
二〇〇ワット以下ノモノ  
二〇〇ワットヲ超過シ六〇〇ワット以下ノモノ  
(二) 構造及大サ同一ニシテ消費電力ノ相違一〇パーセント以内ノモノ  
(三) 構造及大サ同一ニシテ同種材料及構造ノ發熱體ノミヲ取換フルモノ但シ此ノ場合ニ於テハ消費電力ノ最大ナルモノニ就キ申請スルコト  
電氣的、熱的及機械的性能ニ著シキ影響ナキモノト認メラルルモノハ同一型式トス  
(例) 同一單位ノモノ若クハ同一型式ノモノヲ組合セタルモノ但シ前者ニ在リテハ消費電力ガ最大ナルモノニ就キ申請スルコト



九、小型電動機

型式ノ別	定格電壓	定格出力 (又ハ入力) 消費電力
同一型式ニ含まルル範圍	(一) 一〇〇ヴォルトノモノト一一〇ヴォルトノモノ (二) 二〇〇ヴォルトノモノト二二〇ヴォルトノモノ (三) 構造が大サ同一ニシテ單ニ直列及並列ニ接続 替ヲナスモノ但シ此ノ場合ニ於テハ直列接続ニ 對スル電壓ヲ定格電壓トシテ申請スルコト 同一構造ノモノニ在リテハ左記ノ通トス 四〇ワット以下ノモノ 四〇ワットヲ超過シ八〇ワット以下ノモノ 八〇ワットヲ超過シ一五〇ワット以下ノモノ 一五〇ワットヲ超過シ三〇〇ワット以下ノモノ 三〇〇ワットヲ超過シ五〇〇ワット以下ノモノ 五〇〇ワットヲ超過シ一、〇〇〇ワット以下ノ モノ 但シ電氣扇ニ在リテハ三〇〇ワット以下ヲ左記ノ 通トス	別型式ト認メラルモノ

主要部分ノ構造、寸法及材料

起動方式

三〇ワットト以下ノモノ  
三〇ワットヲ超過シ五〇ワット以下ノモノ  
五〇ワットヲ超過シ一〇〇ワット以下ノモノ  
一〇〇ワットヲ超過シ三〇〇ワット以下ノモノ  
特性ニ著シキ影響ナキモノト認メラルモノハ同一型式トス

(例一) 固定子ニ在リテハ  
鐵心—溝ノ形状、溝數、通風孔ノ相違  
線輪—被覆絶緣、捲回数、接続ノ相違  
溝絶緣ノ相違

(例二) 回轉子ニ在リテハ  
鐵心—固定子ニ準ズ  
線輪—固定子ニ準ズ  
整流子—セグメント數、絶緣ノ相違

(例三) 起動機構ノ相違

(例一) 開放型、半密閉型、密閉型  
(例二) 軸受—軸頸ナルモノト球軸受ナルモノ  
(例三) 電氣扇ニ在リテハ  
羽根ノ直径又ハ構造ノ著シキ相違  
(イ) 首振機構ノ有無  
(ハ)(ロ) 速度加減裝置ノ有無  
(ハ) 竝構造ノ著シキ相違

(例) 隅取線輪、分相、蓄電器、反撥、反撥誘導、整流子等



一〇、小型變壓器

型式ノ別	定格電壓	別型式ト認メラルモノ
同一型式ニ合マルル範圍	<p>(一) 一次電壓</p> <p>(イ) 一〇〇ヴォルトノモノト一一〇ヴォルトノモノ</p> <p>(ロ) 二〇〇ヴォルトノモノト二二〇ヴォルトノモノ</p> <p>(二) 二次電壓</p> <p>(イ) 呼鈴用、玩具用及表示器用變壓器ニ在リテハ</p> <p>一〇ヴォルト以下ノモノ</p> <p>一〇ヴォルトヲ超過シ二五ヴォルト以下ノモノ</p> <p>二五ヴォルトヲ超過ノモノ (表示器用變壓器ニ限ル)</p> <p>(ロ) ネオン管燈用變壓器ニ在リテハ</p> <p>三、五〇〇ヴォルト以下ノモノ</p> <p>三、五〇〇ヴォルトヲ超過シ七、五〇〇ヴォルト以下ノモノ</p>	

主要部分ノ構造、寸法及材料

七、五〇〇ヴォルトヲ超過シ一、二、〇〇〇ヴォルト以下ノモノ

一、二、〇〇〇ヴォルトヲ超過シ一、五、〇〇〇ヴォルト以下ノモノ

(三) 構造及大サ同一ニシテ單ニ直列及並列ニ接続替ヲナスモノ但シ此ノ場合ニ於テハ直列接続ニ對スル電壓ヲ定格電壓トシテ申請スルコト

構造同一ナルモノニ在リテハ左記ノ通トス

五〇ヴォルトアマペア以下ノモノ

五〇ヴォルトアマペアヲ超過シ一〇〇ヴォルトアマペア以下ノモノ

但シネオン管燈用變壓器ニ在リテハ

三〇〇ヴォルトアマペア以下ノモノ

三〇〇ヴォルトアマペア超過ノモノ

(註) 定格容量ハ定格一次電壓ト定格二次電流ニ對應スル一次電流トノ積ヲ云フ但シネオン管燈用變壓器ニ在リテハ此ノ場合ノ二次電流ハ二次短絡電流トス

電氣的特性其ノ他ニ著シキ影響ナキモノト認メラルモノハ同一型式トス

(例一) 低電壓側ニスキツチノ如キ附屬品ノ有

(例一) 全閉型ナルモノ



型式ノ別 定格電壓	型式ノ別 同一型式ニ含マルル範圍	別型式ト認メラルモノ
	<p>一一、電流制限器</p> <p>(一) 電壓ガ動作及特性ニ著シキ影響ナシト認メラルモノハ定格電壓以下ノ記銘ノモノ</p> <p>(註) 例ヘバ定格電壓二〇〇ヴォルトノモノニ一〇〇ヴォルトノ記銘ヲナサントスル場合ハ其ノ旨ヲ説明書中ニ附記スルコト</p> <p>(二) 電壓ガ動作及特性ニ影響アリト認メラル</p>	<p>ト然ラザルモノ</p> <p>(例二) 外殻ノ金屬製ナルモノト然ラザルモノ</p> <p>(例三) 中間口出ノ有無</p> <p>(例四) 二次線輪ノ接續ヲ直列又ハ並列ニ變更シ得ルモノト然ラザルモノ</p> <p>(例五) ネオン管燈用變壓器ニ在リテハ屋内用ノモノト屋外用ノモノ</p>

主要部分ノ構造、寸法及材料

定格周波數

モノニ在リテハ同一構造ノモノニ限り定格電壓ノ一〇パーセント以内ノ相違

(例一) 一〇〇ヴォルトノモノト一一〇ヴォルトノモノ

(例二) 二〇〇ヴォルトノモノト二二〇ヴォルトノモノ

電氣的、熱的及機械的影響ヲ及ボサザルモノト認メラルモノ

(例) 動作電流ニ相當スル絶緣電線ヲ接續シ得ル端子及端子函ノ構造ノ相違

動作及特性ニ著シキ影響ナシト認メラルモノニ在リテハ定格周波數ノ二〇パーセント以内ノ相違



第六篇 電氣用品及電氣工事人關係

第二類 電氣工事人

電氣工事人取締規則

(昭和十年九月遞信省令第三十一號)

電氣工事人ノ業務ノ從事ノ特例ニ關スル件

(昭和十三年九月遞信省令第七十二號)



# 電氣工事人取締規則

昭和十年九月  
逓信省令第三十二號

**第一條** 屋内及家屋ノ外面ニ於ケル電氣工事(看板、廣告塔等ノ電氣工事ヲ含ム)ニ從事セントスル者ハ本令ノ定ムル所ニ依リ逓信局長ノ免許ヲ受ケベシ

**第二條** 免許ノ有効期間ハ十年トス  
免許ハ甲種及乙種ノ區別ニ從ヒ試験ニ依リ之ヲ爲ス  
免許ノ取消ヲ受ケ一年ヲ經過セザル者其ノ他逓信局長ニ於テ不適當ト認メタル者ニ付テハ免許ヲ爲サザルコトアルベシ

**第三條** 試験ハ左ノ事項ニ付之ヲ行フ但シ必要アリト認メタルトキハ簡單ナル實地作業ニ付テモ試験ヲ行フコトアルベシ

- 一 配電一般(電氣工作物規程ヲ含ム)
- 二 電氣工事材料及機械器具一般
- 三 電氣工事施行方法及電氣工作物試験
- 四 配線圖

## 第四條

甲種免許ヲ受ケントスル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ前條ノ試験ノ全部又ハ一部ヲ省略スルコトヲ得

- 一 甲種免許ノ有効期間滿了ニ因リ免許ヲ申請シタル者
  - 二 電氣事業主任技術者ノ資格ヲ有スル者及第二種自家用電氣工作物主任技術者ノ經歷ヲ有スル者
  - 三 修業年限二年以上ノ學校ニ於テ電氣工學ヲ專修シ其ノ學校ヲ卒業シタル者
- 乙種免許ヲ受ケントスル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキ亦前項ニ同ジ
- 一 免許ノ有効期間滿了ニ因リ免許ヲ申請シタル者
  - 二 前項第二號及第三號ニ掲グル者
  - 三 講習其ノ他ノ方法ニ依リ電氣及電氣工事ニ關スル知識ヲ修得シタル者

## 第五條

免許ヲ受ケントスル者ハ履歷書(第二號書式)履歷ニ關スル證明、戸籍ノ抄本及寫眞(申請前六月シタル名刺版、脱帽正、半身、無臺紙ノモノニシテ裏面ニ撮影年月日及氏名ヲ記載セルモノニ葉以下之ニ同ジ)ヲ添ヘ申請書(第一號書式)ヲ其ノ主タル營業地若



ハ勤務地又ハ住所ヲ管轄スル逓信局長ニ提出スベシ

第六條 免許ヲ受ケントスル者ハ左ノ區別ニ從ヒ手數料ヲ納付スベシ

- 甲種 四圓
- 乙種 三圓

前項ノ手數料ハ其ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納付スベシ

第七條 逓信局長免許ヲ爲シタルトキハ免許證(第三號書式)ヲ申請者ニ附與ス

第八條 不正ノ方法ニ依リ免許ヲ受ケタルコト判明シタルトキハ其ノ免許ハ無効トス

第九條 免許ヲ受ケタル者(以下電氣工事人ト稱ス)其ノ業務ニ從事スルニ至リタルトキハ十日以内ニ届書(第四號書式)ヲ其ノ營業地又ハ勤務地ヲ管轄スル逓信局長ニ提出スベシ營業地、勤務地又ハ勤務先ヲ變更シタルトキ亦同ジ

前項ノ届書ニハ免許證ノ寫ヲ添付スベシ但シ免許ヲ爲シタル逓信局長ニ届出ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十條 甲種免許ヲ受ケタル電氣工事人ニ非ザレ

バ左ノ工事ヲ爲スコトヲ得ズ

一 高壓電氣工事及「ネオン」管燈工事

二 電氣工作物規程本則第二百二十七條乃至第三百十條ニ規定スル電氣工事

三 電纜工事、金屬管工事又ハ金屬線樋工事ニシテ長サ十米ヲ超ユルモノ

四 電燈ノ受口五十箇、家庭用電氣器具ノ受口十箇又ハ電動機其ノ他ノ電力裝置三箇以上ヲ施設スル場所ニ於ケル電氣工事

第十一條 電氣工事人ハ電氣工作物規程其ノ他電氣ニ關スル法令ノ定ムル所ニ從ヒ工事ヲ爲スベシ

電氣工事人ハ電氣用品取締規則ニ違反スル電氣用品ヲ工事ノ用ニ供スルコトヲ得ズ

第十二條 電氣工事人 同一工事ニ從事スル電氣工事人ハ其ノ旨ヲ具シ遲滞ナク免許證ヲ免許ヲ爲シタル逓信局長ニ返還スベシ

一 電氣工事人其ノ業務ヲ廢止シタルトキ

二 免許ヲ取消サレタルトキ

三 免許ノ有效期間滿了シタルトキ

四 第八條ノ規定ニ依リ免許無放ト爲リタルトキ

電氣工事人死亡シタルトキハ免許證ノ保管者ハ前項ノ規定ニ準ジ當該免許證ヲ返還スベシ

第十八條 逓信局長ハ電氣工事人本令又ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ又ハ電氣工事ニ關シ不正ノ所爲アリタルトキハ業務ノ停止ヲ命ジ又ハ免許ヲ取消スルコトアルベシ

第十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 免許ヲ受ケズシテ第一條ノ電氣工事ニ從事シタル者

二 第十條又ハ第十一條ノ規定ニ違反シタル者

三 正當ノ事由ナクシテ第十六條ノ規定ニ依ル

第十三條

電氣工事人ハ検査吏員、警察官吏、工事依頼者又ハ關係電氣事業者ノ請求アリタルトキハ免許證ヲ呈示スベシ

第十四條

電氣工事人免許證ヲ亡失シ又ハ毀損シタルトキハ遲滞ナク其ノ再交付ヲ受ケベシ此ノ場合ニ於テハ免許證(第五號書式)ヲ免許ヲ爲シタル逓信局長ニ提出スベシ

電氣工事人其ノ氏名ヲ變更シタルトキハ遲滞ナク免許證ノ書換ヲ受ケベシ此ノ場合ニ於テハ免許證ヲ添(申請書(第六號書式)ヲ免許ヲ爲シタル逓信局長ニ提出スベシ

電氣工事人免許證ノ書換ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク届書(第七號書式)ヲ營業地又ハ勤務地ヲ管轄スル逓信局長ニ提出スベシ

第十五條

免許證ノ再交付又ハ書換ヲ申請セントスル者ハ手數料二十錢ヲ納付スベシ

前項ノ手數料ノ納付ニ付テハ第六條第二項ノ規定ヲ準用ス

第十六條

逓信局長ハ電氣工事人ノ爲ス電氣工事ニ關シ報告ヲ爲サシメ又ハ検査吏員ヲ派遣シテ

検査ヲ爲サシムルコトアルベシ

第十七條 電氣工事人左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ旨ヲ具シ遲滞ナク免許證ヲ免許ヲ爲シタル逓信局長ニ返還スベシ

一 電氣工事人其ノ業務ヲ廢止シタルトキ

二 免許ヲ取消サレタルトキ

三 免許ノ有效期間滿了シタルトキ

四 第八條ノ規定ニ依リ免許無放ト爲リタルトキ

電氣工事人死亡シタルトキハ免許證ノ保管者ハ前項ノ規定ニ準ジ當該免許證ヲ返還スベシ

第十八條 逓信局長ハ電氣工事人本令又ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ又ハ電氣工事ニ關シ不正ノ所爲アリタルトキハ業務ノ停止ヲ命ジ又ハ免許ヲ取消スルコトアルベシ

第十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 免許ヲ受ケズシテ第一條ノ電氣工事ニ從事シタル者

二 第十條又ハ第十一條ノ規定ニ違反シタル者

三 正當ノ事由ナクシテ第十六條ノ規定ニ依ル



報告ヲ爲サズ若ハ虚偽ノ報告ヲ爲シ又ハ検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者

四 前條ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタル者

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ科料ニ處ス

一 正當ノ事由ナクシテ免許證ノ呈示ヲ拒ミタル者

二 正當ノ事由ナクシテ免許證ノ返還ヲ怠リタル者

三 本令ノ規定ニ依ル届出又ハ通知ヲ怠リタル者

(第一號書式)

電氣工事人免許申請書

収入印紙

免許ノ種別 甲種 乙種

私儀電氣工事人取締規則ニ依リ前記種別ノ免許相受度申請候也

住所

逓信局長宛

者 附則

本令ハ昭和十年十月一日ヨリ之ヲ施行ス  
本令施行ノ際現ニ電氣工事人ノ業務ニ従事スル者ハ本令施行ノ日ヨリ三年ヲ限り免許ヲ受ケズシテ仍其ノ業務ヲ繼續スルコトヲ得  
前項ノ電氣工事従事者ハ本令施行ノ日ヨリ六月内ニ履歷書(第二號書式)及戸籍ノ抄本ヲ其ノ主タル營業地又ハ勤務地ヲ管轄スル逓信局長ニ提出スベシ

氏

年 月

日生 名

氏

名印

(第二號書式)

履 歷 書

本籍 現住所

氏

年 月

日生 名

學 業

一、何年何月何日 何學校何科ニ入學

一、何年何月何日 何學校何科修業、卒業又ハ退學

一、何年何月何日 何試験合格

一、何年何月何日 何々

職 務

一、何年何月何日 何官廳(官職名記載)、何會社又ハ何商店ニ於テ何々ノ職務ニ從事

一、何年何月何日 何々

一、何年何月何日 何々

一、何年何月何日 何々

賞 罰

一、何年何月何日 何々

右

氏

名印







(第四號書式)

就業(變更)届

何種免許電氣工事人

氏

年

月

日生

名

一 免許ノ年月日及番號

二 營業地又ハ勤務地及勤務先

(變更ノ場合ニ於テハ新舊ノ營業地又ハ勤務地若ハ勤務先)

三 就業(變更)年月日

右電氣工事人取締規則第九條ノ規定ニ依リ届出候也  
年 月 日

住所

氏

名(印)

逓信局長宛

(注意) 營業地及勤務地ハ市區町村別ニ記載スベシ

(第五號書式)

電氣工事人免許證再交付申請書

收 入  
印 紙

一 免許ノ種類

二 免許ノ年月日及番號

三 再交付申請ノ事由 亡失又ハ毀損ノ事由ヲ記載スベシ

右電氣工事人取締規則第十四條第一項ノ規定ニ依リ申請候也

年 月 日

住所

氏

名(印)

逓信局長宛











第七篇 電氣測定及試驗關係

第一類 電氣測定

電氣測定法

(明治四十三年三月法律第二十六號)

電氣測定法第七條及第八條ノ施行期日並附則第三項ノ期間ニ關スル件

(明治四十四年十二月勅令第二百九十五號)

電氣測定法第十一條ニ依ル電氣單位ノ倍數及分數ノ名稱、不變電流以外ノ場合ニ於ケル電流・電壓及電力ノ計算方法並同法第一條ニ掲ケタル以外ノ電氣單位ニ關スル件

(明治四十三年十二月遞信省令第百十七號)

電氣測定法第六條ニ依ル電氣單位ノ標準器仕様細目ニ關スル件

(明治四十三年十二月遞信省告示第千五百三十三號)



# 電氣測定法

明治四十三年三月  
法律第二十六號

- 第一條 電氣ノ測定ニ於テハ電氣抵抗ハ「オーム」、電流ハ「アムペア」、電壓ハ「ヴォルト」、電力ハ「ワット」ヲ以テ單位トス
- 第二條 「オーム」ハ氷ノ融解溫度ニ於テ質量一四、四五二「グラム」長サ一〇六、三〇〇「センチメートル」ニシテ均一ナル切斷面積ヲ有スル水銀柱ノ不變電流ニ對スル電氣抵抗ヲ謂フ
- 第三條 「アムペア」ハ硝酸銀ノ水溶液ヲ通過シ每秒〇、〇〇一一八〇〇「グラム」ノ銀ヲ分離スル不變電流ヲ謂フ
- 第四條 「ヴォルト」ハ「オーム」ノ電氣抵抗ヲ有スル導體ニ「アムペア」ノ不變電流ヲ發生セシムル爲要スル不變電壓ヲ謂フ
- 第五條 「ワット」ハ「ヴォルト」ノ電壓ニ於テ「アムペア」ノ不變電流ニ依リ每秒費サルル電氣勢力ヲ以テ表示スル電力ヲ謂フ
- 第六條 本法ニ依ル電氣單位ハ主務官廳ニ保管スル標準器ニ依リ之ヲ現示ス
- 第七條 電氣ノ取引ニ使用スル電氣計器ハ檢定ヲ

受クヘシ

電氣計器ノ公差及檢定ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

- 第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル電氣計器ヲ電氣ノ取引ニ使用シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
  - 一 檢定ヲ受ケサルモノ
  - 二 檢定ニ合格セサルモノ
  - 三 檢定ノ效力ヲ失ヒタルモノ
- 第九條 電氣ノ取引ニ於テ其ノ計量ヲ詐ルノ目的ヲ以テ不正ニ電氣計器ヲ使用シタル者ハ罰前條ニ同シ
- 第十條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス
- 第十一條 電氣單位ノ倍數及分數ノ名稱、不變電流以外ノ場合ニ於ケル電流電壓及電力ノ計算方法並第一條ニ掲ゲタル以外ノ電氣單位ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

## 附則

本法ハ第七條及第八條ヲ除クノ外明治四十四年一



月一日ヨリ之ヲ施行ス  
第七條及第八條ノ施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
第七條及第八條施行前ヨリ引續キ電氣ノ取引ニ使  
用スル電氣計器ニ付テハ別ニ勅令ヲ以テ定ムル期  
間第八條ノ規定ヲ適用セス  
第七條及第八條施行前ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依  
リ主務官廳ノ試験ニ合格シタル電氣計器ハ本法ノ  
檢定ニ合格シタルモノト看做ス

### 電氣測定法第七條及第八條ノ施行期日並附則第三項ノ期間ニ關スル件

明治四十四年十二月  
勅令第二百九十五號

電氣測定法第七條及第八條ノ規定ハ明治四十五年  
一月一日ヨリ之ヲ施行ス  
電氣測定法附則第三項ノ期間ハ前項ノ日ヨリ三年  
トス

電氣測定法第十一條ニ依  
ル電氣單位ノ倍數及分數  
ノ名稱、不變電流以外ノ  
場合ニ於ケル電流・電壓  
及電力ノ計算方法並同法  
第一條ニ掲ケタル以外ノ  
電氣單位ニ關スル件

明治四十三年十二月  
逓信省令第十七號

第一條 電氣單位ノ倍數及分數ノ名稱左ノ如シ  
「メグ オーム」 「オーム」ノ百萬倍  
「マイクロオーム」 「オーム」ノ百萬分ノ一  
「キロアムペア」 「アムペア」ノ千倍  
「ミリアムペア」 「アムペア」ノ千分ノ一  
「マイクログラム」 「グラム」ノ百萬分ノ一  
「キロヴォルト」 「ヴォルト」ノ千倍  
「ミリヴォルト」 「ヴォルト」ノ千分ノ一  
「マイクログヴォルト」 「ヴォルト」ノ百萬分ノ一  
「キロワット」 「ワット」ノ千倍

「マイクログラム」 「グラム」ノ百萬分ノ一  
「マイクログラッド」 「グラッド」ノ百萬分ノ一  
「ミリヘンリー」 「ヘンリー」ノ千分ノ一  
「マイクروهンリー」 「ヘンリー」ノ百萬分ノ一  
「ワット」時 「ジュール」ノ三千六百倍  
「キロワット」時 「ワット」時ノ千倍

第二條 不變電流以外ノ場合ニ於ケル電流電壓及  
電力ノ計算方法左ノ如シ

一 不變電流以外ノ場合ニ於ケル實効電流ノ不  
變電流ニ及實効電壓ノ不變電壓ニ對スル等價  
ハ其ノ瞬時値ノ自乗ノ平均ノ平方根ヲ以テ定  
ム  
二 不變電流「アムペア」ニ相當スル實効電流  
ヲ「實効アムペア」ト稱シ不變電壓「ヴォ  
ルト」ニ相當スル實効電壓ヲ「實効ヴォ  
ルト」ト稱ス  
三 電力ハ其ノ瞬時値ノ平均ヲ以テ定ム

第三條 電氣測定法第一條ニ掲ケタル以外ノ電氣  
單位左ノ如シ

一 電量ハ「クーロム」ヲ以テ單位トス  
クーロムハ「アムペア」ノ電流ニ依リ一秒間

ニ輸送サルル電量ヲ謂フ  
二 電氣容量ハ「ファラッド」ヲ以テ單位トス  
「ファラッド」ハ「クーロム」ノ電量ニ依リ  
「ヴォルト」ノ電位ニ充電サルル蓄電器ノ電  
氣容量ヲ謂フ  
三 電氣仕事ハ「ジュール」ヲ以テ單位トス  
「ジュール」ハ「アムペア」ノ電流「オーム」  
ノ電氣抵抗ヲ有スル導體ヲ通過スルトキ一秒  
間ニ爲ス仕事ヲ謂フ  
四 電氣誘導ハ「ヘンリー」ヲ以テ單位トス  
「ヘンリー」ハ每秒「アムペア」ノ割合ヲ以テ  
變化スル電流ニヨリ「ヴォルト」ノ電壓ヲ發  
生スル電路ノ電氣誘導ヲ謂フ

附則  
本令ハ明治四十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

### 電氣測定法第六條ニ依ル 電氣單位ノ標準器仕様細 目ニ關スル件

明治四十三年十二月  
逓信省告示第五百三十三號



第一 電氣抵抗單位ノ標準器仕様細目

電氣抵抗ノ標準器ニ使用スル玻璃管ハ可成寸法不變ナル玻璃ヲ以テ製作シ良ク燒鈍シ且眞直ノモノニシテ管ノ孔ハ可成一様ナル圓形ノモノトス

孔ノ切斷面積ハ約一平方「ミリメートル」ニシテ水銀ノ抵抗ハ約一「オーム」トス

各管ハ精密ニ度盛ヲナシ管ノ各部ニ於ケル孔ノ切斷面積ノ不等ニ對スル更正ハ一萬分ノ五ヲ超過セザルモノトス

玻璃管ニ填充スル水銀ハ管ノ兩端ニ接シテ設ケタル平面ニヨリ區劃セラレタルモノト假定ス

管ノ軸ノ長サ、管ニ填充スル水銀ノ質量及其ノ電氣抵抗ハ可成攝氏零度ニ近キ溫度ニ於テ測定シ之ヲ攝氏零度ノ場合ニ換算ス

管ノ各端ニハ電氣測定ノ爲電流用及電壓用ノ接續點ヲ有スル端器ヲ取付ケ其ノ端器ハ球狀（直徑約四「センチメートル」）ニシテ管ト接續スル爲圓筒片ヲ備ヘ管ノ各端ノ外縁ハ球狀端器ノ内面ト一致セシム

水銀ニ接スル導線ハ玻璃内ニ融著セル細キ白金

線ニシテ電流用導線ハ管ノ端ト直徑上正反對ノ位置ニ於テ端器ニ入り又電壓用導線ハ其ノ中央ニ裝置ス

總テノ導線ニハ細キモノヲ用キ之ニ依リ水銀ニ熱ヲ導キ電氣抵抗ノ誤差ヲ生ズル事ナカラシム

電氣抵抗測定ノ場合ニ於ケル管ノ水銀填充ハ質量測定ノ場合ト同一狀態ニ於テナス

端器使用ノ爲水銀柱ノ電氣抵抗ニ附加スベキ抵抗ハ左ノ公式ニヨリ計算ス

$$A = \frac{0.80}{1063T} \left( \frac{1}{r_1} + \frac{1}{r_2} \right) \text{「オーム」}$$

式中r1及r2ハ管孔端ノ截面ノ半徑ヲ「ミリメートル」ニテ表シタルモノトス

電氣抵抗單位ノ値ヲ定ムルニハ少クモ五本ノ管ニ依リ計算セル抵抗ノ平均値ヲ用フ

各水銀管ト抵抗トヲ比較スルニハ其ノ管ノ水銀填充ヲ測定毎ニ更新シテ三度以上ノ測定ヲナス

第二 電氣測定ノ標準器仕様細目

電氣分離ニ使用スル溶液ハ重量ノ割合ニ於テ蒸溜水百ニ對シ硝酸銀十五乃至二十ヲ溶解セルモノニシテ其ノ使用ハ一回ニ限り且銀ノ分離量ヲ

百分ノ三十以上ニ達スル事ナカラシム

「アノード」ハ銀又「カソード」ハ白金ニシテ使用電流ノ密度ハ每平方「センチメートル」ニ付「アノード」ニ在リテハ五分ノ一「アムペア」以下「カソード」ニ在リテハ十分ノ一「アムペア」以下トス又溶液ハ百立方「センチメートル」以上トス機械的作用ニヨリ「アノード」ヨリ分離セルモノ「カソード」ニ達スルコトナキ様適當ノ注意ヲナス秤量前「カソード」ハ之ニ附着セル溶液ヲ除キ且之ヲ乾燥ス



第七篇 電氣測定及試験關係

第二類 電氣計器檢定

電氣計器ノ公差、檢定及檢定手數料ニ關スル件

(明治四十四年十二月勅令第二百九十六號)

電氣計器檢定規則

(昭和十二年十月遞信省令第八十七號)

公共團體及公益法人ノ試験スル電氣計器ニ關スル件

(昭和十二年十月遞信省令第八十八號)

明治四十四年勅令第二百九十六號第七條第三項ノ電氣計器ノ型式承認及檢定手  
數料ニ關スル件

(大正五年一月遞信省令第二號)

電氣計器檢定手數料納付ニ關スル件

(大正十一年六月遞信省令第四十一號)



電氣試驗所出張所ニ於テ爲ス電氣計器檢定事務ノ範圍ニ關スル件

大阪出張所

福岡及福島出張所

名古屋出張所

廣島出張所

札幌出張所

電氣計器ノ試験ヲ行フ公益法人指定ニ關スル件

(昭和十七年三月遞信省告示第四百四十號)

(昭和十二年二月遞信省告示第三百二十三號)

(昭和十一年一月遞信省告示第二十九號)

(大正十一年六月遞信省告示第千四百四十四號)

(大正三年三月遞信省告示第九十號)

電氣計器ノ試験ヲ行フ公共團體指定ニ關スル件

(大正十二年五月遞信省告示第七百九十六號)

(大正十三年七月遞信省告示第九百五十二號)

電氣計器檢定規則第十條ノ規則ニ依リ檢定番號ニ冠スル檢定局所略名ノ件

(昭和十二年十月遞信省告示第三千七百七十五號)

### 電氣計器ノ公差、檢定及檢定手數料ニ關スル件

明治四十四年十二月 大正五年一月  
勅令第二百九十六號 勅令第九號  
大正十一年五月 昭和十二年十月  
勅令第二百九十八號 勅令第五百八十七號

第一條 電氣計器ノ公差ハ百分ノ四トス

第二條 檢定ヲ行ヒタル電氣計器左ノ各號ニ該當スルトキハ之ヲ合格トス

- 一 公差ノ四分ノ三ヲ超エザルモノ
- 二 主務大臣ノ承認シタル型式ニ適合スルモノ
- 三 主務大臣ノ定ムル裝置及動作ニ關スル規定ニ適合スルモノ

特別ノ事由アル場合ニ於テハ前項第二號ニ適合セザル電氣計器ト雖モ特殊ノ試験ヲ行ヒ之ヲ合格ト爲スコトヲ得

第三條 主務大臣電氣計器ノ型式ヲ承認シタルトキハ之ヲ告示ス

第四條 檢定ニ合格シタル電氣計器ニハ封印ヲ施シ檢定票ヲ附ス

第五條 檢定ノ有効期間ハ檢定ニ合格シタル日ヨリ始マリ其ノ日ノ屬スル月ノ翌月一日ヨリ起算シ五年ヲ以テ滿了ス

第六條 電氣計器左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ檢定ハ其ノ效力ヲ失フ

- 一 封印ノ破損シタルトキ
- 二 公差ヲ超ユルニ至リタルトキ
- 三 第二條第一項第三號ニ該當セザルニ至リタルトキ

第七條 電氣計器ノ型式承認又ハ檢定ノ申請ヲ爲ス者ハ左ノ區別ニ從ヒ手數料ヲ納付スベシ

- 一 型式承認ノ申請ヲ爲ストキ
  - 甲 積算電氣計器 一件ニ付 金七十五圓
  - 乙 最大負荷表示器 一件ニ付 金二十圓
  - 丙 計器用變壓器 一件ニ付 金百圓
  - 丁 計器用變流器 一件ニ付 金百圓
- 二 承認シタル型式ノ主要部分ニ非ザル部分ヲ變更シテ更ニ型式承認ノ申請ヲ爲ストキ
  - 甲 積算電氣計器 一件ニ付 金二十五圓
  - 乙 最大負荷表示器 一件ニ付 金十圓
  - 丙 計器用變壓器 一件ニ付 金三十圓



丁 計器用變流器 一件ニ付 金三十圓

三 第二條第一項ノ檢定ノ申請ヲ爲ストキ

甲 積算電氣計器

イ 基本手數料 一箇ニ付 金二圓

ロ 電氣計器ノ規定電流及電壓ニ依リ左ノ

手數料ヲ附加ス

規定電流ニ依ル附加手數料

十「アマペア」以下 金一圓

二十「アマペア」以下 金二圓

五十「アマペア」以下 金三圓

百「アマペア」以下 金四圓

三百「アマペア」以下 金六圓

五百「アマペア」以下 金八圓

千「アマペア」以下 金十二圓

二千「アマペア」以下 金十七圓

三千「アマペア」以下 金二十二圓

規定電壓ニ依ル附加手數料

規定電壓三百「ヴォルト」ヲ超過スルモ

ノニ在リテハ千「ヴォルト」以下ヲ増ス

毎ニ 金一圓

乙 最大負荷表示器

甲 號ノ手數料ノ四分ノ一

四 第二條第二項ノ檢定ノ申請ヲ爲ストキ

前號ノ手數料ノ二倍

五 承認シタル型式ニ適合スル積算電氣計器ニ

シテ檢定ニ不合格ト爲リタルモノヲ修繕又ハ

調整ヲ爲シタル後更ニ檢定ノ申請ヲ爲ストキ

百「アマペア」以下 金一圓

千「アマペア」以下 金二圓

三千「アマペア」以下 金四圓

前項ニ掲ゲサル型式承認及檢定ノ申請手數料ハ

前項ノ規定ニ準ジ主務大臣之ヲ定ム

第八條 主務大臣ノ指定シタル公共團體又ハ公益

法人ニ於テ主務大臣ノ定ムル試驗規則ニ依リ行

ヒタル試驗ニ合格シタル電氣計器ノ檢定ニ付テ

ハ試驗ヲ省略スルコトヲ得

前項ノ電氣計器ノ檢定申請手數料ハ主務大臣ノ

定ムル所ニ依ル

附則

本令ハ明治四十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前主務大臣ノ告示シタル電氣計器ノ型式

ノ承認ハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

附則  
本令ハ昭和十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス







ヲ添へ前ニ申請書ヲ提出シタル局所ニ之ヲ提出スベシ

第一項、第二項及前項ノ場合ニ於テ計器用變成器ノ負擔トナルベキ測定器ニシテ電氣ノ取引ニ關係ナキモノヲ有スル電氣計器ニ在リテハ當該測定器ヲモ提出スベシ

第五條 交流積算電力計ノ誤差ノ試験ハ左ノ各號ノ點ニ於テ之ヲ行フ

- 一 規定電壓、規定周波數及力率一（尙多線式ノモノニ在リテハ平衡負荷）ニ於テ規定電流並ニ其ノ二分ノ一及十分ノ一ノ三點
- 二 規定電壓、規定電流及規定周波數（尙多線式ノモノニ在リテハ平衡負荷、多相式ノモノニ在リテハ規定相順及逆相順）ニ於テ遲電流ニ於ケル力率二分ノ一ノ點

第六條 交流積算電力計ノ動作ハ左ノ各號ニ適合スルモノタルベシ

- 一 規定電壓、規定周波數及力率一（尙多線式ノモノニ在リテハ平衡負荷）ニ於テ規定電流

ノ百分ノ二以下ノ電流ヲ以テ始動スルコト

二 規定電壓ニ其ノ百分ノ四ヲ加へタル電壓及規定周波數ニ於テ潛動ナキコト

三 計量裝置ハ其ノ動作完全ナルコト

第七條 電氣計器ハ其ノ外函其ノ他適當ノ箇所ニ左ノ事項ヲ表示シタルモノタルベシ

- (イ)(ロ)(ハ)(ニ)(ホ)(ヘ)(ト)(チ) 計器
- 名稱及型ノ記號
- 製造者名
- 型式番號
- 製造番號
- 使用回路ノ種類（直流、交流、別相及線式）
- 計器固有ノ定格（電壓、電流、及周波數）
- 計器定數（計器固有ノ值）
- 電線接續圖

變成器附電氣計器ニ在リテハイ乃至トニ掲ゲ

ル事項ノ外當該變成器ノ名稱、製造番號、變成比（一次及二次ノ定格値）及綜合電線接續圖ヲ表示スベシ

二 計器用變成器

- (イ) 前號イ乃至ニニ掲ゲル事項（イ）ノ型ノ記號ヲ除ク
- (ハ) 變成比（一次及二次ノ定格値）
- (ロ) 定格周波數
- (ニ) 負擔トナルベキ測定器ニシテ電氣ノ取引ニ關係ナキモノノ名稱及番號

第八條 電氣計器ハ鉛又ハ之ニ代ルモノヲ以テ封印シ得ル構造ヲ有シ且封印ヲ剝離セズシテ電路ニ接續シ得ル様裝置シタルモノタルベシ

電氣計器ノ計量盤ハ讀ミ易キ構造ト爲シ且指示ノ單位ヲ明記シ必要アル場合ニ於テハ乘率（整數ト爲ス）トモ明記シタルモノタルベシ  
積算電力計ノ端子ハ附圖ニ示ス記號ヲ附シタルモノタルベシ  
計器用變成器ノ一次側及二次側ノ端子ハ減極性ニ從ヒ配置シ之ニ極性ヲ示ス記號ヲ附シ且二次側端子ハ附圖ニ示ス記號ヲ附シタルモノタルベシ

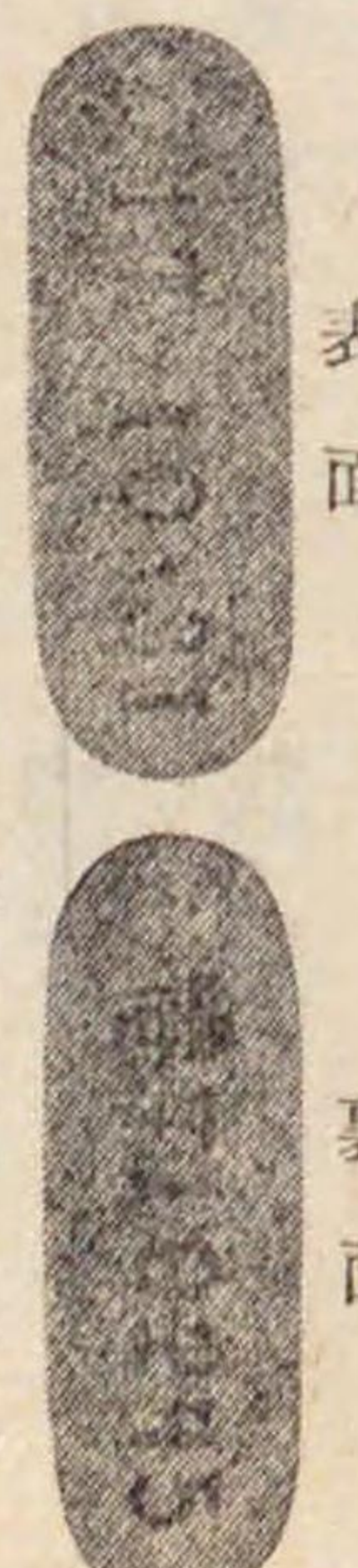
第九條 檢定ニ合格シタル電氣計器ニ施スベキ封印ノ雛形ハ左ノ如シ

表面 裏面 直徑 約十耗



第十條 檢定ニ合格シタル電氣計器ニ附スベキ檢定票ノ雛形ハ左ノ如シ

表面 裏面



長サ 約三十耗・幅 約十耗  
（輪廓内ノ數字ハ檢定ノ有効期間満了ノ年月日ヲ表ス）  
（輪廓内ノ數字ハ檢定番號ヲ表シ檢定番號ニハ別ニ告示スル檢定局所略名ヲ冠ス）

第十一條 電氣ヲ供給スル者ハ現ニ電氣ノ取引ニ使用スル電氣計器ノ名稱、製造者名、定格、檢



定番號、檢定ノ有効期間満了ノ日及使用場所ヲ記載シタル帳簿ヲ備フベシ

第十二條 電氣ヲ供給スル者ハ毎年三月三十一日現在ニ於テ其ノ供給スル電氣ノ取引ニ使用スル電氣計器ノ箇數ヲ第七號書式ニ依リ四月三十日迄ニ逓信大臣ニ届出ツベシ

第十三條 電氣計器ノ檢定ハ申請ニ依リ電氣計器所在地ニ於テ之ヲ行フコトアルベシ

前項ノ場合ニ於テハ申請者ハ第五條及第六條ノ試験ヲ行フニ必要ナル設備ヲ爲シ且檢定ニ要スル費用ヲ負擔スベシ

第十四條 第十一條又ハ第十二條ノ規定ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス

附則

第十五條 本令ハ昭和十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十六條 本令施行前檢定ニ合格シタル電氣計器ノ裝置及動作ニ關シテハ第六條乃至第八條ノ規定ニ拘ラズ當該電氣計器ノ檢定有効期間中仍從前ノ例ニ依ル

第十七條 本令施行前檢定ニ合格シタル電氣計器

ニ附屬スル計器用變成器ニ在リテハ本令施行ノ日ヨリ五年間、其ノ他ノ計器用變成器ニ在リテハ本令施行ノ日ヨリ三年間ヲ限り其ノ型式ノ假承認ヲ受クルコトヲ得

型式ノ假承認ニハ有効期間ヲ附ス

第一條及第二條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

(第一號書式) 用紙ノ大サ 日本標準規格B列四番型

收入 印紙

計器型式承認申請書 貼附シタル收入印紙ノ額 金何圓

- 一 計器ノ名稱 積算電力計、積算電量計、最大負荷表示器等ノ別
- 二 型名及型ノ記號 誘導型、電動機型等ノ別及製造者ノ型ノ記號
- 三 製造者名 輸入品又ハ移入品ニ在リテハ輸入者名又ハ移入者名ヲ附記スベシ
- 四 製造番號
- 五 使用回路ノ種類 直流、交流ノ別、單相、三相等ノ別及二線式、三線式等ノ別
- 六 定 格 電壓、電流及周波數
- 七 計 器 定 數

右電氣計器檢定規則第一條ニ依リ計器型式ノ承認ヲ申請候也

年 月 日 住所 申請者名(印) 遞信大臣宛

(第二號書式) 用紙ノ大サ 日本標準規格B列四番型

收入 印紙

計器用變成器型式承認申請書 貼附シタル收入印紙ノ額 金何圓

- 一 變成器ノ名稱 計器用變壓器、計器用變流器ノ別
- 二 型名及型ノ記號 乾心型、油入型等ノ別及製造者ノ型ノ記號
- 三 製造者名 輸入品又ハ移入品ニ在リテハ輸入者名又ハ移入者名ヲ附記スベシ
- 四 製造番號
- 五 使用回路ノ種類 單相、三相等ノ別及二線式、三線式等ノ別
- 六 定 格 一次及二次ノ電壓又ハ電流、負擔、周波數、最高回路電壓(計器用變流器ニ限ル)

右電氣計器檢定規則第一條ニ依リ計器用變成器型式ノ承認ヲ申請候也

年 月 日 住所 申請者名(印) 遞信大臣宛



(第三號書式) 用紙ノ大サ 日本標準規格B列四番型

計器型式追加承認申請書 貼附シタル収入印紙ノ額 金何圓

- 一 計器ノ名稱
  - 二 型名及型ノ記號
  - 三 製造者名
  - 四 製造番號
  - 五 型式承認ノ年月日及番號
  - 六 使用回路ノ種類
  - 七 定格
  - 八 計器定數
  - 九 變更事項
- 右電氣計器檢定規則第三條ニ依リ計器型式ノ追加承認ヲ申請候也

積算電力計、積算電量計、最大負荷表示器等ノ別  
誘導型、電動機型等ノ別  
別及製造者ノ型ノ記號  
輸入品又ハ移入品ニ在リテハ輸入者名又ハ移入者名ヲ附記スベシ

直流、交流ノ別、單相、三相等ノ別及二線式、三線式等ノ別  
電壓、電流及周波數

遞信大臣宛 住所 申請者名

(第四號書式) 用紙ノ大サ 日本標準規格B列四番型

計器用變器型式追加承認申請書 貼附シタル収入印紙ノ額 金何圓

- 一 變成器ノ名稱
  - 二 型名及型ノ記號
  - 三 製造者名
  - 四 製造番號
  - 五 型式承認ノ年月日及番號
  - 六 使用回路ノ種類
  - 七 定格
  - 八 變更事項
- 右電氣計器檢定規則第三條ニ依リ計器用變成器型式ノ追加承認ヲ申請候也

計器用變壓器、計器用變流器ノ別  
乾心型、油入型等ノ別  
及製造者ノ型ノ記號  
輸入品又ハ移入品ニ在リテハ輸入者名又ハ移入者名ヲ附記スベシ

單相、三相等ノ別及二線式、三線式等ノ別  
一次及二次ノ電壓又ハ電流、負擔、周波數、最高回路電壓(計器用變流器ニ限ル)

遞信大臣宛 住所 申請者名

電氣計器檢定申請書

電氣計器檢定規則第四條第一項ニ依リ下記電氣計器ノ檢定ヲ申請候也  
年 月 日 住所 申請者名印  
遞信大臣宛

貼附シタル収入印紙ノ額 金何圓何錢

收入印紙	
名稱及型ノ記號	積算電力計、積算電量計、最大負荷表示器等ノ別及製造者ノ型ノ記號
製造者名	
型式番號	
製造番號	
使用回路ノ種類	流相線式
定電壓	V
定電流	A
定周波數	~
計器製造者名	
計器型式番號	
計器製造番號	
用器變壓比	一次及二次ノ定格値ヲ以テ表シタル値
計器製造者名	
計器型式番號	
計器製造番號	
用器變流比	一次及二次ノ定格値ヲ以テ表シタル値
計器定數(計器固有ノ值)	
箇數	
一箇ノ手数料	金何圓何錢
手数料	金何圓何錢
備考	計器用變成器ノ負擔トナルベキ測定器ニシテ電氣ノ取引ニ關係ナキモノノ名稱及番號其ノ他



電氣計器箇數調								
使用地府縣名 又ハ製造者名		昭和 年三月三十一日現在						
有効期間満了ノ年度		住所 氏 名印						
電氣方式 電 流	單 相 交 流 サイクル			三 相 交 流 サイクル			直 流	計
	低 壓	高 壓	特 高	低 壓	高 壓	特 高		
10 A 以下								
20 A 以下								
50 A 以下								
100 A 以下								
300 A 以下								
500 A 以下								
1,000 A 以下								
2,000 A 以下								
3,000 A 以下								
5,000 A 以下								
7,000 A 以下								
10,000 A 以下								
計								

第七號書式

本書式ハ有効期間満了ノ年度（四月ヨリ翌年三月ニ至ル）毎ニ使用地府縣名別及製造者名別ニ就キ別紙ニ之ヲ調製スベシ

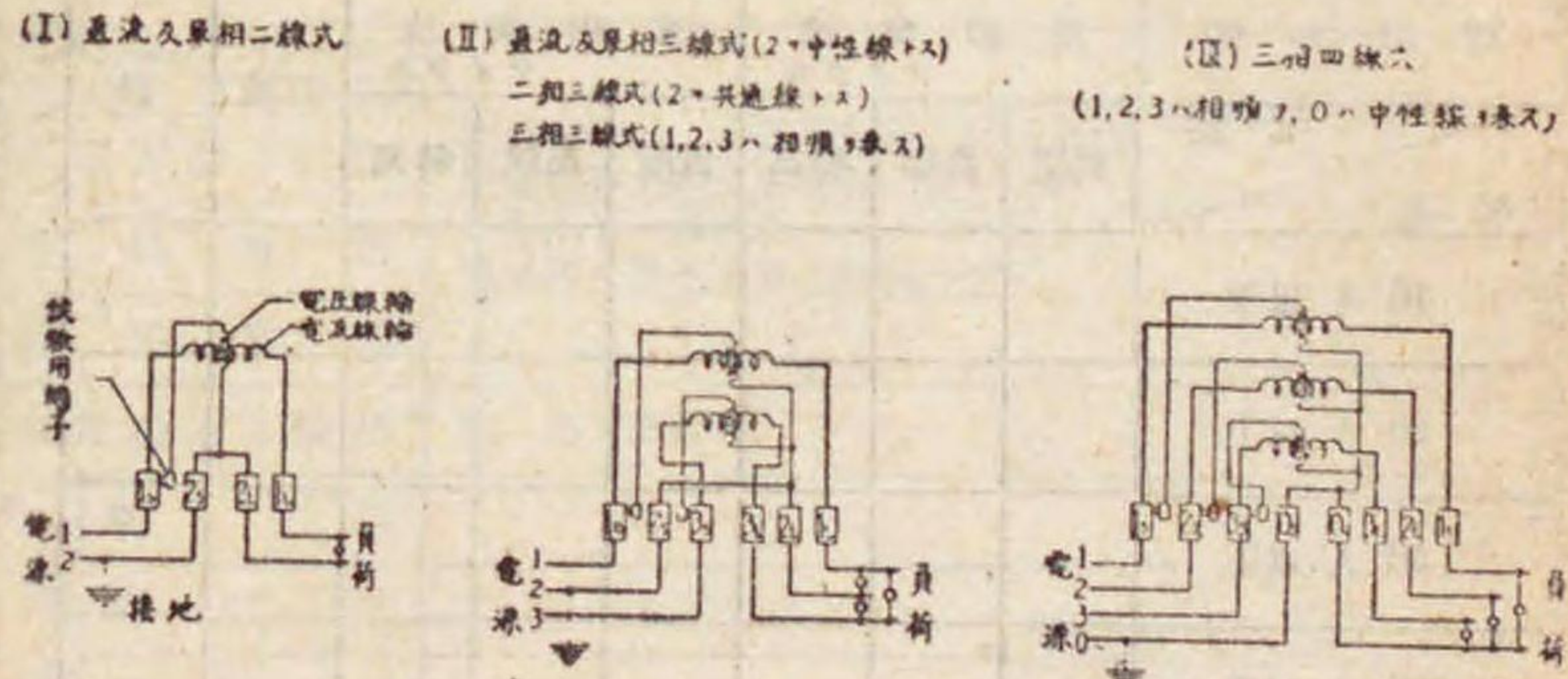
電氣計器特殊試驗檢定申請書		
電氣計器檢定規則第四條第二項ニ依リ下記電氣計器ノ特殊試驗檢定ヲ申請候也		
年 月 日	住 所	
逓 信 大 臣 宛	申 請 者 名 印	
收 入 印 紙	貼附シタル収入印紙ノ額 金何圓何錢	
型式承認ヲ受クルコト能ハザル事由		
名稱及型ノ記號	積算電力計、積算電量計、最大負荷表示器等ノ別及製造者ノ型ノ記號	
製造者名	輸入品又ハ移入品ニ在リテハ輸入者名又ハ移入者名ヲ附記スベシ	
製造番號		
使用回路ノ種類	流 相 線 式	
定 格 値	電 壓	V
	電 流	A
	周 波 數	~
計 變 器 用 器	製造者名	輸入品又ハ移入品ニ在リテハ輸入者名又ハ移入者名ヲ附記スベシ
	製造番號	
計 變 器 用 器	變 壓 比	一次及二次ノ定格値ヲ以テ表シタル値
	製造者名	輸入品又ハ移入品ニ在リテハ輸入者名又ハ移入者名ヲ附記スベシ
計 變 器 用 器	製造番號	
	變 流 比	一次及二次ノ定格値ヲ以テ表シタル値
計 變 器 用 器	定 數 (計 變 器 用 器 有 ノ 値)	
備 考	一箇ノ手数料 金何圓何錢	
備 考	手 數 料 金何圓何錢	
備 考	計器用變成器ノ負擔トナルベキ測定器ニシテ電氣ノ取引ニ關係ナキモノノ名稱及符號	
備 考	其ノ他	

第六號書式（用紙ノ大サ 日本標準規格B列四番型）

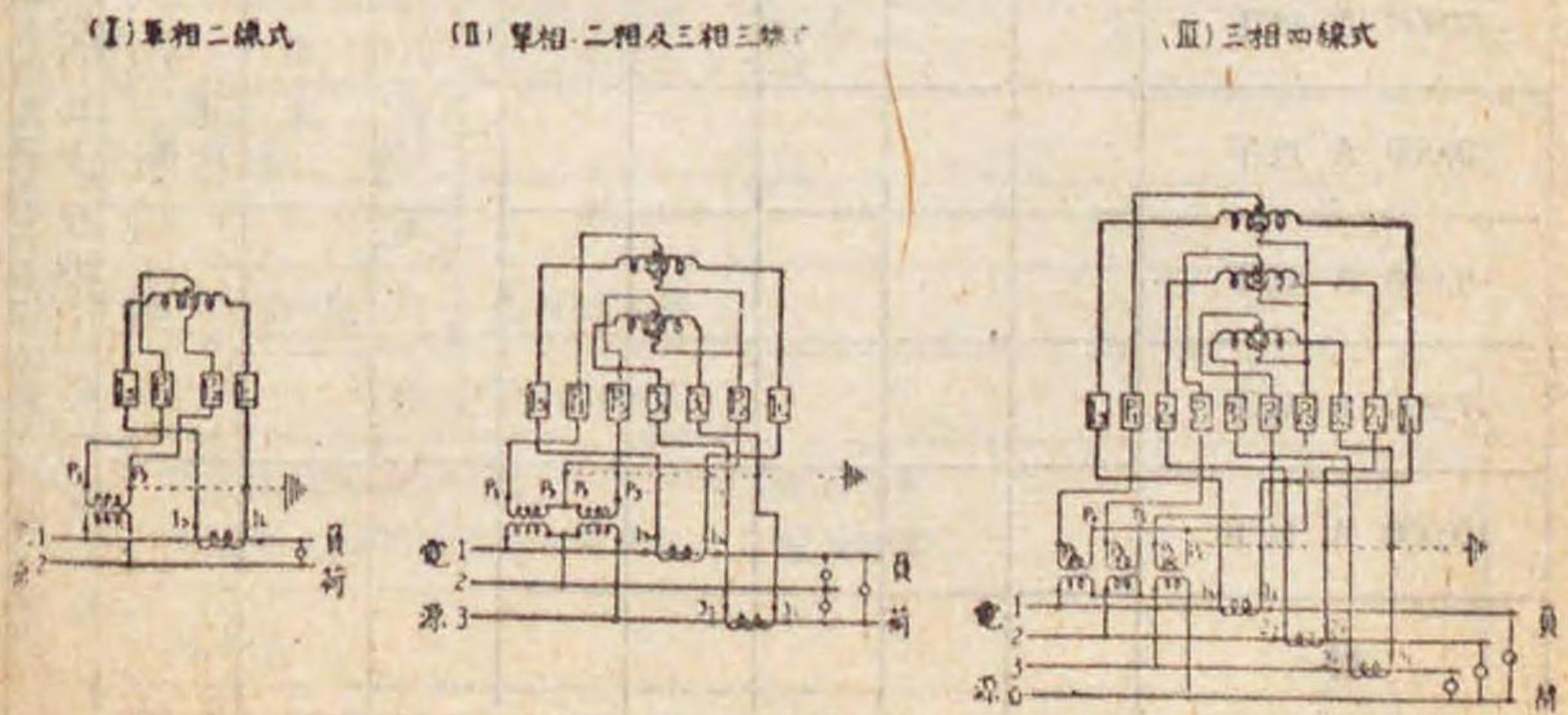


積算電力計、端子記號

計器、場合



計器用変成器、附屬、場合



### 公共團體及公益法人ノ試験スル電氣計器ニ關スル件

昭和十二年十月  
逓信省令第八十八號

- 第一條** 明治四十四年勅令第二百九十六號第八條ノ規定ニ依リ逓信大臣ノ指定シタル公共團體又ハ公益法人ニ於テ行フ電氣計器ノ試験及其ノ檢定申請ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條** 電氣計器ノ誤差ノ試験ニ付テハ電氣計器檢定規則第五條ノ規定ヲ準用ス
- 第三條** 試験ヲ行ヒタル電氣計器左ノ各號ニ該當スルトキハ之ヲ合格トス
- 一 公差ノ四分ノ三ヲ超エザルモノ
  - 二 逓信大臣ノ承認シタル型式ニ適合スルモノ
  - 三 電氣計器檢定規則第六條乃至第八條ニ定ムル標準ニ適合スルモノ
- 第四條** 前條ノ規定ニ依リ試験ニ合格シタル電氣計器ノ檢定申請ハ試験ヲ行ヒタル公共團體又ハ公益法人ニ於テ之ヲ爲スベシ此ノ場合ニ於テハ申請書甲號ニ試験成績表ヲ添ヘ電氣試験所又ハ

電氣試験所出張所ニ之ヲ提出スベシ  
電氣試験所又ハ電氣試験所出張所ニ於テ必要アリト認ムルトキハ前項ノ申請ニ係ル電氣計器ヲ提出セシムルコトアルベシ

**第五條** 前條第一項ノ場合ニ於テハ電氣計器一箇ニ付手数料一圓ヲ納付スベシ

前條第一項ノ檢定申請ヲ爲シタル電氣計器ニシテ不合格トナリタルモノニ付更ニ同規定ノ檢定申請ヲ爲サントスルトキハ電氣計器一箇ニ付手数料二十錢ヲ納付スベシ

#### 附則

本令ハ昭和十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス



公共團體及公益法人ノ試験ナル電氣計器ニ關スル件第四條ニ依リ下記電氣計器ノ檢定ヲ申請候也

電氣計器檢定申請書

年 月 日

遞 信 大 臣 宛

申 請 者 名 ①

收入紙印

貼附シタル收入紙ノ額 金何圓何錢

電氣計器ノ名稱	積算電力計、積算電量計、最大負荷表示器等ノ別
試験合格番號	
筒數	
試験依頼者別筒數内譯	
備考	

甲號書式(用紙ノ大サ 日本標準規格B列四番型)

明治四十四年勅令第二百九十六號第七條第三項ノ電氣計器ノ型式承認及檢定手數料ニ關スル件

大正五年一月  
昭和三十二年十月  
逓信省令第八十九號

**第一條** 規定電流三千「アムペア」ヲ超過スル積算電氣計器又ハ最大負荷表示器ノ檢定ノ申請ヲ爲ス場合ノ手數料ハ左ノ區別ニ依ル

一 明治四十四年勅令第二百九十六號第二條第一項ノ檢定ノ申請ヲ爲ストキ

甲 積算電氣計器

(イ) 基本手數料 一箇ニ付 金 二圓

(ロ) 電氣計器ノ規定電流及電壓ニ依リ左ノ手數料ヲ附加ス

規定電流ニ依ル附加手數料

五千「アムペア」以下 金三十圓

七千「アムペア」以下 金三十八圓

一萬「アムペア」以下 金五十圓

七篇二類 電氣計器檢定關係

六九九

規定電壓ニ依ル附加手數料

規定電壓三百「ヴォルト」ヲ超過スルモノニ在リテハ千「ヴォルト」以下ヲ増ス毎ニ 金 一圓

乙 最大負荷表示器

甲ノ手數料ノ四分ノ一

二 同勅令第二條第二項ノ檢定ノ申請ヲ爲ストキ

前號ノ手數料ノ二倍

**第二條** 指示電力計、力率計、電流計又ハ電壓計ノ型式承認又ハ檢定ノ申請ヲ爲ス場合ノ手數料ハ左ノ區別ニ依ル

一 型式承認ノ申請ヲ爲ストキ

甲 指示電力計、力率計 一件ニ付 金四十圓

乙 電流計、電壓計 一件ニ付 金二十圓

二 承認シタル型式ノ主要部分ニ非ザル部分ヲ變更シテ更ニ型式承認ノ申請ヲ爲ストキ

甲 指示電力計、力率計 一件ニ付 金十五圓

乙 電流計、電壓計 一件ニ付 金十圓



三 明治四十四年勅令第二百九十六號第二條第

一項ノ檢定ノ申請ヲ爲ストキ

甲 指示電力計、力率計

同勅令第七條第一項第三號甲又ハ前條第一號甲ノ手数料ノ二分ノ一

乙 電流計

甲ノ手数料ノ二分ノ一

丙 電壓計

(イ) 基本手数料 一箇ニ付 金五十錢

(ロ) 電氣計器ノ規定電壓ニ依リ左ノ手数料ヲ附加ス

三百「ヴォルト」以下

三百「ヴォルト」ヲ超過スルモノニ在リテ

八百「ヴォルト」以下ヲ増ス毎ニ

金五十錢

四 同勅令第二條第三項ノ檢定ノ申請ヲ爲スト

キ

前號ノ手数料ノ二倍

第三條 檢定ノ申請ヲ爲シタル電氣計器ニシテ不

合格ト爲リタルモノヲ修繕又ハ調整ヲ爲シタル

後更ニ檢定ノ申請ヲ爲ス場合ノ手数料ハ左ノ區

別ニ依ル

甲 積算電氣計器

(イ) 規定電流三千「アムペア」ヲ超過スル

モノ

六千「アムペア」以下

金 六 圓

一萬「アムペア」以下

金 八 圓

(ロ) 規定電流三千「アムペア」以下ノモノ

ニシテ明治四十四年勅令第二百九十六號

第二條第二項ノ檢定ノ申請ヲ爲シタルモ

ノ

同勅令第七條第一項第五號ノ手数料ト同

類

乙 最大負荷表示器、指示電力計、力率計、

電流計

(イ) 規定電流三千「アムペア」以下ノモノ

同勅令第七條第一項第五號ノ手数料ノ二

分ノ一

(ロ) 規定電流三千「アムペア」ヲ超過スル

モノ

甲(イ)ノ手数料ノ二分ノ一

丙 電壓計

電氣計器檢定手数料納付ニ關スル件

大正十一年六月 逓信省令第四十二號

電氣計器檢定手数料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムベ

シ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

千「ヴォルト」以下 金五十錢  
千「ヴォルト」ヲ超過スルモノニ在リテハ  
三千「ヴォルト」以下ヲ増ス毎ニ 金五十錢

附 則

明治四十五年逓信省令第三十八號大正三年逓

信省令第五號ハ之ヲ廢止ス

本令ハ大正五年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

本令ハ昭和十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス



### 電氣試驗所出張所ニ於テ 爲ス電氣計器檢定事務ノ 範圍ニ關スル件

#### 大阪出張所

大正三年三月三十日  
逓信省告示第九十號  
大正九年四月  
逓信省告示第五百六十六號

大正三年四月一日ヨリ電氣試驗所大阪出張所ニ於テ左記ノ電氣計器ニ對シ電氣測定法第七條ニ依ル電氣計器檢定事務ヲ開始ス  
型式承認ヲ經タル電氣計器ニシテ直流ニ在リテハ電壓六百「ヴォルト」以下電流八百「アムペア」以下ノモノ、交流ニ在リテハ電壓二萬五千「ヴォルト」以下電流八百「アムペア」以下ノモノ  
但シ三百「アムペア」以下ノモノニ在リテハ周波數二十乃至六十「サイクル」、三百「アムペア」ヲ超過スルモノニ在リテハ周波數五十乃至六十「サイクル」

#### 福岡及福島出張所

大正十一年六月  
逓信省告示第四百四十四號

本日ヨリ左ノ電氣試驗所出張所ニ於テ電氣測定法第七條ニ依ル電氣計器ノ檢定事務ヲ開始ス但シ電氣計器ハ型式承認ヲ經タルモノニシテ直流ニアリテハ電壓三百「ヴォルト」以下電流三百「アムペア」以下ノモノ、交流ニアリテハ電壓五千「ヴォルト」以下電流三百「アムペア」以下ニシテ周波數五十乃至六十「サイクル」ノモノニ限ル

大正十一年六月十九日

大臣名

名 稱 位 置

電氣試驗所福岡出張所 福岡市大字庄字中ノ坪  
電氣試驗所福島出張所 福島市大字森合字狐塚

#### 名古屋出張所

昭和十一年一月  
逓信省告示第二十九號

昭和十一年一月十五日ヨリ電氣試驗所名古屋出張所

所(名古屋市東區東大曾根町東一丁目一千一百二番地所在)ニ於テ電氣測定法第七條ノ規定ニ依ル檢定事務ヲ開始ス但シ電氣計器ハ型式承認ヲ經タルモノニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限ル  
一 直流ノ電氣計器ニシテ電壓三百「ヴォルト」以下及電流三百「アムペア」以下ノモノ又ハ交流ノ電氣計器ニシテ電壓三萬五千「ヴォルト」以下、電流千「アンペア」以下及周波數五十乃至六十「サイクル」ノモノ  
二 電氣計器檢定規則第四條第四項ノ規定ニ依リ檢定ヲ受クル電氣計器ニシテ其ノ附屬變成器ノ容量方前號ノ範圍ヲ超過スルモノ其ノ計器ノミノ容量方前號ノ範圍内ナルモノ

#### 廣島出張所

昭和十二年二月  
逓信省告示第三百二十三號

昭和十二年二月十五日ヨリ電氣試驗所廣島出張所(廣島市三條本町一丁目七百四十五番地所在)ニ於テ電氣測定法第七條ノ規定ニ依ル檢定事務ヲ開始ス但シ電氣計器ハ型式承認ヲ經タルモノニシテ

左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限ル  
一 直流ノ電氣計器ニシテ電壓三百「ヴォルト」以下及電流三百「アムペア」以下ノモノ又ハ交流ノ電氣計器ニシテ電壓三萬五千「ヴォルト」以下、電流千「アンペア」以下及周波數五十乃至六十「サイクル」ノモノ  
二 電氣計器檢定規則第四條第四項ノ規定ニ依リ檢定ヲ受クル電氣計器ニシテ其ノ附屬變成器ノ容量方前號ノ範圍ヲ超過スルモノ其ノ計器ノミノ容量方前號ノ範圍内ナルモノ

#### 札幌出張所

昭和十七年三月  
逓信省告示第四百四十號

昭和十七年三月二十日ヨリ電氣試驗所札幌出張所札幌市北五條西十七丁目拾番地)ニ於テ電氣測定法第七條ノ規定ニ依ル電氣計器檢定事務ヲ開始ス但シ電氣計器ハ研式承認ヲ經タルモノニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限ル  
一 直流ノ電氣計器ニシテ電壓三百「ボルト」以下及電流三百「アンペア」以下ノモノ又ハ交流ノ電氣計器ニシテ電壓三萬五千「ボルト」



以下、電流千「アンペア」以下及周波數五十乃至六十「サイクル」ノモノ

二 電氣計器檢定規則第四條第三項ノ規定ニ依リ檢定ヲ受クル電氣計器ニシテ其ノ附屬變成器ノ容量ガ前號ノ範圍ヲ超過スルモノ其ノ計器ノミニノ容量ガ前號ノ範圍内ナルモノ

電氣計器ノ試験ヲ行フ公益法人指定ニ關スル件

大正十三年四月七日業第四百號ヲ以テ東京市ニ對シ明治四十四年勅令第二百九十六號第八條ニ依ル電氣計器ノ試験ヲ行フ公共團體タルコトヲ得指定セリ

大正十三年七月一日

大臣名

大正十二年五月五日  
逓信省告示第七百九十六號

右明治四十四年勅令第二百九十六號ニ依ル電氣計器ノ試験ヲ行フ公益法人タルコトヲ指定ス

大臣名

電氣計器ノ試験ヲ行フ公共團體指定ニ關スル件

大正十三年七月  
逓信省告示第九百五十二號

電氣計器檢定規則第十條ノ規定ニ依リ檢定番號ニ冠スル檢定局所略名ノ件

昭和十二年十月  
逓信省告示第三百七十五號

昭和十七年三月  
逓信省告示第四百四十一號改正

電氣計器檢定規則第十條ノ規定ニ依リ檢定番號ニ冠スル檢定局所略名左ノ如シ

大臣名

檢定局所名	檢定局所略名	摘	要
電氣試驗所	「電」市「又ハ」東	「市」ハ東京市電氣研究所、「東」ハ社團法人電氣協會電氣計器東京試驗所ノ試験ヲ經タルモノニ冠ス「西」ハ社團法人電氣協會電氣計器大阪試驗所ノ試験ヲ經タルモノニ冠ス「九」ハ社團法人電氣協會電氣計器福岡試驗所ノ試験ヲ經タルモノニ冠ス	
電氣試驗所大阪出張所	「大」又ハ「西」		
福岡出張所	「岡」又ハ「九」		
福岡出張所	「島」		
名古屋出張所	「名」		
廣島出張所	「廣」		
札幌出張所	「札」		



第七篇 電氣測定及試驗關係

第三類 電氣用品試驗

電氣用品試驗規則

(大正五年九月遞信省令第五十號)

Table of contents page with faint text and a grid structure.



# 電氣用品試験規則

大正五年九月 (1)大正七年六月  
逓信省令第五十號 逓信省令第三十九號改正  
(2)大正十一年八月 (3)大正十二年十二月  
同省令第五十號改正 同省令第百號改正  
(4)昭和二年九月 (5)昭和四年七月  
同省令第三十八號改正 同省令第二十八號改正  
(6)昭和十二年二月 (7)昭和十三年六月  
同省令第六號改正 同省令第五十一號改正

**第一條** 本令ニ依リ試験ヲ爲スベキ物品ノ種類試験ノ種別試験事項及拔検査試験ノ拔取率ハ別表ノ定ムル所ニ依ル但シ別表所定以外ノ電氣用品ノ試験ニ在リテモ事務ノ都合ニ依リ之ガ依頼ニ應ズルコトアルベシ

**第二條** 電氣用品ノ試験ヲ依頼セムトスル者ハ依頼書(第一號書式)ニ試験品ヲ添ヘ電氣試験所ニ提出スベシ(一)  
型式試験、品位試験、追加型式試験又ハ追加品位試験ノ依頼ヲ爲ストキ其ノ他依頼者ニ於テ必要ト認メタルキハ前項ノ試験品ニ説明書ヲ添付スベシ  
電氣試験所ニ於テ必要ト認メタルトキハ試験品ヲ追加提出セシムルコトアルベシ(一)

**第三條** 試験依頼者ハ別表ノ區別ニ依リ收入印紙ヲ以テ試験手数料ヲ納付スベシ  
特殊ノ品質構造ヲ有スルモノ又ハ試験手数料ノ規定無キモノノ試験手数料ハ別表ニ準ジ其ノ都度之ヲ定ム其ノ豫メ手数料ヲ定メ難キモノニ在リテハ試験終了後之ヲ定ム此ノ場合ニ於テハ試験終了後指定ノ料金ヲ納付スベキ旨依頼書ニ記入セシム

**第四條** 型式又ハ品位試験ノ依頼アリタル場合ニ於テ試験ノ成績別ニ定ムル規準ニ適合スルトキハ依頼者ニ證明書(第二號書式)ヲ交付ス  
前項ノ證明ハ製品ノ実績ニ依リ之ヲ取消スコトアルベシ

**第五條** 證明ヲ經タル型式又ハ品位ノ一部分ヲ變更スル場合ト雖モ其ノ變更方型式又ハ品位ノ主要部分ニ非ズト認ムルモノニ限り依頼ニ依リ追加證明書(第三號書式)ヲ交付ス

**第六條** 型式又ハ品位ノ證明ヲ經タル物品ニ付普通試験又ハ拔検査試験ノ依頼アリタル場合ニ於テ試験ノ成績別ニ定ムル規準ニ適合スルトキハ依頼者ニ合格證明書(第四號書式)ヲ交付シ其ノ



物品ニ左記雛形ニ依ル紙製ノ合格票ヲ貼附ス電氣標準器、測定器其ノ他容易ニ封印ヲ爲シ得ル物品ニ在リテハ合格票ヲ貼附スルノ外左記雛形ニ依ル封蠟若ハ鉛封印ヲ施ス(1)(5)

合格票

封蠟又ハ鉛封印

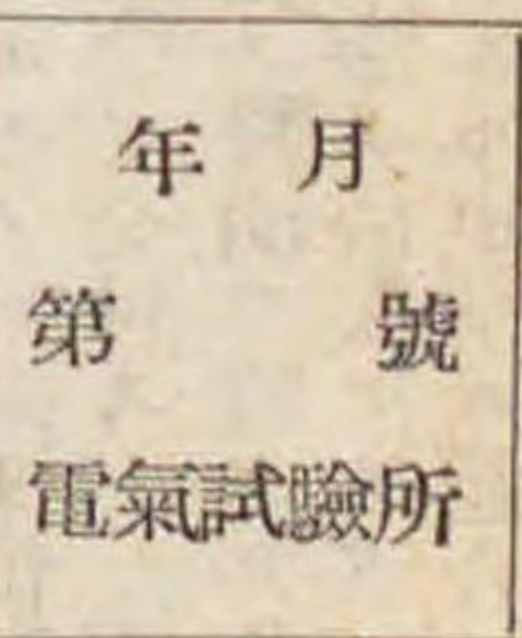


- 一、拔検査試験ノ場合ニ於テハ「拔検査」ト記載ス
- 二、合格票ノ寸法ハ貼附スル物品ノ大小ニ依リ左記ノ四種トス
- 第一種 直徑 一・五吋
- 第二種 直徑 三・〇吋
- 第三種 直徑 四・五吋
- 第四種 直徑 六・〇吋

前項ノ物品ノ普通試験若ハ拔検査試験成績所定ノ規準ニ適合セザルトキ又ハ普通試験若ハ拔検査試験以外ノ試験依頼アリタル場合ニ於テハ依頼者ニ試験成績書(第五號ノ一書式)ヲ交付ス

第七條 型式又ハ品位ノ證明ヲ經ザル物品ニ付普通試験又ハ拔検査試験ノ依頼アリタル場合ニ於テ試験ノ成績別ニ定ル規準ニ適合スルトキハ依頼者ニ試験成績書(第五號ノ二書式)ヲ交付シ其ノ物品ニ左記雛形ニ依ル紙製ノ試験票ヲ貼附ス

試驗票



- 一、拔検査試験ノ場合ニ於テハ「拔検査」ト記載ス
- 二、試驗票ノ寸法ハ貼附スベキ物品ノ大小ニ依リ左記ノ四種トス
- 第一種 一・五吋平方
- 第二種 三・〇吋平方
- 第三種 四・五吋平方
- 第四種 六・〇吋平方

前項ノ物品ノ普通試験若ハ拔検査試験ノ成績所定ノ規準ニ適合セザルトキ又ハ普通試験若ハ拔検査試験以外ノ試験依頼アリタル場合ニ於テハ依頼者ニ試験成績書(第五號ノ一書式)ヲ交付ス

第八條 拔検査試験ヲ行ヒ其ノ成績所定ノ規準ニ適合セザルトキト雖モ不適合ノ程度著シカラズト認メタルモノニ限り依頼ニ依リ更ニ所定數量

ヲ拔取り試験ヲ行フコトアルベシ此ノ場合ニ於テハ依頼書(第六號書式)ヲ提出シ更ニ規定ノ試験手数料ヲ納付スベシ

第九條 特ニ急速ニ試験ノ施行ヲ必要トシ依頼書ニ其ノ旨記載シテ提出スル者アルトキハ事務ノ都合ニ依リ之ニ應ズルコトアルベシ此ノ場合ニ於ケル試験手数料ハ規定手数料ノ倍額トス

第十條 試験依頼者型式若ハ品位證明書、型式若ハ品位追加證明書、合格證明書又ハ試験成績書ノ複本ヲ請求セムトスルトキハ手数料トシテ一通ニ付金二十五錢ニ相當スル收入印紙ヲ貼附シ申請書(第七號書式)ヲ提出スベシ

第十一條 試験品ノ試験中ノ滅失又ハ毀損ニ因ル損害ニ對シテハ賠償ノ責ニ任セズ

第十二條 試験ノ爲職員ノ出張ヲ申請スル者ハ試験ヲ行フニ必要ナル費用ヲ負擔スベシ

第十三條 型式若ハ品位證明書、型式若ハ品位追加證明書、合格證明書又ハ第七條第一項ニ依ル試験成績書ノ交付ヲ受ケタル物品ノ外凡ソ物品ノ廣告、揭示又ハ其ノ現品、容器、包紙等ニ電氣試験所ノ試験済又ハ之ニ類似スル文字ヲ記入

スルコトヲ得ズ(1)

本令ニ依ル試験ヲ經タルコトヲ表示スルトキハ試験ノ種別ヲ明瞭ニ記載スベシ

本令ニ依ル試験ヲ經タル物品ノ試験成績ヲ表示スルトキハ型式若ハ品位證明書、型式若ハ品位追加證明書、合格證明書又ハ試験成績書ノ全文ヲ記載スベシ

第十四條 前條ノ規定ニ違背シタル者又ハ電氣試験所ノ試験ヲ詐稱シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス(1)

第十五條 本令ニ依ル試験ハ別表ニ定ムルモノニ限り電氣試験所大阪出張所、同福岡出張所、同福島出張所、同名古屋出張所及同廣島出張所ニ於テ之ヲ受ケルコトヲ得(1)(2)

前項ニヨリ試験ヲ受ケムトスル者ハ試験依頼ニ關スル書類ヲ當該電氣試験所出張所ニ提出スベシ

附 則 (大正七年六月逓信省令第三十九號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

從前調製ニ係ル合格票、試驗票、型式又ハ品位證明書、型式又ハ品位追加證明書、合格證明書及試験成績書ノ用紙並封蠟又ハ鉛封印ハ當分ノ内其ノ儘之ヲ使用セシム



第一號書式 (紙質強靱ナル半紙大ノモノ)

電氣用品試驗依頼書

收入印紙

貼附シタル收入印紙ノ額 金何圓何十錢

- 一、試驗品名及其ノ數量
- 二、產地又ハ製造者(住所共)
- 三、型式(又ハ品位)ノ證明番號
- 四、試驗ノ種別(型式、品位、普通、按検査等ノ別)
- 五、用途

右試驗依頼候也

年 月 日

住所

依頼者名 ㊦

遞信大臣宛

(備考) 型式又ハ品位試驗ノ依頼ヲ爲ス場合ニハ 本書式第三號ノ事項ハ不要トス

第二號書式 (1)

第 號

電氣用品型式(又ハ品位)證明書

住所

試驗依頼者名

- 一、物品名
- 二、說明 別紙ノ通

右大正五年九月遞信省令第五十號電氣用品 試驗規則第四條ニ依リ其ノ型式(又ハ品位)ヲ證明ス

電氣試驗所長名 ㊦

右電氣試驗所長ノ證明ニ依リ證明番號

第 號ヲ附シ茲ニ本證ヲ交付ス

年 月 日

遞信大臣名 ㊦

第三號書式 (1)

第 號

電氣用品型式(又ハ品位)追加證明書

住所

試驗依頼者名

- 一、物品名
  - 二、原型式(又ハ品位)證明番號
  - 三、說明 別紙ノ通
- 右大正五年九月遞信省令第五十號電氣用品 試驗規則第五條ニ依リ其ノ型式(又ハ品位)ヲ追加證明ス

電氣試驗所長名 ㊦

右電氣試驗所長ノ證明ニ依リ證明番號

第 號ヲ附シ茲ニ本證ヲ交付ス

年 月 日

遞信大臣 ㊦

第四號書式 (1)(2)

試(又ハ大、福 岡若ハ福島) 第 號

電氣用品合格證明書

住所

試驗依頼者名

- 一、試驗品名及數量
- 二、產地又ハ製造者
- 三、型式(又ハ品位)ノ證明番號
- 四、試驗ノ成績 別紙ノ通

右大正五年九月遞信省令第五十號電氣用品 試驗規則第六條ノ試驗ニ合格シタルコトヲ 證明シ茲ニ本證ヲ交付ス

年 月 日

電氣試驗所 ㊦



第五號ノ一書式 (1)(2)

試(又ハ大、福) 第 號  
(岡若ハ福島)

電氣用品試驗成績書

住所

試驗依頼者名

- 一、試驗品名及數量
- 二、產地又ハ製造者
- 三、型式(又ハ品位)證明番號
- 四、試驗ノ種別(普通、拔檢)  
(査等ノ別)
- 五、試驗ノ成績 別紙ノ通

右電氣用品試驗規則第六條第二項ニ依リ本書ヲ交付ス

年 月 日

電氣試驗所印

第五號ノ二書式 (1)(2)

試(又ハ大、福) 第 號  
(岡若ハ福島)

電氣用品試驗成績書

住所

試驗依頼者名

- 一、試驗品名及數量
- 二、產地又ハ製造者
- 三、試驗ノ種別(普通、拔檢)  
(査等ノ別)
- 四、試驗ノ成績 別紙ノ通

右電氣用品試驗規則第七條ニ依リ本書ヲ交付ス

年 月 日

電氣試驗所印

(備考) (型式又ハ品位、壽命等)試驗ヲ行ハズ

第六號書式 (紙質強靱ナル半紙大ノモノ)

再拔取試驗依頼書

収入印紙 貼附シタル収入印紙ノ額 金何圓何十錢

- 一、試驗品名
  - 二、原依頼書提出年月日
- 右電氣用品試驗規則第八條ニ依リ再拔取試驗依頼候也

年 月 日

住所

依頼者名印

遞信大臣宛

第七號書式

複本下付申請書

収入印紙 貼附シタル収入印紙ノ額 金何圓何十錢

- 一、原本ノ種類番號及交付年月日
  - 二、物品名
  - 三、複本ノ數
- 右複本下付相成度申請候也

年 月 日

住所

申請者印

遞信大臣宛



(別表)

電氣用品試驗細目表

電氣試驗所ニ於テハ本表ニ掲グル全部ノ試験ヲ行フ電氣試驗所大阪出張所、同福岡出張所及同福島出張所ニ於テハ本表中※ヲ附セルモノニシテ左ノ限度ヲ超過セザルモノノ試験ニ限り之ヲ行フ但シ電氣試驗所大阪出張所ニ於テハ本表中★ヲ附セルモノヲ試験ス

一、電氣試驗所大阪出張所  
 直流ニ在リテハ電壓「六百ヴォルト」以下電流八百「アムペア」以下ノ電氣ヲ使用スベキモノ交流ニ在リテハ電壓二萬五千「ヴォルト」以下電流八百「アムペア」以下ノ電氣ヲ使用スベキモノ但シ三百「アムペア」以下ノ場合ニハ周波數二十乃至六十「サイクル」三百「アムペア」ヲ超過スル場合ニハ周波數五十乃至六十「サイクル」ノモノニ限ル

二、電氣試驗所福岡出張所及同福島出張所  
 直流ニ在リテハ電壓三百「ヴォルト」以下電流三百「アムペア」以下ノ電氣ヲ使用スベキモノ交流ニ在リテハ電壓五千「ヴォルト」以下電流三百「アムペア」以下ノ周波數五十乃至六十「サイクル」ノ電氣ヲ使用スベキモノ

第一號表 通信用電氣機械器具

試驗品ノ種類	試驗ノ種類	試驗事項	試驗數量	手數	料數	試驗出品	備考
(一) 普通試驗	構造、導電抵抗、絶縁抵抗、感度等ヲ試験ス	一箇ニ付 二箇以上ハ一箇ヲ増ス	一 二	八〇〇 四〇〇	四〇〇 〇〇〇		

一、モートルス機		二、印字機				
(二) 抜検査試験	(一) 普通試験	(三) 各項試験	(イ) 導電抵抗	(ロ) 絶縁抵抗	(ハ) 感度	(ニ) 構造
抜取試験ニ對シテハ 普通試驗ヲ行フモノ 二箇ニ付 二箇以上ハ一箇ヲ増ス	二箇ニ付 二箇以上ハ一箇ヲ増ス	一箇ニ付 二箇以上ハ一箇ヲ増ス	一箇ニ付 二箇以上ハ一箇ヲ増ス	一箇ニ付 二箇以上ハ一箇ヲ増ス	一箇ニ付 二箇以上ハ一箇ヲ増ス	一箇ニ付 二箇以上ハ一箇ヲ増ス
同額 一〇〇〇	三〇〇〇 一五〇〇	三〇〇 一五〇	一〇〇 〇五〇	一〇〇 〇五〇	一〇〇 〇五〇	二五〇〇 一三五〇







		(丙) 繼電器取付 鐵板		(五) 拔検査試験		(六) 構造		(二) 線輪平衡度 試験ス	
(一) 型式試験	普通試験	構造、寸法等ヲ檢ス	一枚ニ付	普通試験ヲ行フモノ ニ在リテハ	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増
(二) 追加型式試験	普通試験	構造、寸法等ヲ檢ス	一枚ニ付	普通試験ヲ行フモノ ニ在リテハ	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増
(三) 普通試験	普通試験	構造、寸法等ヲ檢ス	一枚ニ付	普通試験ヲ行フモノ ニ在リテハ	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増
(四) 各項試験	普通試験	構造、寸法等ヲ檢ス	一枚ニ付	普通試験ヲ行フモノ ニ在リテハ	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増
(イ) 導體抵抗	普通試験	構造、寸法等ヲ檢ス	一枚ニ付	普通試験ヲ行フモノ ニ在リテハ	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増
(ロ) 絶縁抵抗	普通試験	構造、寸法等ヲ檢ス	一枚ニ付	普通試験ヲ行フモノ ニ在リテハ	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増	二箇以上ハ一箇ヲ増

變更シテ試験ノ必要ニ  
ハシト認ムル場合ニ  
ハ本手數料ヲ徴セ

		五、音響器、ブザー 電話機、電鈴 (三限用ノモノ)		六、隨線用避雷器 第六號表六ニ依ル		七、電鍵、轉換器		甲、單流電鍵	
(一) 普通試験	普通試験	各部ノ構造ヲ檢シ且 備作試験ヲ行フ	二箇以上ハ一箇ヲ増	第六號表六ニ依ル	第六號表六ニ依ル	各部ノ構造ヲ檢シ 作試験ヲ行フ	二箇以上ハ一箇ヲ増	普通試験 各部ノ構造ヲ檢シ 作試験ヲ行フ	二箇以上ハ一箇ヲ増
(二) 拔検査試験	普通試験	拔取箇數ニ對シテハ 普通試験ヲ行フモノ ニ在リテハ	二箇以上ハ一箇ヲ増	第六號表六ニ依ル	第六號表六ニ依ル	拔取箇數ニ對シテハ 普通試験ヲ行フモノ ニ在リテハ	二箇以上ハ一箇ヲ増	拔取箇數ニ對シテハ 普通試験ヲ行フモノ ニ在リテハ	二箇以上ハ一箇ヲ増
(三) 普通試験	普通試験	各部ノ構造ヲ檢シ且 備作試験ヲ行フ	二箇以上ハ一箇ヲ増	第六號表六ニ依ル	第六號表六ニ依ル	各部ノ構造ヲ檢シ 作試験ヲ行フ	二箇以上ハ一箇ヲ増	普通試験 各部ノ構造ヲ檢シ 作試験ヲ行フ	二箇以上ハ一箇ヲ増
(四) 各項試験	普通試験	各部ノ構造ヲ檢シ且 備作試験ヲ行フ	二箇以上ハ一箇ヲ増	第六號表六ニ依ル	第六號表六ニ依ル	各部ノ構造ヲ檢シ 作試験ヲ行フ	二箇以上ハ一箇ヲ増	普通試験 各部ノ構造ヲ檢シ 作試験ヲ行フ	二箇以上ハ一箇ヲ増
(イ) 導體抵抗	普通試験	各部ノ構造ヲ檢シ且 備作試験ヲ行フ	二箇以上ハ一箇ヲ増	第六號表六ニ依ル	第六號表六ニ依ル	各部ノ構造ヲ檢シ 作試験ヲ行フ	二箇以上ハ一箇ヲ増	普通試験 各部ノ構造ヲ檢シ 作試験ヲ行フ	二箇以上ハ一箇ヲ増
(ロ) 絶縁抵抗	普通試験	各部ノ構造ヲ檢シ且 備作試験ヲ行フ	二箇以上ハ一箇ヲ増	第六號表六ニ依ル	第六號表六ニ依ル	各部ノ構造ヲ檢シ 作試験ヲ行フ	二箇以上ハ一箇ヲ増	普通試験 各部ノ構造ヲ檢シ 作試験ヲ行フ	二箇以上ハ一箇ヲ増











甲 磁石式電話				乙 共電式電話			
(一) 型式試験	(二) 追加型式試験	(三) 普通試験	(四) 抜検査試験	(一) 型式試験	(二) 追加型式試験	(三) 普通試験	(四) 抜検査試験
各部ノ構造、働作、感度、抵抗、絶縁抵抗、通話等ヲ試験ス	各部ノ構造、働作、感度、抵抗、絶縁抵抗、通話等ヲ試験ス	各部ノ構造、働作、感度、抵抗、絶縁抵抗、通話等ヲ試験ス	各部ノ構造、働作、感度、抵抗、絶縁抵抗、通話等ヲ試験ス	各部ノ構造、働作、感度、抵抗、絶縁抵抗、通話等ヲ試験ス	各部ノ構造、働作、感度、抵抗、絶縁抵抗、通話等ヲ試験ス	各部ノ構造、働作、感度、抵抗、絶縁抵抗、通話等ヲ試験ス	各部ノ構造、働作、感度、抵抗、絶縁抵抗、通話等ヲ試験ス
一箇ニ付	一箇ニ付	一箇ニ付	一箇ニ付	一箇ニ付	一箇ニ付	一箇ニ付	一箇ニ付
九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇
一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇
五箇	五箇	五箇	五箇	五箇	五箇	五箇	五箇
變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セ

甲 手動式單式交換機				乙 自動式電話機			
(一) 型式試験	(二) 追加型式試験	(三) 普通試験	(四) 抜検査試験	(一) 型式試験	(二) 追加型式試験	(三) 普通試験	(四) 抜検査試験
各部ノ構造、働作、感度、抵抗、絶縁抵抗、通話等ヲ試験ス	各部ノ構造、働作、感度、抵抗、絶縁抵抗、通話等ヲ試験ス	各部ノ構造、働作、感度、抵抗、絶縁抵抗、通話等ヲ試験ス	各部ノ構造、働作、感度、抵抗、絶縁抵抗、通話等ヲ試験ス	各部ノ構造、働作、感度、抵抗、絶縁抵抗、通話等ヲ試験ス	各部ノ構造、働作、感度、抵抗、絶縁抵抗、通話等ヲ試験ス	各部ノ構造、働作、感度、抵抗、絶縁抵抗、通話等ヲ試験ス	各部ノ構造、働作、感度、抵抗、絶縁抵抗、通話等ヲ試験ス
一箇ニ付	一箇ニ付	一箇ニ付	一箇ニ付	一箇ニ付	一箇ニ付	一箇ニ付	一箇ニ付
九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇
一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇
五箇	五箇	五箇	五箇	五箇	五箇	五箇	五箇
變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セ















三十一、磁石發電機		三十二、磁石發電機		三十三、磁石發電機		三十四、磁石發電機		三十五、磁石發電機		三十六、磁石發電機	
(一) 各項試驗	(二) 導體抵抗	(三) 絕緣抵抗	(四) 發生電壓	(五) 構造	(六) 試驗	(七) 追加型式試驗	(八) 普通試驗	(九) 追加型式試驗	(十) 普通試驗	(十一) 追加型式試驗	(十二) 普通試驗
一箇ニ付	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	一箇ニ付	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	一箇ニ付	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	一箇ニ付	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	一箇ニ付	二箇以上ハ一箇ヲ増ス
一五〇	二五〇	二五〇	一五〇	二五〇	二五〇	一五〇	二五〇	一五〇	二五〇	一五〇	二五〇
三〇〇	一五〇	一五〇	三〇〇	二〇〇	二〇〇	一三〇	四〇〇	二〇〇	二〇〇	一三〇	四〇〇
五箇	二箇	二箇	五箇	二箇	二箇	五箇	二箇	二箇	二箇	五箇	二箇
變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス	變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス	變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス	變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス	變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス	變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス	變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス	變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス	變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス	變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス	變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス	變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス

三十一、磁石發電機		三十二、磁石發電機		三十三、磁石發電機		三十四、磁石發電機		三十五、磁石發電機		三十六、磁石發電機	
(一) 各項試驗	(二) 導體抵抗	(三) 絕緣抵抗	(四) 發生電壓	(五) 構造	(六) 試驗	(七) 追加型式試驗	(八) 普通試驗	(九) 追加型式試驗	(十) 普通試驗	(十一) 追加型式試驗	(十二) 普通試驗
一箇ニ付	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	一箇ニ付	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	一箇ニ付	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	一箇ニ付	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	一箇ニ付	二箇以上ハ一箇ヲ増ス
一五〇	二五〇	二五〇	一五〇	二五〇	二五〇	一五〇	二五〇	一五〇	二五〇	一五〇	二五〇
三〇〇	一五〇	一五〇	三〇〇	二〇〇	二〇〇	一三〇	四〇〇	二〇〇	二〇〇	一三〇	四〇〇
五箇	二箇	二箇	五箇	二箇	二箇	五箇	二箇	二箇	二箇	五箇	二箇
變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス	變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス	變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス	變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス	變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス	變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス	變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス	變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス	變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス	變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス	變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス	變更極メテ輕微ニシテ試驗ノ必要ナシト認ムル場合ニハ本手数料ヲ徴セス



三六、信號「ランプ」		三七、「ダイヤル」		三九、「ランプ」承口		三〇、中繼線、電話用裝荷線	
(一) 型式試験	(二) 追加型式試験	(一) 型式試験	(二) 追加型式試験	(一) 型式試験	(二) 追加型式試験	(一) 型式試験	(二) 追加型式試験
構造、寸法ヲ檢シ且壽命等ヲ試験ス	構造、寸法ヲ檢シ且壽命等ヲ試験ス	構造、寸法ヲ檢シ且壽命等ヲ試験ス	構造、寸法ヲ檢シ且壽命等ヲ試験ス	構造、寸法ヲ檢シ且壽命等ヲ試験ス	構造、寸法ヲ檢シ且壽命等ヲ試験ス	構造、寸法ヲ檢シ且壽命等ヲ試験ス	構造、寸法ヲ檢シ且壽命等ヲ試験ス
一件ニ付	一件ニ付	一件ニ付	一件ニ付	一件ニ付	一件ニ付	一件ニ付	一件ニ付
二箇以上ハ一箇ヲ増ス	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	二箇以上ハ一箇ヲ増ス
四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇
五箇	五箇	五箇	五箇	五箇	五箇	五箇	五箇
變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナハ本手數料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナハ本手數料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナハ本手數料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナハ本手數料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナハ本手數料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナハ本手數料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナハ本手數料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナハ本手數料ヲ徴セ

甲、中繼線		乙、電話用裝荷線		三二、避雷器彈器		三三、配線函	
(一) 型式試験	(二) 追加型式試験	(一) 型式試験	(二) 追加型式試験	(一) 型式試験	(二) 追加型式試験	(一) 型式試験	(二) 追加型式試験
導電抵抗、絶縁抵抗、通話平衡度、構造等ヲ檢ス	導電抵抗、絶縁抵抗、通話平衡度、構造等ヲ檢ス	導電抵抗、絶縁抵抗、通話平衡度、構造等ヲ檢ス	導電抵抗、絶縁抵抗、通話平衡度、構造等ヲ檢ス	構造、寸法、動作等ヲ檢ス	構造、寸法、動作等ヲ檢ス	構造、寸法ヲ檢シ且電流試験等ヲ行フ	構造、寸法ヲ檢シ且電流試験等ヲ行フ
一件ニ付	一件ニ付	一件ニ付	一件ニ付	一件ニ付	一件ニ付	一件ニ付	一件ニ付
二箇以上ハ一箇ヲ増ス	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	二箇以上ハ一箇ヲ増ス	二箇以上ハ一箇ヲ増ス
一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
二箇	二箇	二箇	二箇	二箇	二箇	二箇	二箇
變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナハ本手數料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナハ本手數料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナハ本手數料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナハ本手數料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナハ本手數料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナハ本手數料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナハ本手數料ヲ徴セ	變更極メテ輕微ニシテ試験ノ必要ナハ本手數料ヲ徴セ



